

2019 年度～ 2023 年度

第3次伊那市地域福祉活動計画

「ふれあい 支えあい 助け合う お互い様の地域づくり」を目指して



2019 年 (平成 31 年) 3 月

伊那市社会福祉協議会

目 次

| | |
|-------------------------------|--------|
| 1 伊那市地域福祉活動計画とは | ・・・1 |
| 2 基本方針 | ・・・1 |
| (1) 基本理念 | |
| (2) 基本目標 | |
| (3) 伊那市地域福祉計画との関係について | |
| (4) 計画の期間 | |
| (5) 地域福祉推進圏域の考え方 | |
| 3 計画を推進するために | ・・・6 |
| (1) 計画推進と進捗管理について | |
| (2) 伊那市社会福祉協議会の役割 | |
| (3) 地域住民の役割 | |
| (4) 地区、地域社会福祉協議会の役割 | |
| 4 基本目標、基本項目、推進項目の展開 | ・・・8 |
| (1) 計画の体系図 | |
| (2) 具体的な推進項目 | |
| ア、安心して暮らせる地域資源づくり | |
| イ、一人ひとりを支える支援体制づくり | |
| ウ、住民同士で生活課題の解決に取り組む | |
| エ、福祉についての正しい理解をすすめる | |
| オ、誰でも出番がある生きがいや幸せづくり | |
| 5 地域社会福祉協議会等で策定した「ご近所福祉計画」の紹介 | ・・・24 |
| (1) 「ご近所福祉計画」策定のための手順 | |
| (2) 伊那市内各地区で策定されたご近所福祉計画の紹介 | |
| 6 資 料 | ・・・100 |
| (1) 伊那市地域福祉活動計画策定過程 | |
| (2) 各地域社協による「ご近所福祉計画」策定過程 | |
| (3) 伊那市地域福祉計画への協力 | |

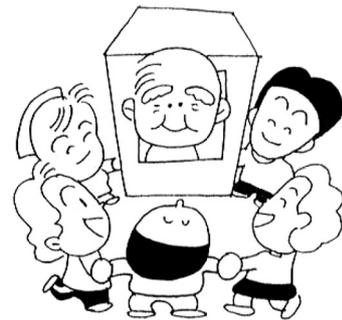
1 伊那市地域福祉活動計画とは

これまで、伊那市社会福祉協議会では、地域の福祉課題の明確化や住民の福祉活動の推進、ボランティアの育成、関係機関や団体との連絡調整、福祉サービスの企画や実施を行ってきました。

こうした取組みを計画的に進めるため、地域における福祉課題の解決を基本方針として、伊那市全体に向けての地域福祉の取組みについて計画を策定し、各地域での自主的な取組みをバックアップすると共に、伊那市社会福祉協議会が行う福祉活動を明確化しました。

さらに、各地域社会福祉協議会を単位とした身近な地域での活動計画については、住民同士の話し合い等を通して自分たちの計画として策定することを目指します。地域社会福祉協議会等が中核となって推進し、住民自身が主体となって取り組み、実際に実行され、住民が行動できる計画とすることが必要です。

これら伊那市社会福祉協議会で策定される全市的な計画を「伊那市地域福祉活動計画」とし、各地域で策定される地域毎の計画を「ご近所福祉計画」として、それぞれが連携して取り組む事で伊那市の地域福祉を効果的に推進します。



2 基本方針

(1) 基本理念

人口の減少や少子高齢化、世帯人口の減少が急速に進み、さらには個人の価値観の多様化により、地域の連帯感が希薄になっています。地縁、血縁、職縁が薄れ、「無縁社会」と言われるような社会状況の変化により、これまで家庭や地域、あるいは職場で対応されてきた問題の解決が困難になってきています。

このような中で、権利擁護支援やひきこもり、生活困窮、自死、外国籍の方への対応など新たな社会問題も顕在化してきており、これまでの「支える」「支えられる」といった一方通行の関係性では捉えきれなくなっています。

こうした社会状況のなか、福祉サービスを利用する必要がある住民が、支えられる対象としてだけではなく、地域社会に参加できる地域共生社会を実現するため、住民がお互いに支えあい、助け合う関係を築き、住民自らが生活課題、福祉課題の解決を図ることができるための組織や仕組みづくりが求められています。

本計画では、地域福祉推進のための具体的な活動を明確化し、取組みを行います。

参考：地域福祉とは

「福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること」（社会福祉法第4条）と、法律上には定義されています。

障害の有無、年齢、性別、国籍などに関係なく、誰もがあたりまえに身近な地域で生活するために、福祉に対する正しい理解をすすめ、住民同士の交流や助け合い活動を推進し、必要な福祉サービスの創設や運営を行う等、地域の環境を整える事が大切であると考えます。

(2) 基本目標

伊那市社会福祉協議会では、住民参加と社会福祉団体その他の関係機関や行政との協働による「ふれあい、支えあい、助け合う、お互い様の地域づくり」を目標とし、地域福祉の一層の推進を図ります。

(3) 伊那市地域福祉計画との関係について

伊那市では「伊那市地域福祉計画(2019年度～2023年度)」を策定しています。この計画は、社会福祉法第107条に基づく計画であり、伊那市総合計画を上位計画として、別に定める保健福祉関係の個別計画との整合性及び連携を図り、これらの既存計画を一部内包する計画として位置づけます。

参考：社会福祉法 第107条

市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

一 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項

二 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項

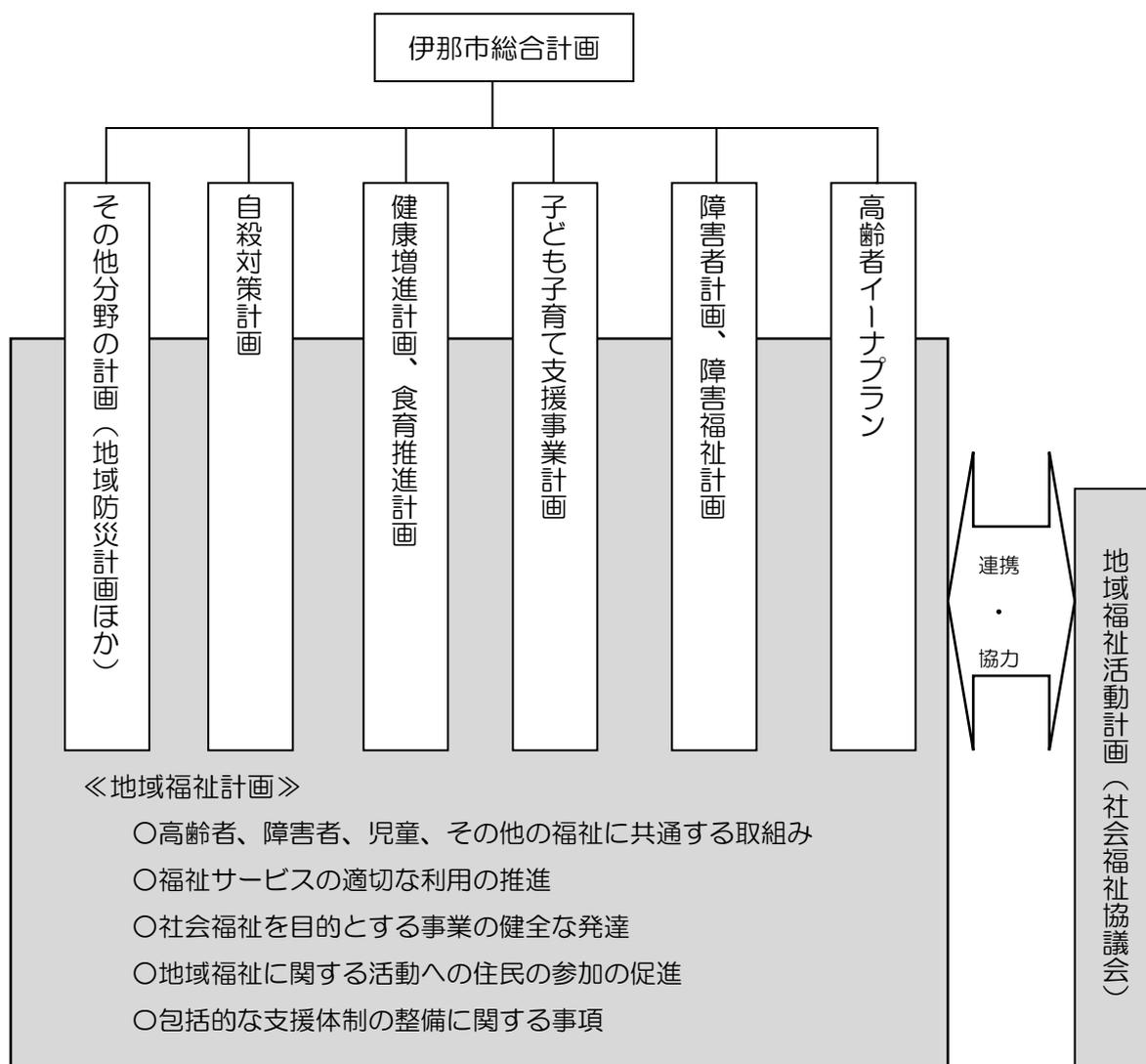
三 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項

四 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

五 前条第一項各号に掲げる事業を実施する場合には、同項各号に掲げる事業に関する事項

2 市町村は、市町村地域福祉計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、地域住民等の意見を反映させるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。

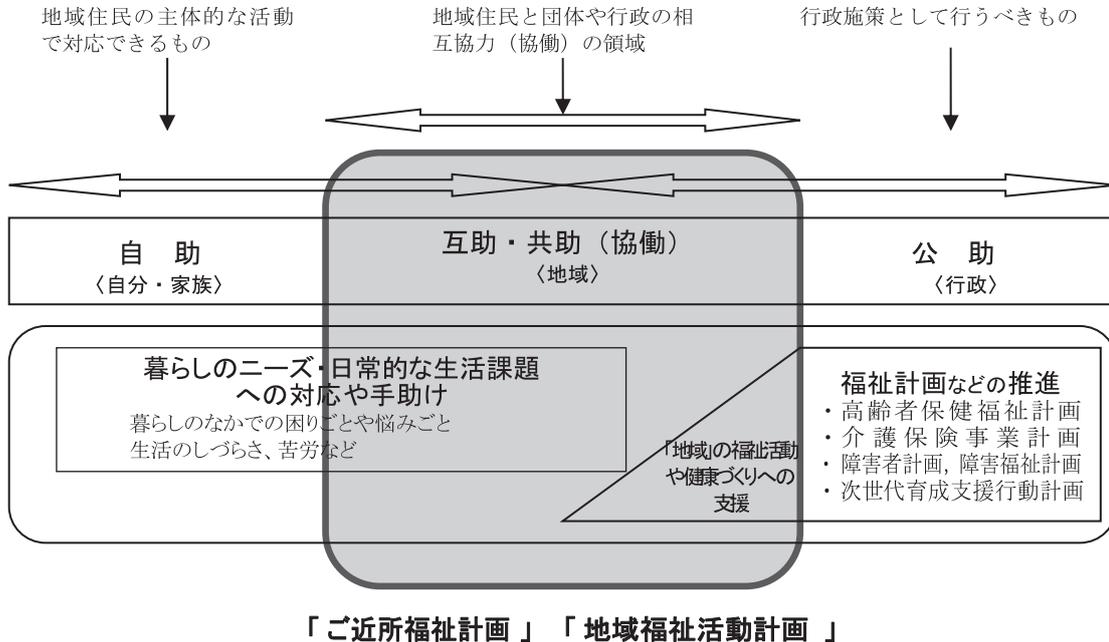
3 市町村は、定期的に、その策定した市町村地域福祉計画について、調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、当該市町村地域福祉計画を変更するものとする。



また、高齢者、障害者、子どもなど福祉分野別の計画の総合化や市民が地域福祉の当事者となって共に支えあい、助け合う共生のまちづくりをめざす計画となります。そのために、福祉の分野に限らず、教育・防災・交通・環境・人権・男女共同参画・住民自治など多様な施策を地域の視点から総合的に見直し、市民、事業者、団体、関係機関、行政が協働して取り組む基本的な役割を明示しつつ、「自助」「共助」「公助」のそれぞれの活動範囲や内容を下記のように整理しています。

- 自助：市民、個人や家族による自助努力
- 互助：地域社会における相互扶助（隣近所や友人とお互いに助け合う）や、民間共助 非営利活動・事業、ボランティア、住民活動、社会福祉法人などによる支えあい
- 公助：公的な制度としての福祉・保健・医療その他の関連する施策に基づくサービス提供

◆「自助」「互助共助」「公助」と地域福祉活動計画、ご近所福祉計画の関係図



地域福祉計画は、福祉に限らず幅広い分野に渡って網羅しているのに対して、地域福祉活動計画は、個々の住民ニーズを出発点にして、地域社協を基礎単位とし、顔の見える地域での活動を大切にしつつ、住民が自立して自分らしく安心・安全に生活できるよう支えあい、助け合うための具体的な支援内容を設定します。

（４）計画の期間

2019年度から2023年度の5カ年とします。

ただし、計画期間の途中であっても、社会情勢の変化や伊那市の動向に応じて、必要な見直しを図ります。

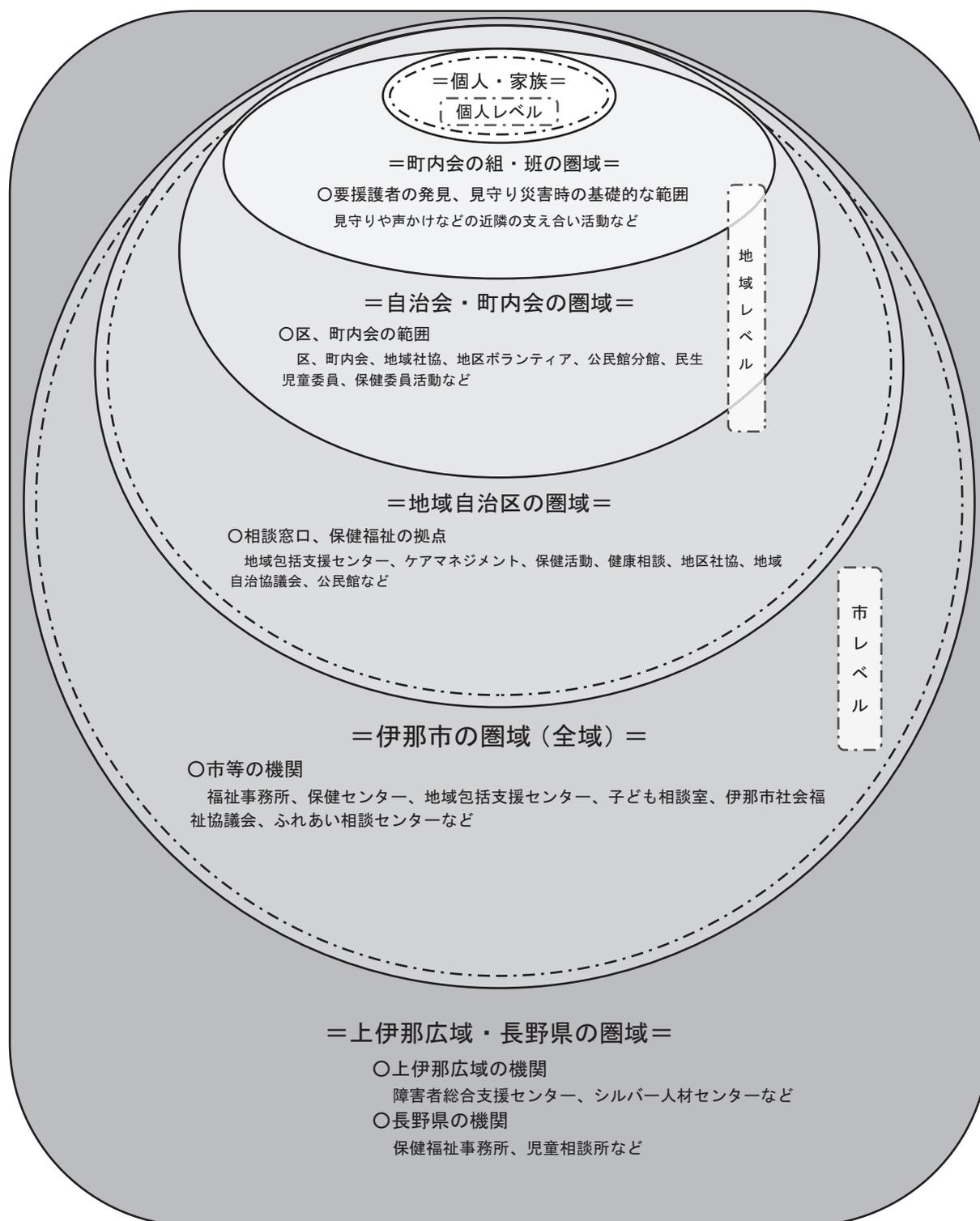
（５）地域福祉推進圏域の考え方

地域の福祉課題やニーズには、容易に解決できる事柄から、複雑・困難で、継続的に高度な専門的支援が必要なことまで極めて多様な事項があります。個々の課題やニーズに柔軟、迅速、適切に対応していくためには、市内1か所で一元的に対応することには限界があり、また、小地域の中だけで複雑な問題を解決することも困難です。

問題の内容・質に応じてどのような「地域（圏域）」で捉えるのかが重要であり、重層的な地域福祉の推進体制が必要となります。

よりきめの細かい福祉サービスを提供していくために、住民の生活圏を最も身近な「町内会の組・班」区域から「自治会（区）・町内会」、「総合支所・支所の圏域・地

「地域自治区の圏域」「伊那市全域」「長野県域・上伊那広域」といった5つに区分けして考えます。(伊那市地域福祉計画より抜粋)



- 地域福祉計画の圏域
- - - - - 伊那市高齢者イーナプラン（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の地域ケア会議の圏域

3 計画を推進するために

(1) 計画推進と進捗管理について

計画作成後は、係長以上で組織する「経営会議」の席で進捗管理を行い、理事会等で報告を行います。また、各所属長は、新たな住民ニーズの発掘や職員からの意見の集約等を行い、サービスの改善や計画の見直し等について提言を行います。

(2) 伊那市社会福祉協議会の役割

地域社会福祉協議会を「お互い様」の顔の見える福祉の最小組織として位置づけ、身近な地域での地域福祉活動が推進されるように支援します。

地域住民一人ひとりが、自分たちが住む地域内の様々な課題に目を向け、耳を傾け、それらを早期に発見し、地域内でのきめ細かな助け合いで解決していけるように、その活動の輪を広げていくことを支援します。

住民同士の助け合い活動では解決できない、全市的な課題や専門的な支援、福祉サービス提供に主体的に取り組めます。また、社会構造の変化に伴い顕在化する新たな課題に対して、先駆的な取り組みに向け研究を行います。

(3) 地域住民の役割

- ◆生活の中の困り事や気になることを相談機関につなげましょう
- ◆福祉制度やサービス等についての情報を学ぶ機会をつくりましょう
- ◆社会的なつながりが乏しい引きこもり者や、生活困窮者の世帯を見逃さず、気にかけて相談機関につなぎましょう
- ◆地域で暮らす、様々な立場の人に対して、お互い様の理解を進めましょう
- ◆地域での、お互い様の助け合い活動に参加しましょう
- ◆ちょっとした手伝いや支援が必要なときは、遠慮なく助けを求めましょう
- ◆災害時住民支え合いマップを作成し、災害時要援護者に対して日々の見守りや日常的な支えあい関係を築きましょう
- ◆生活支援サポーター養成講座を受講して、助け合い活動をはじめましょう
- ◆地域福祉活動の財源となる「赤い羽根共同募金」に協力しましょう
- ◆認知症サポーター、発達障害サポーター等の講座を受講しましょう
- ◆お茶飲みやおしゃべりが気軽にできる、身近な縁側のような場をつくりましょう
- ◆自分ができる事でボランティアや地域活動に参加しましょう

(4) 地区、地域社会福祉協議会の役割

地区、地域社会福祉協議会の活動とは、『住民、誰もが安心して暮らしていける地域づくり』、『ここに住んでいて本当によかった！と誰もが思えるような地域づくり』のためのものです。

地域住民の福祉意識の高揚を図り、地域住民が福祉についての相互理解と連携をもって「お互い様の地域づくり」を推進できるよう、各地区で策定した「ご近所福祉計画」に沿って、次にあげる地域福祉活動に取り組んでいただきたいと思います。

- ①「ふれあい」の活動＝「にじいろサロン」や「いきいきサロン」等の地域住民の方が交流する事業の開催
- ②「支えあい」の活動＝「福祉懇談会や講習会」による福祉に関する研修や意見集約、「災害時支えあいマップ」の作成などの、住民同士の支えあい活動、ご近所での活動を考える「ご近所福祉計画」の作成
- ③「助け合い」の活動＝「雪かき」「ゴミ出し」「1人暮らし高齢者の安否確認」など、公的な制度では対応しきれない、ちょっとしたご近所の助け合い活動



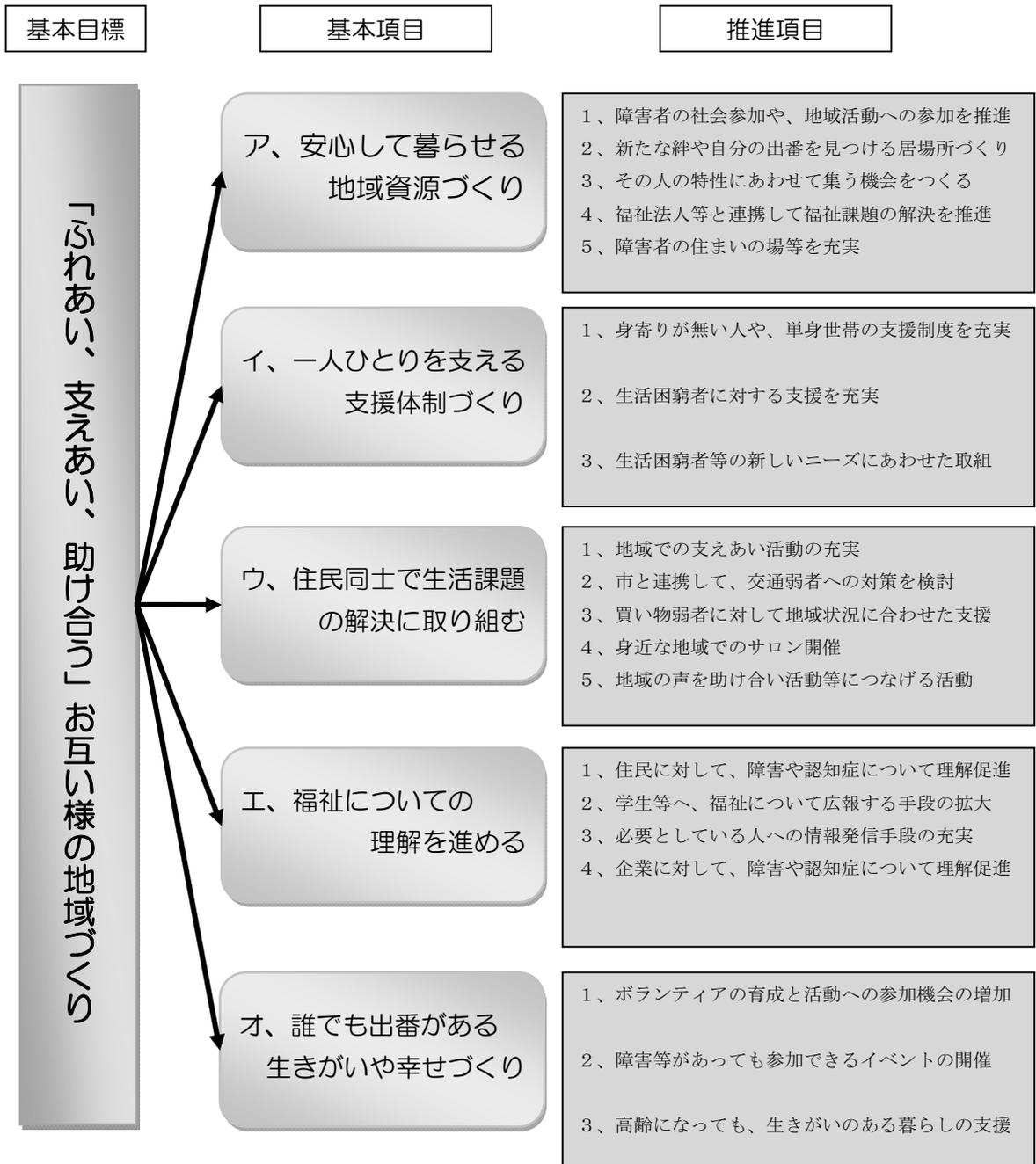
参考：地区、地域社会福祉協議会とは

地区社協 旧伊那市内においては、昭和の合併前の町村（7地区）単位と町部のうち千世帯を超える4つの区の合計11地区に、また高遠町並びに長谷の両地区も旧町村単位に地区社協が組織され、新伊那市においては、13地区社協が組織されています。

地域社会福祉協議会 現在、旧伊那市内においては100地域、また高遠町地区に14地域、長谷地区に6地域の合計120地域社会福祉協議会が組織されています。（平成30年12月末現在）

4 基本目標、基本項目、推進項目の展開

(1) 計画の体系図



(2) 具体的な推進項目

ア、安心して暮らせる地域資源づくり

現状と課題

- 地域で、できるだけ生活したいという希望に対応した質の高い在宅サービスが求められています。
- 共生型サービス等の横断的なサービスについて、環境を整えていく必要があります。
- 多様化、複合化する課題の相談に対応する体制として、福祉の分野、産業の分野などこれまで地域を分断してきた縦割りの制度にとらわれない体制や仕組みづくりが求められています。
- 住民参加型の在宅福祉サービスの推進を図る必要があります。
- 高齢者・障害者・失業者・生活困窮者など社会的に不利な立場にある人や不登校やいじめなどにより地域で孤立し、ひきこもりにならないよう、又はひきこもり状態から脱出できるよう、生活の自立に向けた適切な相談・支援が必要です。
- 障害があっても、いきいきと楽しみを持って生活できる余暇支援が必要です。

地域の皆さんが行うこと

- ◆生活の中の困り事や気になることを相談機関につなげましょう
- ◆福祉制度やサービス等についての情報を学ぶ機会をつくりましょう

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|----------------------------|---|---|
| 1、障害者の社会参加や、地域活動への参加を推進します | ①地域活動支援センター*1のあり方について、検討を進めます ②余暇活動支援事業についてさらなる充実を図ります ③生活介護事業等、障害者自らが選り利用できるサービスの拡充に向けて検討を行います | ①障害者サービス係 ②障害者サービス係 ③障害者サービス係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--|--|----------------------|
| 2、社会的孤立者*2や、引きこもり者、生活困窮者*3等に対して、新たな絆や自分の出番を見つける居場所をつくる | ①誰でも集えて人とつながることのできる、集いの場を運営します ②学校や家以外で、気軽に若者が集い、語れる場を設置します | ①生活相談係 ②生活相談係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--|--|--------------------------|
| 3、介護者同士など共通の立場の人が、その特性にあわせて集う事の出来る機会をつくる | ①介護者の集いを開催します ②障害を持つ方の当事者会の運営をします | ①居宅介護支援センター ②障害者サービス係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 4、市内の福祉法人等との連携を一層図り、協力して福祉課題の解決を推進する | ①伊那市社会福祉法人連絡会の開催及び、連携した事業の推進を行います | ①地域福祉係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--------------------------------|--|-----------|
| 5、家族形態の変化に合わせて、障害者の住まいの場等を充実する | ①障害者グループホームや短期入所事業等、地域とつながりを持って安心して暮らし続ける福祉施設設置に向けて検討を行います | ①障害者サービス係 |

*1 地域活動支援センター

障害者がセンターに通所し、文化的活動・機能訓練等を行うことによって、自立を図り生きがいを高められることを目的に設置された施設

* 2 社会的孤立者

地縁、血縁や職縁などの希薄化から、社会の中で居場所、社会的な安定性、所属などを持たない者

* 3 生活困窮者

就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者



イ、一人ひとりを支える支援体制づくり

現状と課題

- 高齢や心身の障害、貧困など様々な要因が重なり、日常生活に支障をきたしたり、孤独・不安を抱え社会的に孤立するなどの課題が生じています。
- 就労に困難を抱える人に対する横断的な支援を行うなど、就労の機会の確保が必要です。
- 高齢者がアパートに入居する際に必要な保証人がいない場合など、居住に困難を抱える高齢者等を支援する体制の整備が必要です。
- 今後、超高齢社会がすすみ、認知症高齢者が増加していく中で、地域で暮らし続けることを支えるためには、権利擁護支援制度の充実が必要とされてきます。
- 判断能力が全くなり、対応に困ってからの対応が多くなっています。判断能力が不十分になり、困った状態に早く気づき、ご本人の意向を尊重しながら、支援の体制を築いていくことが求められています。
- 触法障害者等*1 が地域社会の中で居場所を見つけ、自立した生活を送れるような支援が求められています。
- 伊那市は県内で外国人人口が5番目に多い自治体であり、今後、さらに外国籍の方や、海外にルーツを持つ子ども*2 等、多文化共生社会*3 の実現に向けた幅の広い支援が求められています。

地域の皆さんが行うこと

- ◆社会的なつながりが乏しい引きこもり者や、生活困窮者の世帯を見逃さず、気にかけて相談機関につなぎましょう
- ◆地域で暮らす、様々な立場の人に対して、お互い様の理解を進めましょう

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|---------------------------------------|--|----------------------|
| 1、今後さらに増加する、身寄りが無い人や、単身世帯への支援制度を充実します | ①県社協で設立した「長野県あんしん創造ねっと*4」の利用を推進します ②任意後見制度*5 の相談支援窓口を開設及び、法人として受任を検討します | ①生活相談係 ②権利擁護係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|---------------------|---|-----------------------------|
| 2、生活困窮者に対する支援を充実します | <p>①生活困窮者への総合支援窓口機能を充実します</p> <p>②一般企業への就労が困難な人に対して、市内の企業と協力して、中間的就労*6の仕組みを作ります</p> | <p>①生活相談係</p> <p>②生活相談係</p> |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--------------------------------|--|---|
| 3、生活困窮者等の新しいニーズにあわせた新しい取組を行います | <p>①伊那市の担当部局と連携して、ひきこもり支援を検討します</p> <p>②子どもの生活・学習支援事業*7を行います</p> <p>③子ども食堂*8等の、子どもの居場所作りを全市的に広めます</p> <p>④フードバンク*9などの、食料提供による支援と、食料資源の有効活用ができる仕組みを検討します</p> <p>⑤多文化共生社会の実現に向けて、市の担当部局との連携を行います</p> | <p>①生活相談係</p> <p>②生活相談係</p> <p>③生活相談係</p> <p>④生活相談係</p> <p>⑤地域福祉係</p> |

*1 触法障害者等

障害や認知症がありながら、適切な福祉的支援がない為に再犯を繰り返す者。

*2 海外にルーツを持つ子ども

親の両方又はいずれか片方が外国出身者である子ども。外見の違いや日本語力、制度上の問題などによって、「日本人」という枠の中からはじきだされたり、生きづらさを感じたりしていることが少なくない。

*3 多文化共生社会

国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと。

*4 長野県あんしん創造ねっと

長野県内の社会福祉協議会が参画し、様々な困難な状況にありながらも自立した生活を目指す方に対して、社会福祉法人の地域公益活動として長野県社会福祉協議会が行う事業。ミルク等支援事業、入居保証・生活支援事業、身元保証・就労支援事業等のメニューがある。

*5 任意後見制度

本人が契約の締結に必要な判断能力を有している間に、将来自己の判断能力が不十分になったときの後見事務の内容と後見する人（任意後見人）を、自ら事前の契約によって決めておく制度。

*6 中間的就労

一般的な職業に就く「一般就労」をただちに目指すのが困難な人が、本格的な就労に向けた準備段階として、公的支援も受けながら、日常生活での自立や社会参加のために働くことができる就労機会のこと。

*7 子どもの生活・学習支援事業

子どもの学習支援をはじめ、日常的な生活習慣・育成環境の改善に関する支援、仲間と出会い活動ができる居場所づくり等を行う事業。

*8 子ども食堂

子どものために月に数回などの頻度で、無償か廉価で食事を提供して、交流する子どもの居場所を作る活動。その活動の内容も、あり方も、財政的な基盤も、目指すものも、担い手の人たちの属性によって、かなり多種多様な物となっている。

*9 フードバンク

まだ食べられるにもかかわらず、賞味期限接近などの理由で流通できない食品を、食べ物に困っている人へ届ける活動、または活動を行なう組織。

ウ、住民同士で生活課題の解決に取り組む

現状と課題

- 地域で自分らしく生活するためには、生活に密着した生活課題や福祉課題を住民自らの力で解決していくことが大切です。そのためには、住民誰もが気軽に参加でき、普段から話し合う機会、男女の違いや障害の有無、年齢にかかわらず、自由に集い、交流できる機会をつくる必要があります。
- 家族機能の低下、世帯の変化により「ゴミの分別、ゴミ出し、庭木の剪定、安否確認」などの、高齢者や障害者の福祉制度では対応できない生活課題が顕在化してきています。
- 日頃からの地域のコミュニケーションを円滑にし、一人ひとりの生活を尊重しながら、支えあいのできる地域づくりを目指すことが望まれます。
- 支援を必要とする住民が地域で孤立や、ひきこもりなどの状況に至らないよう、地域で支え、見守る体制を一層強化していく必要があります。
- 「地域社協」は、個々の福祉課題を地域の福祉課題として捉え、共に考え解決していく、地域社会の支えあい、助け合いの中核となる組織であり、地域住民の参加によって運営されています。市内の全地区に地域社協を組織することが当面の目標です。
- 地域には、ボランティア団体のほか、地域に根ざして農業、商業などの事業を行っている営利企業、個人事業主その他の事業者がいます。今後は、多くの事業者が住民との直接的なかかわりをもったり、地域福祉の仕組みに貢献してもらうよう働きかけを行っていくことが求められます。
- 共同募金、赤十字などの公共的な寄付の振興や、地域福祉にかかわる事業を寄付によって運営することも、地域福祉にとっての今後の課題です。

地域の皆さんが行うこと

- ◆地域での、お互い様の助け合い活動に参加しましょう
- ◆ちょっとした手伝いや支援が必要なときは、遠慮なく助けを求めましょう
- ◆災害時住民支え合いマップ*1 を作成し、避難行動要支援者*2 に対して日々の見守りや日常的な支えあい関係を築きましょう
- ◆生活支援サポーター養成講座を受講して、助け合い活動をはじめましょう
- ◆地域福祉活動の財源となる「赤い羽根共同募金」に協力しましょう

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|-----------------|--|---|
| 1、地域での支えあい活動の充実 | <p>①「あったかご近所ネット」等の顔の見えるご近所での助け合いの仕組みを推進します</p> <p>②地区、地域社会福祉協議会の様々な地域福祉活動を推進します</p> <p>③災害時住民支え合いマップ作りと、避難訓練などの実施を支援します</p> <p>④介護保険制度の総合事業に定義されるような「住民参加型在宅福祉サービス*3」の設立を支援します</p> | <p>①地域福祉係</p> <p>②地域福祉係</p> <p>③地域福祉係</p> <p>④地域福祉係</p> |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|---------------------------|--|-----------------------------|
| 2、市の担当部局と連携して、交通弱者への対策を検討 | <p>①住民同士の助け合いによる送迎ボランティア活動の立上げ支援や、送迎ボランティアの育成を行います</p> <p>②福祉有償運送*4 を実施します</p> | <p>①地域福祉係</p> <p>②地域福祉係</p> |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|------------------------------------|---|---------------|
| 3、高齢者等の買い物弱者に寄り添い、地域状況に合わせた支援を行います | <p>①買い物支援地域づくりネットワーク会議を実施し、地域に合った買い物支援の方法を検討します</p> | <p>①地域福祉係</p> |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 4、近所の商店や空き家等を活用した、身近な地域でのサロン開催 | ①少人数で、気軽におしゃべりやお茶のみができる、まちの縁側事業を推進します | ①地域福祉係 |
| | ②遊び場発掘プラン等の地域ぐるみの子育てを推進します | ②地域福祉係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--|--|--------|
| 5、地域の生活課題や当事者の声を拾い上げ、住民同士の助け合い活動や福祉サービスにつなげる活動を推進します | ①住民同士の助け合いシステムの構築と、コーディネートを行います | ①地域福祉係 |
| | ②市と連携して、地域共生社会の実現*5を推進します | ②地域福祉係 |
| | ③顕在化している生活課題を整理し、助け合い活動につなげる地域福祉コーディネーターを地域毎に配置します | ③地域福祉係 |

*1 災害時住民支え合いマップ

災害時・緊急時に支援が必要な人をいつ、だれが、どのように、安否確認、避難行動の支援をするのか考えるため、①地図を使って話し合うこと、②話し合った結果を地図に書き込むこと、③必要な人を支援するための計画づくり、の活動を合わせて「災害時住民支え合いマップ」という。発災前の日頃からの見守りや訓練等にも使用される。

*2 避難行動要支援者

災害時又は災害の発生のおそれがある場合に、自ら避難することが困難であって、円滑かつ迅速な非難の確保を図るために支援を要する者。

*3 住民参加型在宅福祉サービス

同じ地域に住む人々の参加を基本として、非営利の組織が行う介護サービス。会員制（サービスの利用者、提供者ともに団体の会員）と、有償制（サービスは非営利・有償で提供される）2つの仕組みが

ある。

*4 福祉有償運送

障害者の通院や買い物などの際に、福祉車両によって送迎を行うこと。

*5 地域共生社会の実現

制度・分野ごとの"縦割り"や支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が"我が事"として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて"丸ごと"つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。



エ、福祉についての正しい理解をすすめる

現状と課題

- 個人の孤立化が進む無縁社会の中で自分らしい生活を継続するためには、地域全体での支えあいが必要であること、さらにその基盤として住民一人ひとりが思いやりの心を持つ必要があることなど、福祉への理解を広げていくことが大切です。
- 福祉教育は、福祉についての関心と理解を深め社会的な共通認識としていくこと、福祉活動に対し主体的に参加や協力を進めることができる個を育成し、そのような参加や協力が当たり前の社会になることを目指しています。
- 家庭・学校・職場・地域社会など、あらゆる場と機会を通じて、一人でも多くの市民が人権や福祉に対する理解を深め、身近な地域の福祉を支えていける“福祉のこころ”を醸成していく必要があります。

地域の皆さんが行うこと

◆認知症サポーター*1、発達障害サポーター*2 講座等を受講しましょう

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|---------------------------------|-------------------------|---------------------|
| 1、地域住民に対して、障害や認知症等に対する理解促進を行います | ①障害理解のためのセミナーや講座等を開催します | ①地域福祉係 ①障害者サービス係 |
| | ②認知症理解のための講座等を開催します | ②居宅介護支援センター |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|---------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 2、学生や若い世代へ、福祉について広報する手段の拡大を行います | ①長期休みを利用して、学生同士の交流会や福祉体験を実施します | ①地域福祉係 |
| | ②市内全小中学校での福祉教育の推進を行います | ②地域福祉係 |
| | ③市内小中学校で進める、信州型コミュニティスクール*3と連携します | ③地域福祉係 |

| | | |
|--|--|--------|
| | ③ SNS 連動型の広報 (Facebook、twitter 等) を充実します | ④地域福祉係 |
|--|--|--------|

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|----------------------------|------------------------------------|--------|
| 3、福祉情報を必要としている人への情報発信手段の充実 | ①点訳や音訳などの情報伝達手段の拡大のため、奉仕員等の養成を行います | ①地域福祉係 |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|----------------------------------|---|--|
| 4、企業や団体に対して、障害や認知症等に対する理解促進を行います | ①障害理解のためのセミナーや講座等を開催します ②認知症理解のための講座を開催します ③市内企業と連携し、伊那市寄付マルシェ*4 の取組みを推進します | ①地域福祉係 ① 障害者サービス係 ② 居宅介護支援センター ③地域福祉係 |

*1 認知症サポーター

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を身近で温かく見守る応援者。

*2 発達障害サポーター

発達障害に関する基本的な知識を持ち、地域、職域、学校等において発達障害のある人や家族を身近で見守り、味方になってくれる存在。

*3 信州型コミュニティスクール

各学校が地域との間に築き上げてきた土台の上に、新たに(1)学校運営参画(2)学校支援(3)学校評価機能を一体的・持続的に実施する仕組み。学校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを進めます。

*4 伊那市寄付マルシェ

伊那市内の企業が販売・提供する寄付つき商品やサービスを購入すると、その売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される仕組み。



オ、誰もが出番のある生きがいや幸せづくり

現状と課題

- これまで支援の受け手とされてきた人たちを含め、高齢者や障害者などが、地域社会に参加しながら、生きがいをもって地域生活を営むことができるように、居場所や仲間づくりを進め、さらには支え手となって活動できるよう、地域での様々な活動への参加を促進することが必要です。
- ボランティア活動は、地域福祉を進めていくために中心的な役割を果たすものです。現在、伊那市社会福祉協議会の「ボランティア・地域活動応援センター」には、福祉・教育・子育てなど、様々な分野の個人、団体が登録しています。
- 地域福祉を一層推進するためには、地域住民やNPO団体、企業などの民間団体による多様な活動や活力を地域福祉の充実・推進に活かす取組が必要です。また、地域福祉の充実のため、いままで「受け手」とされてきた人にも「支え手」「担い手」としての役割を見出して、活動してもらうための取組が必要です。
- ボランティア活動やNPO活動を更に活性化するために、活動に関する情報提供、団体間の連携、受け手と担い手の間の調整機能の充実が求められています。

地域の皆さんが行うこと

- ◆お茶飲みやおしゃべりが気軽にできる、身近な縁側のような場をつくりましょう
- ◆自分ができる事でボランティアや地域活動に参加しましょう

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|-------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 1、ボランティアの育成とボランティア活動への参加機会の増加 | ①すべての年代でボランティア活動への取組みができるように支援します | ①地域福祉係 |
| | ②専門的知識を活かしたボランティアの育成を行います | ②地域福祉係 |
| | ③ボランティア同士でつながる仕組みを創ります | ③地域福祉係 |
| | ④ボランティアコーディネーターの役割強化を図ります | ④地域福祉係 |

| | | |
|--|---|-----------------------------|
| | <p>⑤市内で活動する、NPO 法人等との連携のあり方を検討します</p> <p>⑥伊那市が災害に見舞われた際には、伊那市や関係機関等と協力して、災害ボランティアセンターの運営を行います</p> | <p>⑤地域福祉係</p> <p>⑥地域福祉係</p> |
|--|---|-----------------------------|

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|--------------------------|---|-----------------------------|
| 2、障害があっても気軽に参加できるイベントの開催 | <p>①障害の有無にかかわらず、様々な人とのふれあい交流イベントを開催します</p> <p>②「ふれあい広場」の充実を図ります</p> | <p>①地域福祉係</p> <p>②地域福祉係</p> |

| 伊那市社会福祉協議会の推進項目 | 具体的な活動内容 | 担当部署 |
|------------------------------|---|--------|
| 3、高齢になっても、いきいきと生きがいのある暮らしの支援 | ①生きがいづくりにつながるボランティア活動や有償ボランティア等の仕組みをつくります | ①地域福祉係 |

5 地域社会福祉協議会等で策定したご近所福祉計画の紹介

伊那市内各地区で策定されたご近所福祉計画の紹介をします。各地区でそれぞれ地域の特徴にあわせた計画を策定しています。

策定されていない地区でも、これらの地区を参考にしてご自分の地域を見直すためにもぜひ「ご近所福祉計画」の策定に取り組んでいただきたいと思います。

(1) 「ご近所福祉計画」策定のための手順

①話し合いを行うための「2つの約束」と「4つのルール」

ア、2つの約束

- ・地域のことを「観る・聴く・話す・考える」
- ・「地域を想う気持ち」・「意見」・「アイデア」を大切に

イ、4つのルール

- ・みんなの顔が見えるように座りましょう。
- ・自分の話は3分以内でまとめましょう。
- ・自分のこととして、自分との関わりで考えましょう。
- ・肩書きや役職で呼び合わないようにしましょう。



②話し合いの進め方

ア、地域の課題抽出

住民自身による課題の抽出を行います。自分自身の問題として考え、意見を発表し、参加者の話をよく聴くことで、地域の課題が見えてきます。

イ、地域の課題や目標の共有化

出された課題を全体としてまとめてみることで、地域の姿が見え、課題が共有化されると共に、自分自身の意見が全体に反映されることで、参加者全員が自分自身のこととして取り組むことができます。

③課題解決に向けた取組み

- ア、課題を地域の中で解決するために、「自分たちに何ができるか」という視点でアイデアを出し合う過程。地域をどうしたいのかという想いを具体化していく、また、「自ら動く」ことの大切さを考えることができます。

④活動開始

- ア、取組み活動が地域福祉活動そのものであり、活動に向け「自分たちに何ができるか」を考え、まとめること、それが「ご近所福祉計画」となります。

⑤話し合いのポイント

- ア、自分が住んでいる地域の「良いところ」「気がかりなところ」をまとめる
- イ、自分たちの地域で、今「一番困っていること」は何か？考える
- ウ、「自分たちに何ができるか」を課題別にまとめる
- エ、実現の方法を具体的に考え、残された課題も整理する

⑥計画策定後の進捗管理

ア、計画策定後は、「自分たちにできること」を中心に取組みを行い、新しい課題等が出ていないか、適宜見直しを行う

(2) 伊那市内各地区で策定されたご近所福祉計画の紹介

| | | | |
|-------------------|-----|-------------------|-----|
| ・山寺区上村町社会福祉協議会 | P26 | ・山寺区高尾町社会福祉協議会 | P27 |
| ・山寺区山本町社会福祉協議会 | P28 | ・山寺区前橋町社会福祉協議会 | P29 |
| ・山寺区八幡町社会福祉協議会 | P30 | ・山寺区天竜町社会福祉協議会 | P32 |
| ・山寺区水神町社会福祉協議会 | P34 | ・平沢区社会福祉協議会 | P36 |
| ・ますみヶ丘ふくしの会 | P37 | ・荒井区上荒井社会福祉協議会 | P38 |
| ・荒井区川北町社会福祉協議会 | P39 | ・荒井区室町社会福祉協議会 | P40 |
| ・荒井区桜町社会福祉協議会 | P41 | ・荒井区大芦町社会福祉協議会 | P42 |
| ・荒井区元町社会福祉協議会 | P43 | ・荒井区通り町社会福祉協議会 | P44 |
| ・荒井区錦町社会福祉協議会 | P45 | ・荒井区東町社会福祉協議会 | P46 |
| ・荒井区内の萱社会福祉協議会 | P47 | ・西町区伊那部社会福祉協議会 | P48 |
| ・西町区沢社会福祉協議会 | P49 | ・西町区小黒社会福祉協議会 | P50 |
| ・中央区社会福祉協議会 | P51 | ・日影地域社会福祉協議会 | P52 |
| ・上の原区社会福祉協議会 | P54 | ・境社会福祉協議会 | P55 |
| ・美原地域社会福祉協議会 | P57 | ・富県地区社会福祉協議会 | P58 |
| ・富県区北福地社会福祉協議会 | P59 | ・美篤区芦沢社会福祉協議会 | P60 |
| ・美篤区南割区社会福祉協議会 | P61 | ・美篤区末広社会福祉協議会 | P62 |
| ・美篤区下県区社会福祉協議会 | P63 | ・美篤区下川手社会福祉協議会 | P64 |
| ・手良区中坪地区社会福祉協議会 | P65 | ・手良区野口地区社会福祉協議会 | P66 |
| ・手良区下手良地区社会福祉協議会 | P67 | ・東春近区助け合い渡場 | P68 |
| ・東春近区木裏原社会福祉協議会 | P69 | ・東春近区下殿島区社会福祉協議会 | P70 |
| ・東春近区田原区社会福祉協議会 | P71 | ・東春近区暁野降れ愛クラブ | P72 |
| ・西箕輪区大泉新田区社会福祉協議会 | P73 | ・西箕輪区吹上社会福祉協議会 | P74 |
| ・西箕輪区羽広社会福祉協議会 | P75 | ・西箕輪区上戸区社会福祉協議会 | P76 |
| ・西箕輪区中条社会福祉協議会 | P77 | ・西箕輪区与地社会福祉協議会 | P78 |
| ・西箕輪区大萱社会福祉協議会 | P79 | ・西箕輪区大萱団地社会福祉協議会 | P81 |
| ・西春近区小出二区社会福祉協議会 | P82 | ・西春近区赤木区社会福祉協議会 | P83 |
| ・高遠町諸町地域社会福祉協議会 | P84 | ・高遠町新町地域社会福祉協議会 | P85 |
| ・高遠町旭町地域社会福祉協議会 | P86 | ・高遠町御堂垣外地域社会福祉協議会 | P87 |
| ・高遠町上山田地域社会福祉協議会 | P88 | ・長谷地区社会福祉協議会 | P90 |
| ・長谷非持山地域社会福祉協議会 | P92 | ・長谷非持地域社会福祉協議会 | P93 |
| ・長谷溝口地域社会福祉協議会 | P94 | ・長谷黒河内地域社会福祉協議会 | P96 |
| ・長谷中尾地域社会福祉協議会 | P97 | ・長谷市野瀬地域社会福祉協議会 | P98 |
| ・長谷杉島区 | P99 | | |

3 地区社協、61 地域社協、1 区（平成 31 年 3 月 5 日現在）

上村町 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 6 月 21 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|---|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・白山クラブの加入者が増えた ・古くから家が多く家族構成や家庭の事情等が比較的分かり合えている | <ul style="list-style-type: none"> ・交流行事、敬老会、にじいろサロンふれあい広場等への参加が少ない ・ 独居老人 12-13 人 } 昼間独居者 7-8 人 } 約 20 人いる | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの連絡網を利用し行事への参加を呼び掛けている | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民交流のため、さらに何か新しい活動ができないか考えていく ・行事の知らせは紙の通知だけでなく、組長が直接声掛けする <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にじいろサロンの高齢者の参加を増やす |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・居久根会（青年会）に多くの会員がおり、異なる世代、離れた地区をつなぐ役割を果たしている | | <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいお楽しみ会（にじいろサロン）100 人、子どもも参加する ・屋久根会（20 代から 50 代まで）そば打ちやお祭り、屋台などのする ・自主防災会で合同訓練、組長さんが見守る仕組みができている | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの登下校時に高齢者が道に出て声を掛ける。できれば保護者も一緒に。 <p>行政・市社協として</p> |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を交わす ・近所の人がかみ砕してくれる | <ul style="list-style-type: none"> ・町内会に入っていない人がある ・居住地区が大きく上段、下段に分かれており、両者の交流が十分とは言えない | | |

高尾町

ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年9月25日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|---|--|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的 (挨拶) ・ 元氣 ・ 仲が良い ・ 情報交換をする ・ お互いを気にし合う ・ 災害が少ない ・ 歩いて中央病院へ行ける | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席者が決まっている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高尾町花の会 ・ ふれあい広場 (女性が多い) | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・ 防災マップの作成 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事に参加している (親子で) ・ あいさつが良くできる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが少なくなっている ・ 部活等が忙しくて、区の行事に参加できない ・ 若者をどうやって巻き込むのか | | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として ・ 社協が中心になり、声掛けしてまとめていく |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい高尾を通して交流の機会を作っている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会に入っていない人もいる ・ 同じ組でも話をしない人もいる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップを毎年作成。組長さんが自分の組のアンケートをとって支えてもらいたい人にアンケートを取ったり、助けられる人をボランティア登録している | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として |

山本町 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成 30 年 10 月 21 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|---|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンを楽しみにしている ・昔の事を知っており、経験や知識が豊富 ・白山クラブに入って活発に活動されている方がいる | <ul style="list-style-type: none"> ・足が悪くて出てこれない ・寂しい思いをしている人がいる ・(女性でもいる。お話会に呼んでもらってもグループができていないから集まりに入れない。) ・健康面 ・出てくる人は限られている ・お店が少なくなってきた | <ul style="list-style-type: none"> ・社協のいきいきサロン ・6月五平餅会 ・10月芋煮会 ・山寺区の福祉入浴に参加 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・町総代が住民の状況を知っている→見守りになる ・地域住民の状況を把握した後どうしたらいいか？民生児童委員だけでは対応できない。組長にお願いでければ・・・ 地域社協として |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいないと賑やかなくなるが少ない | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少なくなっている(小学生3、4名) ・ラジオ体操に参加しない(家族の行事優先にしてしまう) ・昔は区民運動会で願ふれがわかった | <ul style="list-style-type: none"> ・どんど焼き ・昔やっていた、戸谷川の虫掴みや花火大会 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・近所で関心を持つ |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの繋がりがあがる→住みやすい ・心配なお年寄りを皆が心配してくれる ・環境的にも良い(畑などでもできる) | <ul style="list-style-type: none"> ・組に入らない ・(アパートの子どもも連、特に行事に参加しない) → こういう人ほど手を差し伸べたい ・子どもと顔を合わせることがない ・人が減っている ・いつも同じ顔ぶれ ・送迎が必要 ・母子世帯や生保など、訳ありの家庭が多い ・組に入りたいが、大家さんとの関係で難しい部分もある ・朝の通勤時間帯の車が危ない ・若者と高齢者の交流の場がない | <ul style="list-style-type: none"> ・ご近所お茶のみグループ ・貯金組合の名残でお茶のみ会がある ・花壇の手入れ(年5回ほど活動) ・ゴルフ会 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として ・可能な範囲での情報提供 |

前橋町 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 6 月 21 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|---|--|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン二七会ができ、2か月に1回開いている。(はらっぱのレストランで) 顔見知りが多い | <ul style="list-style-type: none"> 新しく入ってくる人がいない。 男性が入らない。 | <ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場 (はらっぱのレストランで年 2 回開催) → 延長で有志で食事会をしている | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 参加人数を増やしたい 特に男性にも声を掛けたい |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 地下道のお掃除をしている 花壇作り。交代で水やりをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない | | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として 二七会を見守っていく |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 昔からのつながりがある 近所付き合いが濃い 心配なお年寄りをみんなが心配してくれている | | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 行政・市社協として |

八幡町 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 9 月 6 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 若い頃商売をしていた方が多く、それぞれが顔見知りである。 女性のつながりが強い (近所の繋がりが、区の行事に参加) | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者だけの家庭が多い (子ども達が遠くに住んでいる家庭が増えた) 一人暮らしが多い 集まりに出てくる人が固定 (歩くのが大変) | <ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員が定期的に声かけている 配り者をする際に、話をする バラ管理をしているバラの会がある (14名ほど在籍) 花壇への水やりを、日記に一言書いてまわしている | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 地域社協として サロンの内容も違うものをやっていたい サロンも負担なく、無理ない範囲で続けていく |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 通学の高校生が元氣よく挨拶してくれる 幼児・保育園 1名 小学生 5名 中学生 1名 高校生 5名 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない | <ul style="list-style-type: none"> 天竜町、山本町、八幡町の合同でラジオ体操などを実施している | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 挨拶や声掛けなどの今、取り組んでいることは今後も続けていく 顔の見える関係を大切に |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> お互い顔を見て声を掛けあえる 昔からの繋がりがあがる 近所付き合いが濃い | <ul style="list-style-type: none"> 区に入っていない人もいる。 入っていたが、抜ける人もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> 年三回程度、町の縁側を開催している (ちよっと足の弱い方を元気な方がお迎えに行く) | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として サロンに脳いきのスタッフやいきいきサポーターさんを派遣してもらいたい |

八幡町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 計画シート

(平成 30年 9月 6日作成)

| | |
|----------------------------------|---|
| 私たちの住む地域の 目指す姿 (こんな地域にしたい) | ① 町内みんなが顔見知りになる ② 今の関係を大切に、無理ない範囲で支え合う ③ サロンなどの集まれる場を継続していく |
|----------------------------------|---|

| さらに良い地域にするために 行いたいこと | 具体的な取り組み | | |
|-------------------------|---|------------------------|-----------|
| | 内容・ねらい | 誰が | いつ、頻度 |
| ① あいさつ | ・住民同士はもちろん、通学で八幡町を通る中高生などにも挨拶をすることにより、明るく元氣な八幡町になるように | ・住民が住民に ・八幡町を通る小中高生 | ・日々の生活の中で |
| ② 声の掛け合い | | | |
| ③ | | | |

天童町 近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 10 月 1 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|---|--|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・元気な老人が多い ・公民館活動が充実 ・社協事業が定期的に実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・集まりに出てこれない人をどう誘うか ・認知症の人にもきてもらいたい ・認知症の高齢者を支える家族が悩みを打ち明けられる環境があるといい ・集まりに来れない人は友達や親しい人から声掛けしてもらおう ・老老介護の家庭もある ・母、子の 8050 問題 ・参加者が限定的 (特に男性) | <ul style="list-style-type: none"> ・天童町カフェ ・福祉入浴 (年に 1 回) ・オレンジカフェ (月に 1 回) ・一人暮らしの方をお食事にお誘いしている ・来れない人にその都度声を掛けている ・最初の 1 回に参加する魅力 (男性) | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・一つの組の人数が減ってきているので、組の再編成を望む (1 組・2 組と交流) |
| 子どものこと | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない (小学生 4 人) ・どこの家の子かも分からない ・若者が集まれる場所がない | | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として ・天童町カフェへの参加人数を増やす ・年配の人の知恵を借りて教えてもらう (漬物教室など) ・町内の公園を利用して老人、子ども達の集いの場を作りたい |
| 近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係ができている ・カフェがあることで顔が分かるようになった →声掛けができた ・組により年に 2～3 回の交流をもっている所がある (新年会や入浴の少人数の良さ) | <ul style="list-style-type: none"> ・アパートの住人との関わり方 ・身体的理由 (耳が遠い) などで話を通じず孤立していて心配な人がいる ・組で集まる (交流) できない所をどうするか | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・どこの家の子か注意してみる ・声掛けする |
| | | | | 行政・市社協として |

天竜町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 計画シート

(平成30年10月1日作成)

| | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 私たちの住む地域の 目指す姿 (こんな地域にしたい) | ① 町内の結びつきの良い地域を目指す ② ③ |
|----------------------------------|------------------------------|

| さらに良い地域に したいこと | 具体的な取り組み | | いつ、頻度 |
|-------------------|------------------------------------|--------|---------------|
| | 内容・ねらい | 誰が | |
| ① | 町内の大人から子どもも集う会を開く (老人と幼児を対象にして) | 町内役員全員 | とりあえず年1回開いてみる |
| ② | | | |
| ③ | | | |

水神町 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 9 月 25 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 白山クラブやおしゃべり広場などに参加して活躍している高齢者が多い 他地区に認知症の方をサポートしている人がいる 毎月のおしゃべり広場 (月 2 回) 認知症でない方が認知症らしき方を誘い合っておしゃべり広場、脳トレ等に連れ戻してくる 知り合いが声を掛けることが良い方向へ進む | <ul style="list-style-type: none"> 雪かきやごみ出し (今後必要になってくる) サロンに來ない人はどうしているのか 認知症の方にも来てもらいたいのが、どう声を掛けたいか 高齢化と一人暮らしをどうするか 回覧を廻す時に一声かけずにポストにいれる (見ること大切) 隣組の中で病気等で交流がとれていない 一人暮らしの方への声掛け | <ul style="list-style-type: none"> マレットクラブ (5月～11月の間、毎月) 20 名参加 会所の掃除をしながら、隣組との交流がある | <ul style="list-style-type: none"> 区内の人達と毎日あいさつを多く心掛ける 組長さんが組の人を見る方法など 回覧を廻す時に直接手で渡す 知り合い同士の話し合い 交流の場に子ども (小さい) と高齢者とを少しでも多く交流させる 各自が近くの人に声をかけ、参加を促す |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが多い 朝、夕の挨拶をしてくれる 祭り等の交流がある | <ul style="list-style-type: none"> 小学校、高学年から中学生との交流がない気がする 子どもが少ない | <ul style="list-style-type: none"> 水神祭に子どもを誘う (参加させる) | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 近くの三軒くらしいの人に声を掛け行事等に連れて行く |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> まとまりがある 行事に集まってくれる 防災への取り組みがしっかりしている 声を掛け合っておしゃべり広場に來てくれる 隣組で雪かきを助け合っている 隣同士で声を掛け合っている 普通と異なることはないか、様子を見る。ポストの中を見たりして見回る | <ul style="list-style-type: none"> 町内会に入っていない人がいる 同じ組でも話をしない人がいる 「おしゃべり広場」の名称のため、「悪口を言っている」と勘違いして抱えてしまっている人がいる 町内の集まりに出ると役員が回ってくるので集まりに出たくない | <ul style="list-style-type: none"> おしゃべり広場→夏休みに小学生が参加出来たら、どうか。 水神祭 春の交流会 (四世代交流ができる) 夏の講習会 秋の交流会 自主防災の訓練 災害時支え合いマップ 集会センターの利用 (囲碁、脳いき、筋トレ) 踊りの練習 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市協として ヘルパーさんより行事のある事等を本人に知らせると参加を促してもらう |

水神町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 計画シート

(平成30年 9月 25日作成)

| | |
|----------------------------------|--|
| 私たちの住む地域の 目指す姿 (こんな地域にしたい) | ① 地域の中で支え合いができる町 ② 近所でのお互いさまの声掛け ③ |
|----------------------------------|--|

| 良い地域にするために行いたいこと | 具体的な取り組み | | いつ、頻度 |
|------------------|--|-------------------------|----------|
| | 内容・ねらい | 誰が | |
| ① 情報共有や学習の場 | 町にどんな人が住んでいて、どんなことに困りごとを感じており、どんな支援が必要なのかを住民同士で確認する。理解を深めるために学習会を開く。 | 区長会、町総代、社協役員など横断的な体制で実施 | 年2, 3回程度 |
| ② | | | |
| ③ | | | |

平沢 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年 6月21日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----|--|---|---|--|
| 地域 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで空き家も売れている ・農家民泊を5軒で受けているので都会の子どもの連が来て、にぎやかになっている | | <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地を耕し野菜や花を栽培し、地域の人々に食べてもらったり、余ったものを出荷したりしている | <p>区・町内会として</p> <p>50代、60代の高齢者に対する意識が低いのもっと関心を持つにはどうすれば良いか</p> |
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> ・同世代同士の助け合いの気持ちをもっている人が多いので助かっている | <ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしが増えていく傾向にある | <ul style="list-style-type: none"> ・年に一度収穫祭を実施し、区民全員で豚汁や作った野菜を食べてゲームをしたり、歌を歌ったりする ・マレットゴルフ大会、パン食い競争を区全体で5月下旬に実施している | <p>地域社協として</p> <p>高齢者を支える人が少ないので、これから先が心配である</p> |
| 子ども | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少くない | | <p>それぞれの個人として</p> <p>行政・市社協として</p> |

ますみヶ丘 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年 6月23日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|---|--|--|--|
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害の心配が無く、安心感があり住みやすい ・近所付き合いが、和気あいあいとして仲間意識が強い。親切。 ・景色が良い (酪農景観・平地林) ・自然とふれあいえて良い、水がうまい ・土地が広い | <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い。バスが無くなった。 ・人口が増えない ・農道横住宅団地を希望してもできない ・クマが出る、キジが鳴く ・災害時に孤立しやすい | <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り ・秋祭り ・森林ジャズフェス ・組によっては集まりがある ・地区運動会 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・防災組織の確立 ・子どもから高齢者まで住みよい地区になるように目標を立てる ・区民が話し合える機会を作る (2ヶ月に1回程度) |
| 子ども・若者 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊ぶ声が聞こえて楽しい ・Iターン者が増えている ・青年部、婦人会がしっかりしていて、心強く、参加率も高い ・保育園と小学校、地区と一緒に運動会を行う ・小学校に林がある | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない ・若い世代が区外へ出ていってしまう ・独身者が多い ・子ども神輿で子どもが少なくなさびしい ・保育園がないため、家族が区外に出ていっている ・ので、子どもがいなくなる ・障害者施設がない | <ul style="list-style-type: none"> ・にじいろサロン ・子ども神輿 ・婦人会のお花見 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として ・にじいろサロンの回数を増やす ・災害時支え合いマップの更新 |
| 高齢者 | | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増えている | <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン ・脳いきいき教室 ・敬老会 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・地区の活動に全員参加していく ・生きがいを持たせる |

上荒井 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 9 月 20 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|--|---|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 元氣な人が多い 高齢者も待っているだけでだめ。自分も社会貢献できるといった意識を持つことが大切。 町内は同居世帯や近距離居住世帯が多い。 各組に福祉委員がいるため、要支援者の情報を町内の役員や民生児童委員が把握しやすい。 福祉委員は持ち回りで担当するため、長期的には組内の皆での情報の共有が可能。 農事組合や水利組合、共励会等高齢者が活躍する場が多い。 高齢者クラブ（友愛会）、頼母子講、気の合った者同士飲み会があり、凡そ月一度の飲み会や茶話会を楽しんでいる。地区の役員経験者が多く、これらの方々には地区の行事や会議に積極的に参加している。 | <ul style="list-style-type: none"> 農村部は高齢化、お手伝いする人も高齢化している。 プライバシーの保護を重視するあまり、高齢者世帯や独居老人の情報の共有が困難となる傾向がある。 地区役員を経験されていない方や、新たに転入された高齢者は、地区の行事への参加が少ない傾向にある。 独居老人、老々介護の世帯の増加。 定年延長により、退職後の町内の交友関係がづくりにくい。 新興住宅地の将来の高齢化。 要支援者の支援を受ける事への躊躇、遠慮の心。 地域住民の支援内容の標準化が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 福祉入浴の開催により、町内の高齢者同士の会話や触れ合いの場を提供。 福祉委員による要支援者の見守りを実施し、希望する支援内容も凡そ把握できている。 社協による隔週開催の脳いきいき教室には大勢の高齢者が楽しく参加している。 区の敬老会 観音様祭には観音様へ備える造花作りを高齢者が小学生を指導する形で実施、互いに良い刺激となっている。 町内文化祭には高齢者の出展と参加が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 緊急避難を考慮した不在世帯の帰宅状況の確認 バリアフリーの公民館の建設 高齢者の多様な知識の若い世代への継承 雪かきに対する助成金を希望 地域社協として 社協の仕事内容、福祉についてを知らせる活動我希望 福祉についての天安と先導役を希望 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 子ども会の行事は子供にとって楽しみとなっていて、大人とのふれあいの場ともなっている。 子どもが多い。 子ども同士で遊ぶ場があり、親として助かる。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもを見かける機会が少ない。 子ども同士で遊ぶ姿を見る機会がない。 子ども会の行事への参加者が減少している。 | <ul style="list-style-type: none"> どんど焼き、荒井神社の例大祭における奉納相撲大会、神輿担ぎ 区の球技大会（キックベース）の開催 観音様祭における造花作りでの高齢者との交流。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 普段からの声掛けや挨拶を心掛け、顔見知りとなる |
| 近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 古い地区で地域のつながりは強い。 同好会（歌謡愛好会、水墨画居室、マレットゴルフ等）があり、参加者が多い。 新興住宅地は子供を通じて新たな近所付き合いが始まっている、しがらみも少なく居住し易い。 | <ul style="list-style-type: none"> 新しく入った人たちは地区に入りにくい。若い世代との溝がある。 同好会に出てこられない人達をどう誘うか。 新興住宅地は共働きが多く、昼間の交流が希薄。 若い人は多忙と無関心で、近所付き合いの必要性を感じない。 世代を越えた交流が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> とうふや縁側かふえ（唐澤洋子さん宅が「まちの縁側」に登録されている。） 町内最大の行事として開催される町内運動会 各組ごとに開催する忘年会 防災訓練時、要支援者の担当を確認。 区主催の「行者そぼ祭り」 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として バリアフリーの公民館建設のための金銭的支援 |

川北町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29年 9月 20日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|---|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 色々な行事に積極的に参加している 女性の元気 すみれ会 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の指導者もかなり高齢となり、入院など病気の不安と後継者の心配有り | <ul style="list-style-type: none"> いきいきサロンを多く行っている | 区・町内会として <ul style="list-style-type: none"> 専門の委員を作る事。 話し合いの形を見直す (メンバーは誰が良いか?) |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 子ども会で町の行事に参加している 文化祭、敬老会に参加することで高齢者と町の人とのつながりが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 特になし (交通事故?) | <ul style="list-style-type: none"> 正月どんどこ焼き 夏ラジオ体操 運動会 文化祭 | 地域社協として それぞれの個人として |
| ご近所付き合いのこと | <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練に多くの人が参加協力してくれる | <ul style="list-style-type: none"> 町内会に入らない人が多くなる | <ul style="list-style-type: none"> 運動会に町内の半分以上の家の方が参加。 文化祭、マレット大会など、町内の集まり事を多くする。 | 行政・市社協として |

室町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|---|--|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブが活発に活動している | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、町内維持が困難になっている ・町総代と社協会長の兼務。社協を正しく理解して 数年続けて担当できる適任者 ・町内の役員選考が難しい | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブの活動 ・ふれあい祭り ・防災訓練 | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに高齢化が進んでうまく処理している町内化を検索し参考にするのはいかがか？ |
| | | | | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総代と会長が兼務。多忙と力量適正に従って、毎年会長が変わる事。 別に専門委員として選考するなど、なってもらえるものがない。 社協を正しく理解し数年続けて担当できる適任者 <p>それぞれの個人として</p> |
| | | | | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員から総代の派遣ができないか？ 又は市の委託業務とするのはいかがか？ |

桜町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29年 9月 18日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 2人だけの老夫婦や一人暮らしの老人も元気で活躍している人が多いため、今のところ気になる事は無い | <ul style="list-style-type: none"> 集会があっても、決まった人しか出てこない 同組の人以外は顔も見えない人があり、心配するところがある。 年齢的に一人暮らしになる時期が来る人がいるので、今後のコミュニケーション方法が気がかり | <ul style="list-style-type: none"> 町内レクリエーション (年一回) 清掃、祭りの準備等を一緒にするように声掛けを行う | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 一人暮らしの人の状況をどう把握し対処して行くか 気軽に参加できる場所を作り、交流を図ることができればと思う。 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 以前より子どもの人数が増えた 町内レクリエーション、荒井区の行事等には、皆積極的に参加してくれています | <ul style="list-style-type: none"> 子どものない組がある | <ul style="list-style-type: none"> 町内レクリエーション (年一回) の参加を呼び掛ける | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 旧来よりの付き合いのため、人間関係ができてい 組によっては交流会の機会を持っている所がある お互いあまり干渉しないところ | <ul style="list-style-type: none"> 一つの組の人数が少なく、高齢者のみの所もあり交流がない組もある | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 2～3人の組もあり、賛否がありますが、組の再編を考える必要がある |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として |

大芦町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 9 月作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|----|---|--|--|-----------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者（一人暮らし）宅 夜間 1 人、昼間 1 人の世帯があるが、隣組の校正 がきちんと出来ているので、助け合う姿勢が整って いる | | | 区・町内会として |
| | <ul style="list-style-type: none"> 0～20歳の若者がいない | <ul style="list-style-type: none"> 小中学生の通学路であるため、歩道が狭いのが心配である | | 地域社協として |
| | <ul style="list-style-type: none"> 組数、居住者が少ないので、いざという時総出で 助け合う事になっている | | <ul style="list-style-type: none"> 春、秋に行われる河川掃除時に全員参加による、 避難訓練等実施している。 (安全確認と防災グッズの点検等) | それぞれの個人として 行政・市社協として |

荒井区元町

ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 10 月 19 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 戸数は少ないが、昔からの町で相談し易い。 互助精神は根付いている。 | <ul style="list-style-type: none"> 新しい取り組みが難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> 町内会主催のマレットゴルフ大会があり、親睦を深めている。 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 他の町内会との連携。 他の町内の子供会との連携。 |
| 子どものこと | | <ul style="list-style-type: none"> 小学生のいる世帯は1世帯のみ。 町単位での子供会の活動は困難。 | | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として 小さな町内会に合った活動の展開。 |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 隣組はまとまりがある。 | | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 防災マップを足掛かりとして、今後を考える。 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として |

通り町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 9 月 20 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|---|--|--|-----------------------------|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・商店経営をしている方が多く、現役としてプライドを持って生活している方が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・店と住居別々の方が多く、閉店後は自宅に戻るの で夜間の会合には全くと言っていいほど参加しな い。 ・水曜日定休の店が多いので、土日のイベント会合 にはほとんど参加できない。 ・敬老会、高齢者クラブ等、年寄扱いされるのを嫌 がり、全く参加しない方が多い。 ・夜間の安否確認が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい福祉等、年齢に関係のない行事を行うこ とによって、参加者を増やす。 <p>(例) 本年度ふれあい福祉(水曜日に行った) 仙流荘、昼食と入浴 参加者約 30 名、(全員 60 歳以上)</p> | 区・町内会として |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生 0 人 ・中学生 1 人 <p>子どもが少ない</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが増える要素がない ・商店が多いので、店と住居別々の方が多。 | | 地域社協として |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・町内会と商店会の組がほとんど同じなので、結び つきが強い ・商店会のイベント等もあるもので、それには参加す る高齢者が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・商店会に入っていない世帯の高齢者は会合等に参 加する機会が少ない | | それぞれの個人として 行政・市社協として |

錦町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 9 月 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブに錦町は16人入会。(東町は5人) ・65歳以上で未加入20人 ・入会者は年間スケジュールで健康で楽しくやっている | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブへ入会するように回覧板を作って回したりしたが、入会しない。夫婦の所は夫婦で楽しんでるようだ。 ・東町も独り住まいが多いが、入会したくないという。 | <ul style="list-style-type: none"> ・線路東高齢者クラブに入会している人は毎月定例の健康と笑いと歌で楽しんでる。 ・東町、通り町にも加入の回覧板を出したが、通り町で一人あっただけ。 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・町内会としては春秋2回楽しい行事を行っている。それ以上は望めない。 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・錦町には子どもが見当たらない。 ・転入してきた家族の中に一人いて、父親とキヤッチボールをしていた | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいない。そういう夫婦がいない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもには町内費で補助しているが、子どもがいない。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として |
| ご近所つきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・組内の人数にアンバランスがあるので、再編の必要性がある。 ・1組は毎年忘年会をやり親睦を図っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・村部の方では65歳以上になると自然に高齢者クラブに入るが、町部はそういうお付き合いが苦手なのか？ | <ul style="list-style-type: none"> ・町内行事として春秋2回行楽日を設けている。30名くらい参加している。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・個人として家に籠る人たちを団体(社協)の仲間に入れたいが、我執に取り除けない。 |

東町 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29年 8月 30日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|---|--|-----------------------------|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の数が増え、独居のお宅が増えてきた | <ul style="list-style-type: none"> ・免許返納をしたため、大型スーパーへの買い物が出来なくなるとしても不便 ・公民館が2階なので、階段がネックになって町の集まりに来れない方がいる。 | | 区・町内会として |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、わずかであるが子どもが増えて来た | | | 地域社協として |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・小さな町なので、ほとんどの人が顔見知り。 ・街や駅、交番に近いので比較的住みやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の交通量が多く、子ども達が事故に遭わないか心配。 ・空き家や廃屋があり、治安や火事の点で心配。 ・防災マップ作成にあたっては、プライバシーの問題があり未着手 ・30代～40代の若い世代が少ない事が心配 ・雪の多い年の雪かきが大変(捨て場がない、万年雪) ・各組の人数に差が大きく、再編したいが心情的な問題で難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年に一回「みんなで楽しむ会」を開催(5月) | それぞれの個人として 行政・市社協として |

内の萱社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 9 月作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|---|---|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 町内の過半数(11名)が高齢者だが、人数が少ないので状況は分かりやすい | <ul style="list-style-type: none"> 敬老会を開いても3名ほどしか参加がない | <ul style="list-style-type: none"> 敬老会など | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 徐々に役員のなり手が減っており、対策が必要 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 0です | | | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 戸数が少ないが、日常的な関わりはある。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も人数が減って行くこと | <ul style="list-style-type: none"> そば祭りや大山神社の祭りなど 堂の花作り等を行っている | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 行政・市社協として |

西町区伊那部

ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 10 月 25 日作成)

| 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・葬祭の時少人数の組では周りの組が応援して、手伝うことが昔から行われている。 ・隣組での家族全員参加により親睦、交流をしている。忘年会、新年会など ・町内の文化祭行事が 30 年ほど続いている。(伊那部文化祭) 多くの人々で親睦を計る。子供から高齢者が交流しています。 ・自分達の住んでいる歴史ある町、「伊那部宿」を中心に仲間たちの輪が出来ている。女性部の方たち中心に食文化伝統行事を復活し毎年活動している。 2 月、3 月… 薨玉づくり 雛祭り桃の節句 5 月… 端午の節句、武者人形展示 9 月… 「オカラコ」作り、十五夜お月見会等 任意団体「伊那部宿を考える会」での年間活動で町内、町外の人とのふれあいが出来ている。子供から大人。 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣組の中で世帯人数の少ない組、高齢者、一人暮らしの組があり心配である。 合併の意見が一部にあるが、両者の了解が得られない。 ・常会の隣組の組織に入らない世帯があり、災害時家族の確認ができず心配である。 ・常会の役の引き受け手がなく、毎年役員は苦勞している。若者とのギャップがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋の「伊那部文化祭」 常会と支那社協共催で町内の人とのふれあいを目的とし実施している。子供からお年寄りが大勢参加して今年で 28 回目となる。 ・任意団体「伊那部宿を考える会」 会員 130 名。伊那部宿を中心に年間を通じてイベントを実施、会員を含む大勢の方との交流を図っている。 ・盛年福祉の会 (老人会) 親睦目的で町内に花を植える作業、マレットゴルフなど高齢者福祉の取り組み ・支え合いとして、障害者福祉施設「やよいヶ丘グループホーム」で夏祭りバーベキュー大会を近隣の人々で行い交流をしている。 ・伊那部宿支那社協は 2 か月に 1 回の割合で 70 歳以上の方を対象に募集し福祉入浴を行っている。 ・伊那部支那社協は 12 月に女愛訪問で 80 歳以上の高齢者に贈り物を届け交流している。 | <p>今後必要な事</p> <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として <ul style="list-style-type: none"> ・隣組単位の方がご近所の顔が見える福祉活動であり、区、町内で援助を大いにしてほしい。 地域社協として <ul style="list-style-type: none"> ・今活動している内容を充実し、ご近所福祉の大切さを良く理解してもらおう努力が必要。 ・良い所を取り入れ、取り組んでいる行事、支え合いを継続し内容を深めていくことが一番大切。 それぞれの個人として <ul style="list-style-type: none"> ・地域社協の行う行事は積極的に参加する、老後自分にお世話をしてもらう為に、今出来ることをお世話してあげる考えが必要。 <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣組の活動は一番大切、お互い顔が見えて繋がりが出来る。転入世帯に隣組へ入るメリットを説明し、特に災害時の時必要である。 ・地域社協への援助、指導をもっとお願いしたい。 |

西町区沢 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成 30 年 11 月 12 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|----------|---|--|--|---------------------------|
| ご近所 | <ul style="list-style-type: none"> • お互い話をよくしている。 • 健康面を気にかけている。 • 笑顔でみんな挨拶をしている。 • 日頃から近所声を掛けあっている。 • 隣組の大人はみんな顔見知り。 • 穏やかで礼儀正しい人が多いと感じる。 • 駅やお店など徒歩圏内で暮らしの場を感じる。 | <ul style="list-style-type: none"> • 障害者への対応 • どの程度動けるか？ (家族に聞くのも ?) • サノロードの周り、アピタの近く、綿半の周辺等、車の量が多く歩行者が優先されていないと感じることが多い。通学路でもあるので心配だ。 | <ul style="list-style-type: none"> • 回覧板を届けながら声掛けをする。 • 隣組食事会を行う (年 1 回) • 河川清掃の時顔を合わせる。 • あった時は挨拶や声掛けをする。 | 区・町内会として |
| 若い世代や子供共 | <ul style="list-style-type: none"> • 登下校時会うと元気よく挨拶をする。 • 子ども達の遊んでいる様子を見る。 • 名前を聞いてみる。 • 地域の行事に参加する。 • あいさつを心掛けている。 | <ul style="list-style-type: none"> • 若い方と交流が少ない。 • 地域全体には子どもが多いが近所にはいない。 • どの家の子どももか分からぬ。 • 忙しそうで声が掛けにくく、付き合いが少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> • 子供会には積極的に参加する。 • ラジオ体操など大人が協力的に取り組んでいる。 • 敬老会などに手紙を書いて高齢者に渡す。 • クリスマスマズプレセントにぬり絵やメッセを書いて渡す。 | 地域社協として それぞれの個人として |
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> • 賑いさいき、いきいきサロン等地域の集まりに積極的に参加している。 • 散歩、買い物など自主的に体を動かしている。 • 前向きで元気な人が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> • 一人暮らし、夫婦高齢者の家庭がある。 • 昼間高齢者のみみの家がある。 • 認知衣装の高齢者がいる家庭がある。 | <ul style="list-style-type: none"> • 月 1 回声掛けをしている。 • いきいきサロン (月 1 回) にお誘いしている。 | 行政・市社協として |
| 区や地域社協 | <ul style="list-style-type: none"> • 社協が前向きに活動している。 • 誰でも集える場がある。 • 皆明るい。 • 仲間意識があつて協力的。 | <ul style="list-style-type: none"> • 社協の会など出席者が決まっている。 • 楽しいか？義務的なのか？ • 困った時相談するのはどこ？誰？ | <ul style="list-style-type: none"> • 社協の役員他、皆が前向きに地域の事を考えている。 • 民生委員が一軒一軒訪問し時間をかけて声掛けをしている。 | |

西町区 小黒 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年11月12日作成)

| | | | | |
|----------------|--|--|---|---|
| <p>近所付き合い</p> | <p>良いところ (プラスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな町内なので大体が顔見知りである。 ・まとまりがあると思う。 ・気軽に声が掛けられる。 | <p>気がかりなところ (マイナスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を行っても出てくる人の顔ぶりは大体一緒である。 | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回日帰り入浴と食事会を行っている。 ・普段会えない人達とお話しが出来て嬉しい。 | <p>今後必要な事</p> <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・今まで行っている行事はなるべく継続していきたい。 |
| <p>三世代交流</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回の行事ですが、幼児から高齢者が参加する事により、お互いの顔を知ることが出来、親睦が生まれ有意義な一日である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三世代交流をしても年々子供の数が減り、にじいろサロンの継続が危ぶまれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・にじいろサロンとして幼児から高齢者までが公民館に集まって牡丹餅作りをし、食事会をする。有成会によるピンゴゲームは好評である。 | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の交流を図る中で小黒常会が一つの輪になっていければ良いと思う。 |
| <p>講話会と忘年会</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市福祉課から講話に来て頂き健康に関するお話し、簡単な脳トレ等を行い、その後食事会でお酒を飲み交わし和気あいあいとお話しして親睦が図れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎春秋に収穫した野菜を役員が持ち寄って豚汁を作っているが、野菜を作っている家庭が少なくなつて来ている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・12月には高齢者対象に公民館で講話会と忘年会(食事会)を行っている。秋収穫した野菜を使って豚汁を作り持ち成しをする。 | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すれ違った住民には声掛け挨拶をする。 |
| | | | | <p>行政・市社協として</p> |

中央区社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年7月19日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|---|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者が多い まだ働ける人が多い | <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの方が気がかり 高齢化が進んでいる 町内会によっては高齢者しかいない 老々介護が増えている 高齢者のみ世帯が増えている 組長などの役がまわってきたくとき、高年齢で務まるか不安になる 健康教室などに出かける足がない | <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの方に対して、組単位での助け合いをしている | <p>区・地区社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民が何に困っているのかアンケートをとる ひとり暮らし高齢者の実態把握 高齢者の足の確保 高齢者と子どもたちが一緒に集うサロンがほしい 災害時の支え合いマップ 区に加入しない人へのアプローチの仕方を考える 高齢化しているの、組や役のあり方を考える |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 小中学生があいさつをする | <ul style="list-style-type: none"> 未婚の人が多い 若い世代や子どもが少ない | | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方への声かけ サロンのことのできたら良いな |
| 近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 隣組で連絡し合っている 「協力して」と言うと、すぐに「うん」と言ってくれる人が多い 隣組のつながりがある(第三の組) 古くから住んでいる人が多いので安心 専門技術を持ったプロの方が協力的 | <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の区や組への加入が少ない 若い人同士のつながりがない 区の役を受ける人が少ない 中央区より他の周辺の地域のほうが、人のつながりが深く感じる | <ul style="list-style-type: none"> 隣組で忘年会をして、年に1回は顔を合せるようにしている | |
| 生活環境のこと | <ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない 敷があまり出ない 治安が良く、平らで住みやすい 天竜川沿いや伊那公園が美しく、散歩するところがある 竜東線のあじさいがきれいに手入れされている 学校、商店、銀行、病院、駅が近く便利 交通の便が良い 区民参加の行事がある 中央公民館に人がいる(有人管理) 資源物や古紙の還元金が市内でトップ 福祉事業所に勤めている人が元気で明るい | <ul style="list-style-type: none"> 空き家が目立つようになった ふるまの活性化 近くにコンビニがない 狭い道が多い 車がないと買い物などに行けず不便 近くにバス停がない 竜東線に車が多くなくなり混んできた 水害が心配 ゴミの不法投棄や名前のないゴミ袋がある | <ul style="list-style-type: none"> 区の行事(ハイキング、球技大会、文化祭、伊那まつり参加など)が多く交流がある 健康体操教室がある 公民館活動が活発 マレットゴルフなど楽しいクラブがある | <p>行政・市社協として</p> |

日影地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年7月18日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) |
|------------|---|---|---|
| あつたかご近所ネット | <ul style="list-style-type: none"> あつたかご近所ネットが良く活動している 支援協力が多い 組織がしっかりしており、支え合いの幅も広がっている | <ul style="list-style-type: none"> 助けてほしいことがもつとあるのではないかと思う 電球の交換や家具の移動など、単発の困りごともあるかと思う 自分で見て面白い物したい人への対応 日影のあつたかご近所ネットどうなっているか | <ul style="list-style-type: none"> 買い物支援をやっている あつたかご近所ネットの活動が進んでいる 雪かき、ゴミだし、草刈りなどできている |
| 高齢者や障害者 | <ul style="list-style-type: none"> 4組と5組は隣組にだれがいるのか地図を作って情報共有している 高齢者や障害者がどこにしているのか組内でわかる 脳いきいき教室が毎月2回あり、男性が6〜7人参加している ふれあいクラブの高齢者は元気に助け合っている | <ul style="list-style-type: none"> 困ってほしいのだが、助けてほしいと手をあげない 集まるための足がない 区や町内会の行事に参加できない方もいる 組の中で亡くなっていてる人が増えている 高齢者が増えている。様子を見ていても大変そう 高齢者が増えてきている 独居の方が多く、元気がない | <ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員が訪問や電話をしている 高齢者の会合などに車を乗りあわせている 敬老会が行われている 組をひとつの塊にして、声をかけ、状況を把握している ペアで見守っている お茶のみができています |
| 若い世代や子ども | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが増えている 若者がイベント(泥遊び)をやっている 30〜40代のクラブがあり、小・中学生の若い親の交流がある 中学生などの子どもたちが挨拶をしてくれる | <ul style="list-style-type: none"> 介護認定を受ける方法や仕組みを知らない(50〜60代)がいる 少子化による子どもも減少 子どもたちの将来 子どもたちの通学をの防犯パトロールの確保 子ども世代になつたときに、近所づきあいが続くのか心配 | <ul style="list-style-type: none"> 公民館でいろいろな行事や活動をやっている 子ども行事(焼き肉や泥遊び)がある 子ども神輿を毎年やっていて楽しそう どんど焼きなど育成会が活発 若い世代は集まって遊んでいる |
| 区や地域福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 区役員が前向きで建設的に区の将来を考えて区政を展開している 社協の組織がしっかりしており、具体的な助け合い活動ができている 新子44組に将来リーダーになれるような方が育ってきている 大人も子どもも参加できる行事(三世代交流会)が多い 行事の参加者が多い 区にまとまりがあり、ひとつになれる 良い区でありたいという気運が地域にあり、多くの人が地域を良くしようと考えている 防災意識が強く、避難訓練を頑張っている 消防団の部長になってくれる人材がいる | <ul style="list-style-type: none"> 区民が多くなり、常会にギヤップがある 緑ヶ丘町内会の人口減少 役員になつたときだけ一生懸命やる様にみえる 役員のなり手がなく、役員の顔ぶれが固定化している | <ul style="list-style-type: none"> 納涼祭がある 町内会で三世代交流をやっている 防災訓練がある 区の行事やイベントある |

| | | | |
|-------------------|---|---|--|
| <p>住環境や近所つきあい</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが取れる ・みんなが挨拶しあえる ・緑がいっぱい ・目がよく差す ・どこにどんな人が住んでいるのか、だいたいわかる ・組内の交流がある ・組内で助け合う、声をかけあうところがある ・もめごとがない ・テレビで見えるような近所トラブルがない ・人の心があったかい ・みんなが優しい ・学校が近く通学に便利 ・大型商業施設が近く、買い物が便利 ・住宅地区は交通量が少なく住みやすい ・伊那バスができて便利になる | <ul style="list-style-type: none"> ・道が狭い ・スピードを出して走る車がある ・夜道の安全性 ・防犯カメラの設置 ・庭や田んぼの畔の草刈りをしない家がある ・日中、家に人がいない家庭がある ・親と同居せず、分家、新屋などを作りたがる ・家を尋ねられても場所が答えられない ・表札を出さない家が増加している ・遠慮が美徳みたいところもまだある ・近所つきあいが薄くなってきている ・アパート、マンションが多く地域と交流のない人も多くいるのでは ・昔と考え方や近所につきあい方が変わってきている ・外国人や上伊那以外から入ってきた人はゴミの分別がわからない ・ゴミの出し方がよくない（指定日以外に出す人がいる） ・道にゴミを捨てる人がいる | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、第1日曜日に掃除をしている組がある ・忘年会を行っている組がある ・バーベキューを行っている組がある ・お互いに声をかけあっている |
|-------------------|---|---|--|

| | | | |
|----------------------|---|----------------|-------------------|
| <p>区・町内会・地域社協として</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新入区者の歓迎会を続けたい。経費をとってほしい ・日影の良いところをのばす！ ・広報誌などで区や社協の事業を紹介する ・町内会単位で仕組みについて話をし合う ・お茶会など、ちよつとした集まりから活動を始める ・組内の夫婦参加での忘年会の実施など、組の中の人と人のふれあいの機会を増やす ・三世代交流に子ども参加を増やすことを考える。保育園児や小学生が交流に来てくれるといいと思う ・高齢者、若い世代、子どもがつながるような仕組み作りが必要 ・子どもたちから日影区に対する愛着心を育む ・あつたかご近所ネットを続ける ・縁側があちこちがあれば話をすることができるとは ・独身者を減らす ・大人のあいさつ。区でアピールする ・区役員等の選考委員会の発足が必要。「役」の仕組み作りをしておく。「役」として与えられれば活動しやすい ・童謡唱歌、お茶…思い出話を聞く取り組みをしてみたい ・お茶のみの会の縁側活動 ・通学時の子どもたちなど、誰にでもあいさつをする ・声をかけあい、誘い合う、話し相手になること ・脳いさき教室の立会人 ・伊那市に転入したときに入区をすすめる ・免許証を返納した後の対応。高齢者の足の問題 ・送迎サービスに関する保険はどんなものがあるのか | <p>今後必要なこと</p> | <p>それぞれの個人として</p> |
| <p>行政・社協として</p> | | | |

上の原区社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年6月2日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っていること) | 今後必要な事 |
|----------|--|---|---|---|
| おつきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 隣組で連絡しあっている 昔からいる人が少ないので、人間関係があまり濃くない 近所づきあいが少なく、お互いの距離を保てられる 村部のような濃いつながりがない | <ul style="list-style-type: none"> 考え方が都会的な傾向 近所がお互いのことを知らない 地域全体のまとまりがない 若い世代が多いので付き合いが薄い 若い人同士の交流がほとんどない | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会・地域社協として 区民に情報提供を常に行う 他の地区の活動や仕組みづくりの過程を知り、研究する 区民が何に困っているのか、何を求めているのか調べる | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会・地域社協として 区民に情報提供を常に行う 他の地区の活動や仕組みづくりの過程を知り、研究する 区民が何に困っているのか、何を求めているのか調べる |
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> お年寄らといって全体的に若く、困っている人が少ない まだ働ける人が多い 若い世帯が多く、年配者が少ない 若い人が多い 貧困と思える人がいない(少ない) | <ul style="list-style-type: none"> 急速に高齢化 高齢化が進むと人口構成がアンバランスになる 農作業をする人が減って荒れてくるかも ひとり暮らし高齢者が少しずつ増えてきている 独身の60代の今後 組(区)に入らない、ひとり暮らし高齢者の支援 | <ul style="list-style-type: none"> お年寄の福祉入浴に取組んでいる 福祉入浴や脳いきいき教室がある 買い物中に顔を合せたら、同乗して帰宅している人がいる 昔の知り合いで、草取りや剪定をしてくれる人がいる 豆腐屋さんや乾物屋さんなど、各自で昔からの付き合いがある方がいるらしい 保育園行事に区が関わっている | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として 声をかけあい知り合って助け合う 区の決まりごとでなら、お元氣訪問できる |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 小中学生があいさつをする 子どもの行事に積極的 | <ul style="list-style-type: none"> アパートが多いため、わからない人(子ども)が多い 2つの小学校に分かれて子どもが通っている | | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として 他地区の取組みについて情報提供 ニーズ調査などの活動実施に向けて支援 |
| 住環境のこと | <ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない 水害がない 静かで住みやすい 風景がいい 平らで住みやすい 保育園がある 市内バスが利用できる 地区が狭く、短時間で往来ができる ごみのポイ捨てがない | <ul style="list-style-type: none"> 事故の起きそうな交差点が多い 道が狭く、歩行者が危ない 大型道路で地区が分断する 企業が増え他地区の人が昼間集まってくる 近くに買い物できるスーパーマーケットがない 車がないと生活が不便 車がないと買い物に行けない | | |

境社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年7月28日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) |
|----------|--|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 自立した高齢者が多い 高齢者が元気 高齢者の活動に前向きな人がいる 麻雀をしたりダンスをしたりして楽しんでる 高齢者クラブが一般の方にも声をかけてくれるので、民生委員さんの生演奏を皆で楽しむことができる | <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者が増えている 高齢者が増加傾向にある 高齢者だけの世帯が増えている 高齢者世帯が多くなり、区の役や組長などができなくなっている 農作業者の高齢化や高齢化による減少 雪かきを自分たちですべてしているが大変である バス停が遠く、高齢者や足の悪い人は大変 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者クラブの活動が活発 高齢者クラブがニチケアセンターや保育園などでボランティアをしている 脳いきいき教室、いきいきサロン、ミニデイサービス、バスハイク、敬老会 お年寄り家庭や体の弱い方の雪かきを個人的にしている優しい人がいる |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 保育園や小学校が近い 通学路の雪かきをする 30～40代の子育て世代が増加し、子どもが増えている 若い世代が増えている | <ul style="list-style-type: none"> 近所では子どもが減少している 通学路を通る小学生のいたずらで困っている 自分の子どもが大きくなると、近所の子どもとの交流がない 子どもが遊ぶ公園が少ない | <ul style="list-style-type: none"> 竜東保育園、伊那東小学校、埴区、狐島区と合同で避難訓練をしている 外国人の友人の子育てや会社の悩みを聞いて市役所や子育て支援センターにつなげている 子どもの絵本の読み聞かせをやっている 伊那東小学校の学習支援をやっている 竜東保育園で読み聞かせをやっている 育成会で子ども神輿や天神様をやっている 夏まつりには子どもたちが大勢参加している |
| おつきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 近所づきあいがある 互いに声かけができている 人間関係が良く、親しくつきあえる人が多い お互いの距離を保ったつきあいができている 隣近所があまり親密ではない 区民運動会やお祭りがあり、交流がある | <ul style="list-style-type: none"> 他人に無関心(何もない時は) 物の考え方があつさりしている 隣組以外の人を知らない 分譲住宅に住んでいる人たちは組のつながりを持ちたがらないので、つきあいが少ない アパートの人たちと戸建住宅の人たちとの交流がほとんどなく、このまま良いものかと思う アパートが多いので、区とのコミュニケーションがやや不足 アパートが多く、誰が住んでいるのかわからない 個人情報からみで、家のことを話したくない 新しく入ってきた人との日常のつきあいが余りない 区の行事に協力的ではない 運動会や集会の出席者の減少が気になる 区や組に入りたがらない人たちがいる 区の役員になりたがらない | <ul style="list-style-type: none"> 吹き矢をやってみよう 歩いている人にはあいさつをしている 隣の土手の草刈りをしてあげる 三峰川の桜並木を(週2～3回)1時間程度歩いている 区民の桜並木のお花見 区内の有志でゴルフを楽しむ、夜、公民館で慰労会をしている(年2～3回) サークル活動がいくつかある 区民が集まってウォーキングをしている 文化祭には豚汁や手打ちそばを無料で出している 区の行事による交流会 JA生活班の食事会や手芸などを計画して実行 組で忘年会や新年会、お花見をやっている 隣組をまわるついでに近所の変化を見ている 組長をしているので、通知や集金をする際に安否確認みたいな会話をしている 若い世帯や新しい世帯にも区の役がまわっていくような仕組み(まわり番) |

| | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校、商店、病院などへのアクセスがいい ・いろいろなお店が近くにあって、買い物に便利 ・車を使わなくても（自転車）銀行や郵便局などに行ける ・企業や大型の店ができてきた ・住宅地は静かで住みやすい ・平らな土地で住みやすい ・新しく住宅が建ち、人口が増えている ・風景が良い ・三峰川の桜並木の草刈りをしてくれる方がいる ・災害が少ない ・今のところ風水害がない ・区民が参加できる行事がたくさんある ・運動会が盛大に行われている | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路や交差点が多い ・高速線や竜東線、ナイスロードからの車の逃げ道になっていて怖い ・住宅が増え続けているのに、道路の狭さは相変わらずで良くなかない ・大型道路の近くの生活道路に車が入ってきて危険 ・道路が狭く、事故が起きそうな交差点が多い ・細い道に車の往来が多く、スピードを出す車があり交通事故が心配 ・車の交通量が多くなり、農業がやりにくくなった ・犬のフンの後始末ができないうちなど、ペットの散歩のマナーが悪い ・ゴミの分別がしっかりできていない家庭が多い（アパート？） ・空き缶などのポイ捨てがあり、春一番の農作業はゴミ拾いから始まる ・公園が少なく狭い ・居酒屋など、大人が集える飲食店がない ・ポストが少ない ・境区の山が近くになく、山作業がやりにくい ・住宅地が増え田畑が少なくなり、風景の良さが失われつつある ・空き家が増加してきた | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全やゴミ出しをボランティアで行っている人がいる ・ゴミステーション（開拓精巧）の草に除草剤をまいている ・応急手当普及員による体験会や講習会 ・隣近所の水路のつまりを気にしている ・桜並木の草刈り ・桜並木の維持管理 ・地域の草刈り ・区をより良くする会が発足した ・新盆見舞いの見直し ・公民館やふれあい会の花壇をガーデニングしてくれる方たちがいる ・花が好きで人が集まってガーデニング ・雪が降ると道路の雪かきをすぐにやる ・事故や犯罪を防止するために防犯灯の設置を継続している |
| <p>生活環境のこと</p> | | |

| | | |
|---|----------------|--|
| | <p>今後必要なこと</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・入区者の歓迎会（子どもを含めて家族もよんで）をしてほしい ・新しく入区した人の意見を聞いて区行政を行う ・区の行事や役員が負担なくできるように ・常会単位でのコミュニケーションをとる行事や、組長会とき会議だけでなく懇親会を行ってはどうか ・定期的なフリーマーケットや、学校の制服などをこれから入学する人に使用してもらえようなこと ・災害を想定した防災訓練 ・高齢者世帯の草刈りや雪かき、ゴミだしなどサポートする仕組み(町内会で考えるのか、個人で考えるのか課題) ・桜並木を区民の憩いの場にする ・お新盆について、もう一歩考えてみてはどうか ・麻雀、ゴルフ、カラオケなど地域の集まりが増えていくといい ・まだまだ家にお年寄りを置いておくのを悩まされたい ・夏休みなどを利用して、子どもが楽しめるイベントをすれば若い親もついてくるので交流が生まれるのでは ・同じ常会間の隣り合う組の間で忘年会などの企画があれば参加したい ・区の行事やサークルのひとつに参加しようと考えている ・雪かき ・読み聞かせや学習支援の継続 ・あいさつ運動を区政の重点として、区政、学校、家庭の三者タイアップをすすめたい ・古着の回収時、車に乗れない人は市役所まで持って行けない ・公園の新設 ・交通量が増えているので、道路の幅幅に取組んで | | |
| <p>区・町内会・地域社協として</p> | | |
| <p>それぞれの個人として</p> | | |
| <p>行政・市社協として</p> | | |

美原 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 10月17日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|---|---|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 元氣な人が多い 区の総会にも多くの方が出てきてくれて、アドバイスをくれる。長く地域のことを見てきているから、変化をわかっている 認知症があっても誘い合い、声をかけ気遣い合いながら行事にも参加している | <ul style="list-style-type: none"> 集まりや行事に出てこられない人も多い、今後どうしたか。誘うこともどうか 高齢化率が高い(36.2%(H30年6月現在)) →元氣な人や元氣な高齢者が気にかけてみていかないと 認知症らしき人が何人かいる。介護認定を受けている人は多いと思う | <ul style="list-style-type: none"> キラキラクラブ(いきいきサロン) →ポテンテニアの方も多く参加している 元氣アップ教室(20~30名参加あり) | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> 年に1回でも集まる機会をつくる 募集をかけて人を集めたり、活動グループに入ってもらえるようにする 区内の行事がわかりやすく住民に伝わるよう、年間の行事一覧表などにして各家庭に配ってはどうか |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 以前、子ども向けの行事のアンケートを地区内で実施したが、回答が2件しかなかった。それでも何かやろうと餅つきを実施した(2月) | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない(小学生が5,60名?) 中学生はどのくらいか?(18歳までの人口は102人) 子どもの声がない、土日も見かけない 民生委員としても子どもに関わることができていないと感じる お金を出してまで子ども向けの行事に出ようと思わないという声も聞かれたこともあった 上牧などは昔からの行事もあるからやっていると、子ども向けの行事は難しい →学校が早く終わる日などに行事をやればどうか | <ul style="list-style-type: none"> 育成会でイベントをやっている(パン教室) 美原祭り(子ども6名が参加、子ども神輿など行ったが、暑かったせいで時間短縮をしなければならなかった。里帰りの方も参加してくれた) | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館とも協力し、子ども向けのイベントを考えたい |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の組長さんもいて、評議員になってくれている 元氣な高齢者に自主防災の取り組みをやってもらえれば →お互いにでしやばることも必要では マップの作成を進めている 各丁に対して区から行事などの補助が出る | <ul style="list-style-type: none"> マップの要支援者への対応をどうしたらいいか、顔なじみの方にお願いしたくても、組が分かれてしまうこともある 他地区と違って、いろんなところから越してきた人たちが多く住む地域、例えば支援カードの緊急連絡先を隣の家の方に頼むこともあるが、お付き合いがないので断られる 昔らのお付き合いが薄い 2丁目は行事の参加率が低い 干渉してほしくないという住民もいる →気にかけてあげよう 公民館やクラブ活動などもあるが、やっていることをみんな知らない →工夫して広報したい | <ul style="list-style-type: none"> 送迎ボランティア あったかご近所ネット(雪かき) →年配の人同士でも行っている 年に1回は忘年会や地区の帰郷などで顔を合わせる機会がある(ないところもある) →年に1回でも顔を合わせると良い 報告会をやっている | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いのことを気にかけてあげあう気持ちを持つ |
| | | | <p>行政・市社協として</p> | |

富県 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成 31年 2月 19日作成)

| 日常生活のこと | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 (地域の移動について) |
|-------------------|---|---|--|--|
| 地域住民のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・元氣な人が多い。 ・仲が良く、助け合っている。 ・隣近所で毎日を掛け合っている。 ・元気で農作業をしている高齢者が多い。 ・趣味の会で集まる女性が多い。 ・地域で子供を大切に見守っている。 ・子供たちのあいさつが良くできている。 ・高齢者同士の付き合いが良い。 ・世話好きな高齢者が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が少ない。 ・一人暮らしの人が多い。 ・若い人が働く産業があまりない。 ・将来的に高齢者のみの家庭が増えることが予想され、地区の役員や作業が心配される。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉入浴の実施 ・敬老会の実施 ・脳いきいき教室への参加 ・マレット大会実施 ・花壇作り実施 ・さつま芋の植え付けから焼き芋大会の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・区・町内会として ・近所に住む高齢者の情報が必要。 |
| 地域のイベントのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉入浴を定期的に実施している。 ・敬老会を行っている。 ・地域のマレット大会を実施している。 ・子どもから高齢者まで集えるイベントがある。 ・脳いきいき教室を毎月実施している。 ・オレンジカフェが開催されている。 ・さらさら福地がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・脳いきいき教室に参加する高齢者が年々減っている。新しい参加者が増えない。 ・社協の集い、行事に男性参加者が少ない。 ・常会などの行事に参加する人が減り、コミュニケーション不足を感じる。 ・オレンジカフェの利用がまだまだ少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉入浴の実施 ・敬老会の実施 ・脳いきいき教室への参加 ・マレット大会実施 ・花壇作り実施 ・さつま芋の植え付けから焼き芋大会の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行政・市協として ・乗り合いタクシーを充実してほしい。(情報の周知には時間がかかる。すぐに利用者や車を貸すのは難しい) ・買い物システム(とくし丸)を持続できるようにしてほしい。 ・中山間地の足の確保のモデル事業が必要。 |

北福地 地域社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年 12 月 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支えあっている事) | 今後必要な事 |
|----|---|---|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 宅老所（きらきら福地）が地域内にある。 ・ 高齢者の人たちによる通学路の見守りが行われている。 ・ 近親者・縁者（親戚）が地区内に居住している人が多い。 ・ 近年消防団の若年層の人数が増えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔に比べ近所付き合いが少ない。 ・ 少子高齢化が進んでいる。 ・ 一人暮らしの高齢者が増えている。 ・ みんなで集まる行事が減っている。 ・ 行事をしても人が集まらない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい花壇事業 ・ いきいき講座の実施 ・ 福祉入浴 | <ul style="list-style-type: none"> 区・常会として ・ 避難場所、避難路の維持管理 ・ コンパクトで負担のかからない手際の行事、クラブの計画 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として ・ 行事になるべく多くの人に参加してもらおう。(特に30～40代) |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・ 家族や親戚と緊急時の連絡方法や避難場所を決める。 ・ 防災に関する勉強会に定期的に参加する。 |
| | | | | |

芦沢 ご近所福祉計画
私たちが住む地域 情報収集シート

(平成29年10月20日作成)

| | 良いところ | 気がかりなところ | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|---|---|---|---|
| 高齢者 | | <ul style="list-style-type: none"> • 男性の社会参加が少ない | <ul style="list-style-type: none"> • 奇数月の10日に、社協役員が、75歳以上の1人暮らしの家を訪問し安否確認している。空き家の様子も確認している。 • おかげで、火事を未然に防ぐこともできた。 • 福祉入浴 | <ul style="list-style-type: none"> • 区や地域社協として • 顔見知りだから手伝ってあげるよ、と言える。顔見知りになれる機会が必要(今回の参加者は60代後半で同年代。同じ60代でも60代前半の人たちとはあまりわからない。) • 見守りには、子どもたちにもこのおじさんか知ってもらうことが大事。特に中学生以上になると、地域の行事にもでなくなり、わからない。 • (多世代交流の地域イベントはふれあい広場) |
| 子ども・若い世帯 | <ul style="list-style-type: none"> • 気候や景観など子育てによい環境である | <ul style="list-style-type: none"> • 若い世帯が少ない • 子どもが減っている • 若い人が地域に愛着を持ってくれない • 中高年と若者のつながりが希薄 | | |
| 近所付き合い・行事 | <ul style="list-style-type: none"> • 人間味がある • 人情がある • 優しい人が多い • 現在の6.5歳以上のつながりが密である | <ul style="list-style-type: none"> • 本音がなかなか聞けない • 区の役が多すぎる • 地区の作業が多く、大変 • お祭り参加者が減少し寂しい • 集まり事以外での交流が少ない • 土地の傾斜が激しく、車で生活する人が多い | <ul style="list-style-type: none"> • ふれあい広場 • お祭り • 福祉懇談会 | <ul style="list-style-type: none"> • それぞれの個人として • 空き家については、市の空き家バンクに登録してはいいかがか。 |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> • 住みよい • いいお宮がある • 桜が綺麗 • 見晴らしが良い • 河原は車が少なく散歩に良い • 陽当たりが良い • 環境が良い • 雪が早く溶ける • コンビニがある | <ul style="list-style-type: none"> • 井筋が切れたら土砂崩れが心配 • 大雨の時の災害がこわい • 車に乗れなくなった時、コンビニ以外への買い物が困る | <ul style="list-style-type: none"> • 市のお出かけ講座(危機管理課の話) | <ul style="list-style-type: none"> • 行政・市社協として |

平成30年6月4日に開催した福祉懇談会では、南割を更に良くしていくための座談会を開催しました。座談会の内容を区民の皆さんと共有するために作成したものが、この『南割区 ご近所福祉計画』です。南割区一丸となり実現していきましょう！！
 (福祉懇談会には区民誰でも参加することができます)

南割区 ご近所福祉計画

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">“私たちの住む 南割を こんな地域に したい”</p> | <p style="text-align: center;">☆ 子供や高齢者が元気な南割</p> <p style="text-align: center;">☆ 世代を超え纏まりが良い南割</p> |
|--|--|

《現状分析》

| | |
|---|---|
| <p>【チャンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政等から各種支援が受けられる ・伊那市社協より各種行事への積極的な支援がある ・伊那市社協から「ご近所福祉計画作成」支援がある | <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子、高齢化が進んでいる ・世帯数があまり増えない ・保育園がなくなった ・空き家が増えた ・スーパー等のお店が遠い |
| <p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご近所付き合いが良い ・区民がほぼ顔見知り ・まとまりがある ・お互い助け合う ・人柄がいい ・社協行事への出席者が多い ・災害が少ない ・自然環境、立地条件が良い | <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯主はわかるが、若い人の顔がわからない ・二世帯、三世帯が少ない ・赤子の泣き声が少ない ・「助けられる」、「助けを求める」ことが切ない ・班や区の行事に参加しない人がいる ・他の地域の様子がわからない |

《当面の取り組み》

| | | |
|---|--|---|
| <p>【区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年代別の各種集会やクラブの育成 ・班の纏まりを更に向上する取り組み ・今の行事に世代間が交流できる内容を組み込む |   | <p>【南割社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この「ご近所福祉計画」を全戸配布する ・支援の仕組みづくりに着手してみたい ・お年寄りの話を子供や若者が聞く機会を作る |
|    | 絆 |    |
| <p>【個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が小さなことでも「ひとつ・ひとつ」積み上げる ・南割の歴史を学びたい |   | <p>【行政】(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関するよろず相談窓口 (介護、健康、医療、財産管理、その他困り事への情報提供やアドバイス) <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の仕組みづくりや地域課題等への相談、支援 |

| | 良いところ | 気になるところ | 取り組んでいること | 今後必要な事 |
|--|--|---|---|---|
| <p>子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものあいさつができている。 ・子どものあいさつがうられしい。 ・子どもが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの名前がわからない。 ・将来も末広がに住んでもらいたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの名前がわからない。 ・子どもが多いので、平日の昼間、高齢者だけの家が多くなる。 ・今後庭木の手入れが心配。 ・今後草取りが心配。 ・(庭木の手入れとは大変さが違う。) ・雪かきが心配。 | <ul style="list-style-type: none"> ・班の新卒会には子どもも一緒に参加している。 ・小中学生の登下校の時に、「事故やケガがないかな」とちよつと気にしている。 ・朝夕登下校時にできるだけ家の外に出て見守っている。 ・子ども(小5・6)と花いっぱい運動を行っている。 ・毎日の犬の散歩の時に、なんとなく「居るかな〜」と気にかけている。 ・一人暮らし世帯の事はちよつと気にしている。 | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の分け方は、水路など立地で行われているものなので、年齢層の偏りなどを考えると、班を越えた対応も考えていく必要がある。 |
| <p>高齢者</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・会社員の世帯が多いので、平日の昼間、高齢者だけの家が多くなる。 ・今後庭木の手入れが心配。 ・今後草取りが心配。 ・(庭木の手入れとは大変さが違う。) ・雪かきが心配。 | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ班でも頻繁に会う人と、会わない人がいる。 ・同じ班での交流はあるが、違う班とは交流がない。 ・同じ班内の状況はある程度わかるが、違う班のことはほとんど知らない。 ・班を越えて集まる機会が減少している。 ・班によっては高齢者が多い。若い人が少ない。子どもがいない。 ・班の行事は、全てのの人に声をかけているが、出席者が偏っている。 ・班の中でも世代交代がなかなか進まない。 | <p>《ご近所付き合ひ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所などを経験すると、区に早く馴染むことができる。 ・散歩の途中で会う知らない人もあいさつができる。 | <p>★末広の歌を普及させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区全体を対象にした粗聴会を増やす ・既存の行事に、子ども達の参加を促す ・長持、獅子舞、太鼓等の地域の中の芸能を活発にして、子ども達も巻き込み地域の活性化をはかる ★納涼祭に一人暮らし高齢者に参加してもらおう(声掛けする) ・PTA役員、区役員、社協推進委員の交流会 ★集落センターなどで文系活動の部活動を開催しサポートする |
| <p>班・ご近所付き合ひ・行事</p> | <p>《ご近所付き合ひ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所などを経験すると、区に早く馴染むことができる。 ・散歩の途中で会う知らない人もあいさつができる。 <p>《行事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協や公民館などを通じて高齢者対象の行事を多く行っている。 ・毎年新年会をしている。家族全員参加している。 ・地区の行事が多い。 ・地区行事への参加率が一定以上ある。 | <p>《ご近所付き合ひ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のことは気になるが、自分の家の情報は外に出したくない。 ・家族以外の人にお願ひするのは気が遣ってしまう。 ・気軽にお願ひできない。 ・助けてと言えないかわからない。 ・ご近所同士の付き合ひがあまりないので、何かあったとき心配。 ・両親以上の関わりが薄れている。 ・古くから住んでいる家と新しく入った家との交流が少ない。 ・農家と非農家の交流が少ない。 ・同性でない頼みづらいこともある。 <p>《行事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいない。 ・道路状況が高齢者には大変。 ・通学路が歩行者用の信号のある道ではない。 ・車が運転できなくなったら、病院に行けない。 ・歩いて行けるところにお店がない。 ・お酒を飲むところがない。 | <p>《ご近所付き合ひ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配り物の時に、家の周り様子など気に留めている。 ・一人暮らしの人の雪かきを手伝っている人がいる。 ・草刈りは大変だが、みんなで作ること、顔見知りになる機会となる。 ・河川清掃で顔を合わせている。 ・回覧板を郵便受けにいわず手渡ししている。 ・あいさつを積極的に行っている。 ・地区で祭りなどの行事を行っている。 | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ゴミを出すときに手助けをするような取り組み ・末広のスポーツ施設を活用した、子どもの学校外活動クラブの編成とそのサポート(学童がいつぱいという話を聞くので) ・庭木の剪定、切り倒しに、予備消防、早起きソフトクラブ等の区内の組織をつなげていく ・縁側でこれからの末広の課題を話し合う ・福祉懇談会の開催を年2回とする |
| <p>交通</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い。 ・コンビニ、JAが近く買い物に便利。 | <ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいない。 ・道路状況が高齢者には大変。 ・通学路が歩行者用の信号のある道ではない。 ・車が運転できなくなったら、病院に行けない。 ・歩いて行けるところにお店がない。 ・お酒を飲むところがない。 | <p>それぞれ個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの集まりに出会えば顔を出すよう心掛ける(野球、神社の清掃、場山ハイキング) ・通学路近くの人を中心に声掛け ・散歩のついでの見守り(腕章を付けるなど双方の安全面に配慮する) ・ウォーキングを下校時に合わせる | <p>行政・市社協として</p> |
| <p>環境</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・交番が近く、犯罪が起きにくい。 ・災害が少ない(川や崖が少ない) ・山の景色がきれい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいない。 ・道路状況が高齢者には大変。 ・通学路が歩行者用の信号のある道ではない。 ・車が運転できなくなったら、病院に行けない。 ・歩いて行けるところにお店がない。 ・お酒を飲むところがない。 | <p>それぞれ個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ゴミを出すときに手助けをするような取り組み ・末広のスポーツ施設を活用した、子どもの学校外活動クラブの編成とそのサポート(学童がいつぱいという話を聞くので) ・庭木の剪定、切り倒しに、予備消防、早起きソフトクラブ等の区内の組織をつなげていく ・縁側でこれからの末広の課題を話し合う ・福祉懇談会の開催を年2回とする | <p>行政・市社協として</p> |

下県 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成29年6月4日、平成30年6月3日作成)

| | 良いところ | 気になるところ | 取り組んでいること (行事、集まり、助け合い) | 今後必要な事・できそうなこと |
|------------------|---|---|--|--|
| ご近所 付き合い・助け合い | <ul style="list-style-type: none"> ・区民のまとまりがある地域 ・行事にも協力的でまとまりがある ・昔からの付き合いが絶えている ・近所・隣組の仲が良い ・ご近所同士声を掛け合っている ・行事には誘ってでかけている ・ご近所同士で色々な世間話ができる ・人との交流がある ・班の中で新年会など交流がある ・野菜などおすそわけをする習慣がある ・雪かきの助け合いがある | <ul style="list-style-type: none"> ・世代が違くと顔が分からない ・高齢者の多い班、若い人の多い班とある ・困った時に自分でお願ひする相手を探すのは難しい ・顔の見える関係づくりを進めていきたいが、誘っても出てきてくれない人がいる。そういう人は、地域でも顔がわからず「あのんだれ?」となってしまう ・助けてほしいと言ってくれる人は少ないのではないのか ・情報がない ・チャイムを押しても出てこないなど、心配なことがある場合、どこまで関わったらいいのか | <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板まわす時には必ず声をかけて渡すようにしている ・三世交流のにじいろサロンを開催している ・班ごと新年会行い顔を合わせている。若い世代も参加している。 ・福祉懇談会を開催し、地域のことを話し合っている。このような場は有意義 ・今までの会食会を誰でも気軽に参加しやすい形式のふれあい広場にした | <p>区・町内会・地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下の段はゴミ捨て場がつかないで増やしてほしい ・行政に頼むものは頼み地域でできることはやっていたらば ・小学生や学生にも手伝ってもらう(高齢者へ声をかけるなど見守り隊ボランティアのような) ・個人では頼みにくいので、ボランティア組織をつくる、班の規約を整理して取り組むなど助け合いのできる仕組みを考えていく ・100%の解決はしなくても、少しの悩みを聞ければ ・ゴミ出しに困っている人に具体的に困っている内容・項目を知らせてもらう |
| 人 | <ul style="list-style-type: none"> ・気遣いの心や人が困っていれば何とか助けてあげたいと思う心を持っている人が多い ・協力できることはすぐやってくれる ・地域で争い事がない ・新しく入ってくる人も快く迎えてくれる ・学校行事を女性も男性参加し支えている ・近所の方が剪定した枝を片付けてくれて助かった ・芸達者な人が多い ・電気屋さんがいる ・庭木屋さんがいる | | | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に声をかけあうことが大事だと思う ・人付き合いを大切にしていく ・頼む頼まれるを当たり前に ・日頃から近所付き合いを上手に ・前日にゴミ出ししておくので、お願いしますと電話をいれてもらえればお手伝いできる ・ゴミ出しについては、家の前に出しておいてくれれば持つて行くことは可能 |
| 自治会 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館行事が充実している ・自治会や社協が一生懸命 ・会議後酒が飲めるところがいい ・文化活動が盛れている ・ボランティア活動が盛ん ・パソコン使える若い人も会議に参加してくれる | <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の人数が少ない ・会議等の出席者が少ない ・会議後の酒の席に若者が少ない ・区へ入らない人、抜ける人、行事に全く出ない人がいる ・隣組の戸数減少 ・世代交代がうまく進まない ・子どもの遊ぶ場所がない | | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なケアマネージャーの訪問 |
| 子供 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが元気 ・子どもたちが明るく大きな声で挨拶してくれる | | <ul style="list-style-type: none"> ・バスハイク ・ふれあい広場 ・敬老会 | |
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が元気よく、よく働く | <ul style="list-style-type: none"> ・食事会、敬老会の出席者が増えている ・敬老会や食事会の男性出席率が低い ・一人暮らしや日中独居の高齢者が心配 ・今仲良くしている人も同じように高齢になっていくので、いざという時誰に頼めばいいのか心配 | <p><ゴミ捨て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬は雪が降って出せないという雪かきの問題にも派生する ・動けない人のゴミ出しは困っているだろう ・チャイムがない家もあり、どう連絡をとるか ・車に乗れない人もゴミ出し困るだろう ・ゴミ捨て場の数が減ったので、捨てに行くのに困る人が増えるのではないのか ・今後ゴミの分別に困る人もでてきそう | |
| 環境・交通 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校が近い ・交通の便が良い ・桜がきれい ・環境が良い ・森や田んぼが残っている | <ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭い場所がある ・車の事故が案外多い ・商店がない ・坂が多く車でないで移動しにくい ・交通が不便。(バスがない) ・農業の担い手がいない ・空き家になるのが心配 ・ゴミ捨て場の数が減った | | |

下川手 ご近所福祉計画
私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年9月1日作成)

| 良いところ | 心配なところ、不足しているもの | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要なこと |
|--|--|--|--|
| <p>・班単位での飲み会の席でコミュニケーションが取れている</p> <p>・認知症になった時、声を近所にかけてあったので周りの人が面倒をみてくれた</p> <p>・転入してきた世帯がきっかけで班の中で交流がうまれた</p> | <p>心配なところ、不足しているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の行事等でしか近所付き合いがない →入院等の情報、家族構成等を個人情報として発信したくない人もいる | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン (食事会、バスハイク) ・福祉懇談会 ・趣味の作品展 ・班ごとの飲み会 | <p>今後必要なこと</p> <p><助け合いについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集まるきっかけづくり (楽しめること) ・接点をつくる近所の人が大切 <p><災害について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難するには班やお隣2、3軒の協力が重要になるので、災害時の避難についての班ごとの話し合いを行った方がよいのではないか ・班長が把握しても、班長がいない時もある。班長がいない時は次の班長、その人もだめならその次の班長と決めた方がよいのでは ・誰が誰を助けるという組み合わせ決めた方がよいのでは。西日本や白馬もそうして減災できた ・日中仕事している人も多い。組み合わせ決められるのか ・班全員があの家には助けに行かなければならぬ人がいると知っていれば、誰が誰をと決めなくてもよいのでは。 ・支援については、安否確認までなのか、どこまでやるのか決めておいた方がよい |
| <p>災害について</p> | <p>心配なところ、不足しているもの</p> <p>Q避難時の集まる場所など各班で決まっている？ →避難時の集まる場所が決まっている班と決まっていない班がある</p> <p>Q各班の支援がいる家庭の把握はできているか？ →班の中での繋がりの変化や新しく入った家庭などあり年々わからなくなってきた</p> <p>Q以前に区で防災マップの作成をしていたが、最近は見えないのはなぜ？ →各家庭の情報が記載されているので、個人情報保護にあたり公にできなくなっている。2011年頃から更新していない。</p> <p>・そもそも避難場所や避難経路ってどうなっているのか知らない</p> <p>・公民館が避難場所であり連絡箇所では混乱するのではな</p> | | |

中坪 ご近所福祉計画
私たちが住む地域 情報収集シート

(平成29年6月17日、平成30年6月16日作成)

| | 良いところ | 心配なこと、今足りないもの | (行事、集まり、支え合っている事) | 今から備えるべきもの・こと |
|----------------|--|--|---|--|
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> ・脳いきいき教室が情報交換の場となっている ・高齢者クラブが再始動した ・いきいきサロンを開催している | <ul style="list-style-type: none"> ・男性は脳いきいき教室で行う「歌」や「折り紙」などを好まない傾向にあり、参加したがらない。 ・福祉入浴やバスハイクなど、行事に参加するメンバーが固定 ・普段顔を合わせない高齢者の方々の様子がほとんどわからない。 ・1人暮らしの高齢者は常会の行事に参加する機会が少ないので、家族がいるから心配ないと思いきい関心が薄れている。 ・高齢者のみ世帯になったときに交通手段がないと、買い物や通院ができなくなる。 ・運転できない人の交通手段がない（バス等） | <ul style="list-style-type: none"> ・脳いきいき教室 (高齢者福祉課・市社協・中坪社協) ・いきいきサロン／福祉入浴 (中坪社協) ・高齢者のみ世帯への訪問 (民生児童委員) ・高齢者クラブの復活 (中坪元気会) | <ul style="list-style-type: none"> 区として、地域として ・1人暮らしの人に対し、別居の親族の連絡先を誰が知っているか整理できているか？何かあった時に連絡をとれる体制をつくっておく ・1人暮らし世帯が孤立しないようなイベントや交流 ・1人暮らしの高齢者に対し、ゴミ出し等を手伝う (ご近所付き合いななどで) ・お互いの生活状況にあった地域活動をつくっていくこと ・若い人達の集まれる場所（行事・その他色々） ・若い人の地域活動への参加 ・暮らしのための交通手段 ・長寿社会になってきているので、高齢者の中から社協役員を選出することで、高齢者の若返りにつなげる ・今の時代から、次の時代に残したい中坪について子ども達と考えていくこと ・取り組みは沢山行われているが、区民全員が知っているか？区民への周知 |
| 1. 近所付き合ひ・助け合ひ | <ul style="list-style-type: none"> ・常会の活動が毎月のようにあり、関わりが活発 ・常会で毎月集まり顔を合わせて情報共有している地域は珍しい ・回覧板を持って行く際に、声をかけて渡すようにしている ・雪かきに関しては、親類間で助け合いができています。 ・公共的な場の草取りをしてくれている人がいる（女性） | <ul style="list-style-type: none"> <ご近所付き合ひ> ・30～40代の家では表札を外している家があり、近所付き合ひも薄いように思う。 ・地域、近所の家の様子を知らない ・常会の活動が毎月あって活発だが、年齢によって出てこれない人、活動を知らない人も多い。 ・男性が集える場がないことが心配 ・昔は青年会があったが、今はそういういった若者の交流がない <助け合ひ> ・「困っていることはあるか？」と聞いても、「困っていない」と言われてしまう ・困っているのかどうかわからない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中坪の歩み発行 | <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えて ・災害が起きた時に常会の中でどのように助け合ったら良いかを話し合うこと ・隣りだけでなく、常会内くらいの範囲で、援助が必要な人、支援できる人を把握しておくこと ・白馬村をお手本に準備 ・個人情報に関する情報不足により、災害時に困ることが起きる可能性があるの で、なるべく正確な情報把握ができる体制 ・普段から区・常会単位・個人で防災意識を高める取り組み ・水害、地震それぞれの災害時の避難所を明確にする ・防災訓練の実施 ・非常時の食料備蓄 ・家庭内で常備しておくものを認識する |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時住民支え合ひマップに取り組んでいる | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員が少ないので若い人はもつと入ってほしいし、親も勧めしてほしい ・万一に関する危機意識 ・災害の時は近い人が大切だが、常会のつながりや隣近所のつながりがなくなっている ・危険個所や避難ルートを把握できていない ・防災、避難所の公民館自体の耐震性 ・災害時住民支え合ひマップの作成について、「個人情報だ」という人が増え、情報収集が困難 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時住民支え合ひマップ (情報を充実させる必要がある) (中坪区、中坪社協) | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの人として ・まちの縁御のような場所が地域にあると男性は集いやすくなると思う。 ・見守りをする ・助け合いについて、自分たちが「自分たちのこと」という意識をもつ ・屋号を大目にする ・近所で声掛け ・行事のあとの懇親会等家族での参加 ・各常会内で情報を共有する ・実際のコミュニケーション |

野口地区

私たちが住む地域

ご近所福祉計画

情報収集シート

(平成29年6月28日、平成30年6月28日作成)

| | 良いところ | 気になるところ | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-------------------|--|---|--|---|
| <p>ご近所付き合いのこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ご近所付き合いがさびりしているので、若い人が入って来やすいと思う。 ・まちの縁側がある。人が集まり、情報が集まりやすい ・若い世代の転入者が地域活動にも積極的に参加している。 ・雪かきは親戚などの個人で助け合いが出来ている。 ・人々の気持ちは温かい ・みんなが協力し合える。 ・みんなの顔を知っている。 ・集落ごとにまとまりがある。 ・助け上手な人が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・若い人達が家を建てても、交流が少ない ・屋内外の整理整頓ができず、生活環境の維持が困難な世帯が発生してきている。 ・家庭の事情などで忙しく、周りのことまで難しい ・個人の価値観や考え方との兼ね合いをどうしたらいいのかわからない | <ul style="list-style-type: none"> ・まちの縁側 (3か所) ・常会の共同作業に若い人が大勢出席してくれていること ・で、次世代とのつながりができている。 | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかける ・訪問する ・行事や会議を出席しやすい時期や曜日に開催する ・地道でも細々と続ける ・あいさつや声かけを行う ・一人暮らしの人の状況を知る ・来年度役員への引継ぎ ・欠席者に情報を伝えて参加を促す ・避難行動要支援者の避難訓練。実際に避難所まで移動してみる。 |
| <p>高齢者のこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンを開催している。 ・高齢者クラブが盛ん ・高齢者のまとまりがある。 ・常会のお茶のみ会がある。足が悪くて公民館まで出かけるのが大変な人でも、会所には来られる。 ・一人暮らしの高齢者や、運転できない人の買い物は酒井商店のおかげで本場に助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人浴の参加者は多いが、本場に必要な人が行っているかどうか ・高齢者の独居世帯が増加している。 ・未婚者が高齢化し、将来見守り世帯が相当数になると予想される。 ・老老介護世帯が増加している。 ・庭や通路の雪かきできなくなると、買い物や通院が心配 ・車の運転ができなくなった時、買い物や通院が心配 ・男性が独居になった際、家事が不安 ・ゴミ出しができなくなるかもしれない | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブ事業への参加声かけ、来た人の見守り活動 ・手良地区社協で送迎ボランティア (通院の送りのみ) ・常会 (会所) でのいきいきサロン開催 ・一人暮らしの高齢者や、運転できない人の買い物は酒井商店が助けてくれている。 | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの縁側のお茶のみ友達グループ作り ・役員の定期開催だけでなく、毎日の仲間付き合い ・小さい単位での近所付き合い ・自分ができるときは進んでやってみよう ・あいさつや声かけをする ・回覧板をまわす際や配り物の際には、なるべく挨拶など声かけし、渡すことで顔の見える関係を広げる。安否確認にもつながる。(一方で・・・) ・玄関まで出てくることが大変な人への配慮など、意味があっても声かけせずに置いておく場合もある。その人の状況に応じた対応が必要 ・災害時の助け合い ・できる限り行事や会議に参加して常会などで話を広める ・まずは常会の中でのつながりをつくる必要があると思う |
| <p>子どものこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの挨拶が気持ちいい ・子どもたちへ声かけができる。 ・子どもがいないくてもPTA会費を負担して支え合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・にじいろサロンで世代間交流 | <p>行政・市社協として</p> | |
| <p>環境のこと</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・景観的に魅力がある。 ・山が綺麗 ・水が綺麗 ・自然が多い ・町中より静か ・桜公園が綺麗 ・鳥の宮湧き水のおかげで、県外の人にも野口を知ってもらえる。 | | | |

下 手 良 ぐ 近 所 福 祉 計 画

私 だ ち が 住 む 地 域 情 報 収 集 シ ー ト

(平成29年6月17日、平成30年6月16日作成、平成31年3月見直し)

| | 良いところ | 気になるところ | 取り組んでいること、できそうなこと (行事、集まり、助け合い) | 今後必要な事 |
|----------------------------|--|---|---|---|
| <p>ぐ 近 所 付 き 合 い の こ と</p> | <ul style="list-style-type: none"> 散歩をしながら話をしている、情報が伝わる。 隣近所のことかわかっている、という人間関係は財産だと思ふ。 義理人情に溢れている。 差別、偏見などが無い。 考えた事や、新しい事に素直に入り込むことができる。 協力的である。 雪かきは親戚などの個人で助け合いが出来ている。 公民館イベントには多くの人が集まる。 共同作業への参加率が高い 飲みがコミュニケーションになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 困りごとや欲求の訴えが少ない。 できれば必要以上にに関わりたくないという人もいる。 個人情報が多く難しい。コミュニケーションの難しさを改めて感じる。 昔は当たり前だったことが、今は変わってきている。 新しい世帯との交流が少ない。 近所のことを知らない若者が増えている。 企画したり活動の世話をしたりするリーダー的存在が少ない。 組織的に活動すると、諸役員を引き受けることになるので、参加の障壁になる。 役が1年交代なので、メンバーが総替えになつてしまふ。 | <ul style="list-style-type: none"> 小さいエリアであつても気楽に話ができる場づくりをする。 趣味をみんなで共有する。 花壇作りや草取りで関係を築く。 助け合いができるような良好な人間関係を築く。 昔から住む家でも、世代交代により色々なな会合や共同作業に出ることによって地域のことを覚え、交流ができていく。 役をやると覚えられる。 ウォーキングや農作業など、健康づくりに取り組んでいる人が多い | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 役が多く大変だが、それがつながりを作っている。大変だからなくすのではなく、残していくことも必要。 高齢者クラブが復活したので、参加を呼びかける。 <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 名称の変更について考える 三役の選任の方法について考える パソコンが使える人がメンバーにいると良い。 役の任期を延ばし、メンバーが総替えにならないようにできないか。 災害時住民支え合いマップの見直し |
| <p>子 ども の こ と</p> | <ul style="list-style-type: none"> 鉄人遊園で、子どもたちが遊んでいる。 地域の子どもの顔が見える。 若い世代の転入者が多いので、子どもの数が増え、子ども行事が盛り上がりつつある。 元気に挨拶ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 三世交代の球技大会や納涼祭など、子どもも参加できる行事がある。 子どもの見守りは、農作業中や散歩中など、自分の時間に合わせて、自分のできる方法でやりたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 三世交代の球技大会や納涼祭など、子どもも参加できる行事がある。 子どもの見守りは、農作業中や散歩中など、自分の時間に合わせて、自分のできる方法でやりたい。 | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所での挨拶や声かけをする。 小さい単位でのご近所付き合いを大切にしている。 できる限り、行事や会合に出席して、情報を共有する。 |
| <p>高 齢 者 の こ と</p> | <ul style="list-style-type: none"> 昨年、高齢者クラブが再始動し、70歳代の方々の交流の機会が増えた。 参加者は、脳いきいき教室やいきいきサロンでの交流を楽しみにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 福祉入浴やいきいきサロンなどへの参加者が少なく固定化している。特に男性は参加したがらない。 高齢者の一人暮らしが多い 近くに親族がいない場合は、特に心配になる。 高齢になるほど、常会等の行事に参加する機会が少ないので、家族がいる場合は、余計に顔を合わせる機会が少ない。 車の運転が出来なくなつた時、買い物や通院が心配。 | <ul style="list-style-type: none"> 脳いきいき教室 (社協) いきいきサロン、福祉入浴 高齢者クラブの活動 各種行事への参加を呼びかける | <ul style="list-style-type: none"> 脳いきいき教室 (社協) いきいきサロン、福祉入浴 高齢者クラブの活動 各種行事への参加を呼びかける |

渡場 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年11月26日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|--|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・女性が元気で活発な活動が見られる ・隣近所であっても、話す機会が少ない現状であるので、いきいきサロンに集まってにぎやかに楽しく過ごす機会を作っており感謝している ・園いきいき教室が開催され、にぎやかである ・環境美化に熱心な方がいる ・いきいきサロンで知らなかった方と知り合い合いられて良かった ・いきいきサロンで伊那市の地名カルタで地名を知ることができ、良かった | <ul style="list-style-type: none"> ・男性の各種行事への参加が少ない ・行事において役員の皆さんの負担が大きいと心配しているため、無理のない範囲でやってほしい ・高齢者の支援体制が整っていないように思う ・行事を企画しても参加者が少ない時があるが、もっと多くの方に参加してほしい ・区の行事に参加する方が決まっている ・高齢化が心配 ・気軽に遊べる場所 (ウォーキング等) できる場所があると良い | <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン ・ハーモニカ教室 ・高齢者男性の会 (むつみ会) に女性も入っても良いのではないかと | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会 地域社協として ・公民館活動を活発にしてはどうか ・サークルを立ち上げる ・踊りの会 ・カラオケクラブ ・活動のリーダーを育てる ・行事参加への声かけ ・何か困っていることはないかとかたまたま話ができる機会や人がいると良い ・高齢者宅などに訪問とかして安心、信頼できる人の繋がりがあると良い ・回覧板で参加者を募っても、参加者の偏りは解消できない。「サロンが楽しかった。」と言って貰える機会を増やすことが必要と感ずる。 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・都会から引越してきたが、子ども達の挨拶が元気で気持ち良いと感じた ・中学生が立派に挨拶をしてくれて感心する ・中学生は挨拶ができ、私の足を心配してゴミ捨てをしてしてくれる | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者との連携が少ない ・70歳以上もまだまだ現役で高齢者扱いされたい方が増えている中で、孤立している方が増えているため、若いうちから仲間づくりする積極性がなると感じており、今後若者の孤立が心配 ・通学路で狭い場所があり、車が来ると心配である ・家の近くに子ども遊び場がない | <ul style="list-style-type: none"> ・すくすくサロン | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・行事に参加される方が多いため隣近所譲り合って多くの方が参加できるようにお互い気にかける必要がある ・行事にはとにかく参加することにして ・お茶飲みグループを作る ・行事はいつも参加者が決まっているため、みんなを誘おうと思う |
| 地区全体のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・普段顔を合わせる機会が少ないため、行事があると色んな人に会えて嬉しい ・皆さん優しいし、思いやりがある ・ご近所仲が良い ・交流活動が増えている、にぎやかで嬉しい ・集まりがあると地区の皆さんと顔なじみになれて良いと思う ・サークル活動の参加費が安く、交流が活発である子どもから大人まで参加できる行事が身近なところであり良いと感じる | <ul style="list-style-type: none"> ・区民の集い ・区常会対抗スポーツ大会 ・公民館主催しめ縄作り ・区の総会 (2回) ・環境美化の取り組み (花の会) | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として ・ボランティア活動を活発にする ・サロンでの演芸ボランティアの情報提供 ・デマンドタクシーの乗り場について、ぐみ島の乗り場は家から遠いため、検討していただきたい | |

木裏原 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成30年5月26日作成)

| | 良いところ (H29年作成) (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (H29年作成) (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------------|---|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> • 高齢者の元気な人が多い • 趣味で楽しく過ごせる • マジック、大正琴など特技を披露してくれる • 運転の出来る方が多い | <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の課題について (マイナスのイメージ) <ul style="list-style-type: none"> • 高齢化が進んで、高齢者の一人、二世帯が多い 2 将来不安なことについて <ul style="list-style-type: none"> • 家電の修理が難しい・土地の維持、管理・車の運転 • 今後のゴミ捨てなどの困りごとが増えてきそう • 一人暮らしで体調が悪くなった時に不安 • 話し相手がい・お金の心配・雪かきがない • 遠方への買い物代行・庭や畑の手入れがない • 庭掃除、草抜き・一人での留守番 • 両親が高齢になった時の車椅子の介助 | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 H29年 (実施済) (1) 地域社協行事 <ul style="list-style-type: none"> • 入浴：みはらし2回、さくらの湯 • 屋食会：お花見屋食会、 (2) 区行事：マレットゴルフ、敬老会 2 H30年 (計画) (1) 地域社協行事 <ul style="list-style-type: none"> • 入浴：みはらし2回、さくらの湯 • 屋食会：お花見屋食会 (2) 区行事：マレットゴルフ、敬老会 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会・地域社協として ① 居場所について <ul style="list-style-type: none"> • 旧公民館跡地へあすま家を作り「まちの縁側」として活用することを検討する。 ② 孤立を防ぐために <ul style="list-style-type: none"> • 地区行事は参加者の固定が課題であり、積極的に参加を促し、孤立を防ぐ。(中には、何年も顔を見ない人もいるため) ③ 空き家に関して <ul style="list-style-type: none"> • 空き家ハート軒 (小浦さんが古屋から) 入ってきてくれたため、業者を通じて住人を募集する。 ④ 安心について <ul style="list-style-type: none"> • 街灯を増やして明るくする ⑤ 子供について <ul style="list-style-type: none"> • 西春近北北に8人が登校し、育成会は沢渡1名、小出7名が加入のため、木裏原子供会を立ち上げる。 ⑥ サロンについて <ul style="list-style-type: none"> • 年1回年末三世交代交流食事を年2回にしてコミュニケーションを取る ⑦ 役員について <ul style="list-style-type: none"> • 任期の延長1期2年～3年を2期、3期と継続して行うことにより、自分や家族を含めて将来、介護、福祉、医療、健康と心配事が一つ、一つ減るように努力する。 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> • 小さな子供が多い • 近所の子供が声をかけてくれる | | <ol style="list-style-type: none"> 1 H29年 (実施済) <ul style="list-style-type: none"> • 区行事 ラジオ体操 2 H30年 (計画) <ul style="list-style-type: none"> • 区行事：ラジオ体操 | <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者について <ul style="list-style-type: none"> • 月2回の脳いきいき教室参加してもらい、心も体も健康にする (個人) • 迷路をかけるに過ごせるよう、努力をしていく (個人) • 本家会 (区長経験者19名) で雪かき、草刈りなどをする。(全体) ② 子供との交流について <ul style="list-style-type: none"> • 子供との交流を兼ねて夏休みラジオ体操に参加する • 交流を兼ねて何か参加する ③ 地域社協役員として <ul style="list-style-type: none"> • 会費は延べ11年やることになると思う。H22～26、H29～33年頃まで頑張りたい。 |
| 近所づきあい (地区全体) | <ol style="list-style-type: none"> 1 人について <ul style="list-style-type: none"> • 医療関係者が多い • 困った時にすぐに助けてくれる 2 地区行事の良さについて <ul style="list-style-type: none"> • 地区行事の参加者が多い • 夏祭りは賑やかで和気あいあいとしている • みんなが行事に参加、協力している • 高齢者が出る機会が多い 3 自然について <ul style="list-style-type: none"> • 災害が少ない・空気が良い・環境が良い・水害がない • 自然が多い・天災や震災が少ない 4 建物について <ul style="list-style-type: none"> • 公民館が新しくなり、避難場所としての利用が安心 | <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の課題について <ul style="list-style-type: none"> • 挨拶しにくい方もいる 2 将来の不安なことについて <ul style="list-style-type: none"> • 区の役員になってもパソコンができない • 街灯が少なくて暗い • 地域の役員決め • 話し相手がい • ひとりぼっちになるのが不安 • 空き家が増えること | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者について <ul style="list-style-type: none"> • 月2回の脳いきいき教室参加してもらい、心も体も健康にする (個人) • 迷路をかけるに過ごせるよう、努力をしていく (個人) • 本家会 (区長経験者19名) で雪かき、草刈りなどをする。(全体) ② 子供との交流について <ul style="list-style-type: none"> • 子供との交流を兼ねて夏休みラジオ体操に参加する • 交流を兼ねて何か参加する ③ 地域社協役員として <ul style="list-style-type: none"> • 会費は延べ11年やることになると思う。H22～26、H29～33年頃まで頑張りたい。 <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地区社協 <ul style="list-style-type: none"> • 子供と暮らしても、日中高齢者のみかみになってしまいう場合、足の確保として、送迎ボランティア利用を許可してほしい。 ② 市社協 (会長との会話にて) <ul style="list-style-type: none"> • 福祉懇談会をH30年度内に今後1回開催予定 | |

下殿島 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年9月14日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|--|---|--|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> • 人との絆を大切にしている • 農業を元気でやっている • 犬を連れて散歩している人が多い • 行事へ参加する方が多い • 困っている人を助ける雰囲気がある | <ul style="list-style-type: none"> • 隣の困っている状況が分からないう • 隣近所でお茶飲み会がなくなってきた • 近所の人でも顔を合わさない • 行事に参加しない男性が多い | <ul style="list-style-type: none"> • 伝統行事として、土蔵獅子舞、お彼岸の花作り、御念仏など行っている • 敬老会を毎年行っている • 小部落の行事を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 地域社協として • 区で車のスピードのことを注意するよう呼びかけを行ってほしい • どんな人が何に困っている、必要としているかととりまどめてほしい • 支援マップの活用をみんな考えてくれる機会を作る（常会を中心に話し合いの機会を作る） |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> • 元気に挨拶をしてくれる • 親子で活動していることが多い • 安全に通学している | <ul style="list-style-type: none"> • 人数が少なくなってしまうっており、行事に参加しづらい。 • 顔見知りの子どもでも達は良いが、知らない子ども達も声かけづらい • 子どもが外で遊ばない | <ul style="list-style-type: none"> • 大人が子どもにも声をかけあっている • 子育て支援を充実できるよう行事を行っている | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として • 健康に気を付ける • 行事に参加する • 近所に関心を持つ • ラジオ体操への参加 • 道路では安全運転 行政・市社協として • 他地区の情報提供を行う • 困っている方について、地区で取り組みを行う際にサポートする |
| 地区全体のこと | <ul style="list-style-type: none"> • 野菜をいただいたりして、会話もでき嬉しい。 • ご近所同士仲良く暮らしている • 困っている人を助ける雰囲気がある • 各々の行事に参加している • 常会ごとの集会所がある | <ul style="list-style-type: none"> • それぞれが生活に忙しく、声をかけづらい。 • 道路が広くなり、スピードが速すぎる • 隣近所の行き来が無く、災害があった場合、混乱を起こす • 災害時の対応が大変である | <ul style="list-style-type: none"> • 一人暮らしの方の雪かきをしている • 公民館活動が盛んである (文化祭に向けての作品作り（婦人部）、しめ縄飾り、子ども手作り教室、マレットゴルフなどの世代を超えた行事) • 伝統文化が継承されている（土蔵祇園祭） • 婦人部の方が中心に助け合い活動行っている | |

田原 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年6月10日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------------|---|--|---|--|
| 高齢者のこと | <p>良いところ (プラスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【高齢者のサロン】 ・筋トレ教室に毎週10名前後が参加している。 ・元気な方が多い。 ・農作業に取り組んでいる方が多い ・行き会々と挨拶を進んで行う。 | <p>気がかりなところ (マイナスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が増えており、今後が不安。 ・免許の自主返納により、買い物に行けなくなった親をみると、今後高齢者になった時に不安。 ・農作業後、耳の遠い高齢者が道に寝そべっている ・足の確保 | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋トレ (毎週月曜日) ・福祉入浴会 | <p>今後必要な事</p> <p>区・地域社協として (要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で顔を見える関係作りができるよう、交流会 (サロン) を開催。 ・災害時のマップや救助者と支援者のマッチングの更新と訓練の実施。 ・災害の種類によって対応が変わるため、区で想定し検討していく。 ・地域の先頭に立って課題解決に取り組むが必要。 ・地域で話し合う機会を今後も設ける必要がある。 ・地域でどんなことが必要かわからないため、アンケートの実施を検討していく必要がある。 |
| 子どものこと | <p>良いところ (プラスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地域での関わり】 ・挨拶ができる。 【地区での計画】 ・子どもが遊べる場所づくりについて考えている。 ・今後滑り台を建設予定。 【保護者のこと】 ・保護者同士の仲が良い。 ・地区行事に積極的に参加している。 | <p>気がかりなところ (マイナスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路が狭い ・学校が遠いため、不審者の対応が心配 (犯罪に巻き込まれたらどうしよう) ・子どもの見守り ・子どもの減少 ・柵やフェンスが古いため、破損し怪我をしないか心配 | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行事 ・ひまわり会にて、親子の交流の場づくりの実施 | <p>今後必要な事</p> <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に地区にいる人だけで助け合って逃げられるように、普段から交流する場に参加する。 ・筋トレ教室に参加する。 ・日常的に声の掛け合いを行う。 |
| 近所付き合いのこと (地区全体) | <p>良いところ (プラスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【区全体】 ・雪かきやゴミ捨てなど地域で助け合って行っている。 ・上下関係を大切にしつつ、気さくに話ができる。 ・子どもの頃の地域行事での楽しい思い出が残っているため、地域が良いところであると印象が強い。 ・地原より地域行事が盛んであると感じている ・近所付き合いが多い ・頼むと真剣になってくれる人が多い | <p>気がかりなところ (マイナスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【道路環境の不安】 ・公民館前の道路の道幅が狭く、自動車のすれ違いに不安がある。 【災害時の備えについての不安】 ・平成18年の豪雨災害をきっかけに常会役員が避難マップを作った、高齢者のみ世帯や心配なところへ支援のマッチングをしたが、最近は避難訓練もできておらず、マッチングも更新されていない。 ・避難訓練は元気な健康者しか行っていない。 ・避難の際、助けてほしい人がいる時に立てる旗はあるが、助けにいく人が決まっていない ・助けに行く人が日中もしくは地区に居ない時はどうしよう。 ・平成28年度：災害時助けてほしいという調査の結果、ある組では、組の高齢者が全員手を挙げたことがあった。 ・一人暮らしになった時に助けてくれる人がいるか不安。 | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉懇談会 ・敬老会 ・役員会 ・雪かき支援 (依頼があれば・・・) | <p>今後必要な事</p> <p>行政・市社協として</p> <p>【市・地区社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で行う話し合いの場やアンケートについて他地区の情報提供など行いながらサポートが必要。 <p>【地区社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスについて規約の見直しをしていただき、利用登録者が1回でも多く利用してもらうように検討してほしい。 |

睦野区 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年8月28日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|--|--|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が多い ・公園でラジオ体操を頑張っている3年以上続けている ・縁側に出かけられるようにしている ・縁側を楽しみにしている ・縁側で話をするのが楽しい ・脳いさきに参加するようにしている ・参加して脳の体操ができることがありがたい ・畑や散歩をしている ・挨拶ができる ・ご近所と親しくお付き合いできる ・声かけが良く出来る ・顔を見ると気軽に挨拶ができる ・物事を始めるにあたり協力者が必ずいる ・それぞれ趣味を持って暮らしている方が多い ・子どもの見守り隊で10年以上関わっている ・高齢者のまとめ役となる人がいる | <ul style="list-style-type: none"> ・特定の家では、草がボウボウで、あまり動けないのか ・心配しても声をかけると別に困っていませんという ・できていない方がいる ・家から出ようとしない高齢者がいる ・一人暮らしの方は外部とつながりを持ちたがらない ・誘っても迷惑がられる ・個人的に困りごと（協力できること）が表に出て来られない ・高齢者になっての住環境の整備がおそろそになる ・困りごと、手助けしていることが分かるようにしている ・交通の便が悪く、車がないと動きがとれない ・お店がまわりがない ・脳いさきや縁側などに出てきてない人たちと交流ができない | <ul style="list-style-type: none"> ・地区の行事について比較的に多く行っている ・毎月の縁側の開催 ・入浴会、バスハイクなど | <ul style="list-style-type: none"> ・区・町内会として ・地域社協として ・気軽に助け合える関係作りを行ってほしい ・健康寿命を延ばす活動を行ってほしい ・区と社協が協力して、地域の必要な情報を住民に伝えていく ・助け合いができる関係作りに取り組みむ |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・どの子も挨拶してくれて気持ちが良い ・夏のラジオ体操に参加してくれるとにぎやかで良い ・元気な子どもがいるから安心 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと交流する機会がないので、実態が分からない ・子どもの貧困など状況が見えないし、社会問題の実情も分からない ・子ども達の名簿がないため、どの子どもも分からない ・地区行事への参加がない | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも参加できる地区行事の実施など | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの個人として ・健康に気を付ける ・挨拶をする ・地域行事に積極的に参加する |
| 地区全体のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少なく四方山に囲まれ、守られている ・景色が美しい ・治安が良い ・東京から来てよかった ・縁側に来るのが楽しみ ・木がととても多い ・あまり昔からの行事の出欠にしばられないのが良い ・静かなところで、子どもが安心して外へ出られる ・静かだが、皆さん良い人 | <ul style="list-style-type: none"> ・商店が近くになく、遠い ・公共機関が少ない ・坂が急で歩くが固まる ・組内以外の顔見知りが少ない知らない ・買い物、通院、ご近所付き合い、除雪、近所の行き来があまりない ・新しく入居した人がわからない ・近所の方が皆忙しいので交流がない ・自動車の運転ができなくなると買い物はどうすれば良いか不安 ・一人生活になったらどうしようかと思う ・睦野の人でも知らない人がいる（名簿の転入室の方でも） | <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りを楽しみに子供から大人まで仲が良い | <ul style="list-style-type: none"> ・行政・市社協として ・他地区の取組の情報提供を行う ・縁側、助け合いの活動のサポートを行っていく |

大泉新田 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 8月 8日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|----------|--|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 元氣な老人が多い 脳イキキ出前講座も参加者が大勢いる(12, 3人参加、送迎は家族等が協力している) 畑で働いている人は元氣(冬場は脳イキキにも出席する) 寝たきりや認知症の人は少ない、若い人がいて面倒を見ている 一人暮らしの人は息子のところにいる 買い物はファミリーマートの車が来たり、生協を取っている人もいる 3世代同居、2世代同居の家が多い 野菜作りなど働けるのは幸せ | <ul style="list-style-type: none"> 出席する人が決まっている(同じ人)75歳は動き盛っているか把握(調査)した方がいいかも。実態がわからない。誘いはかけているが、来ない人はしょうがない。 高齢者クラブはなくなった。何をするのかということがある | <ul style="list-style-type: none"> 脳イキキ出前講座 運動会、収穫祭、敬老会、獅子舞 サークル活動(大正琴、ゴルフ、体操、習字、ハーモニカ、元氣会)は自主的 花壇をつくる | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> 今やっていることは引き継ぎやっていく 今のままですごくいいっている。悩みもない。 もっと花壇を作ればいいかも |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが大勢いる(小学生51人、中学生12人、来年入園児12人) 新しく家を建てた若い人が多い(建築屋が分譲する人を呼んでいる) 育成会の役員体制を見直した。お神輿を買った。 9年間同じ学校に通う いじめはないと思う | <ul style="list-style-type: none"> どこの家の子どもかかわからない 下手に声をかけると不審者と思われる、挨拶が難しい 通学路に交通量が多い | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの行事(運動会、区民運動会) 運動会で交流している 育成会(はんごうすいさん、まんど、きもだめし、花火大会) まんど作りは元氣会が教えている 夏休みラジオ体操(旧公民館) 子ども神輿、お祭り、4月に例祭 ひまわり隊が登下校の見守りを行う(PTA、一般の希望者、安協による) | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 出そうな人に声をかける。 来ない人はどうしたらいいか、男性は来ない。 脳イキキ出前講座は引き継ぎやっていく |
| 近所きあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 新しい家も区に入ってもらい、なじんでいる お茶のみに歩く暇がない、年よりも忙しい 運動会でみんなが交流できる場になっている 65歳以上はマレットゴルフ(西美輪マレットクラブ) | <ul style="list-style-type: none"> 区に入らない人もいる。そういう家は区の行事に出ずらいと思うが…(子どもは来ている) | | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> 長生きしたいと思う 昔から働き者 畑をしていることが大切、働くように 年よりの仕事を取り上げないようにしていく |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 人間がまじめ | <ul style="list-style-type: none"> 災害時、危険箇所がある | <ul style="list-style-type: none"> 病院は高原先生のところへ行く人が多い | <p>行政・市社協として</p> |

吹上 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 8月8日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|--|---|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者が多い 認知症の人はいないように思う(歩いてどこかへ行ってしまっそうな人はいない) マレットクラブは皆さん良く出てくる(月2回) | <ul style="list-style-type: none"> 新しく地区に入ってきたかたもいるが、どうお付き合いしたら良いか悩む。先方から来てくれる分には良いが、あまり踏み込みすぎではいけないと遠慮してしまう。 役をしていると、新しい方にも声をかける機会がある。 脳いきいき教室、脳イキキ出前講座は声をかけても出てこない方もいる。自分ではまだ若いと思っている。 脳イキキ出前講座で誕生会をやっていたが今年も行っていない。草餅や五平餅などできるといいと思うができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 脳イキキ出前講座 敬老会 保育園児との交流 福祉入浴(サロン) | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 何か一緒にできることがあると良い。新年会も色々な方が出てこられると良い 昔行っていた地域のイベント(収穫祭、運動会など)ができるとう良い 外で行えること、山野草を育てて販売 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 中学生との花壇づくり、草取り。一緒に話ができ、交流できてよかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない 下手に声かけできない。挨拶をしない。何かあった時に困る。 隣の隣の子がわからない。 顔と名前が一致しない。 若奥様もわからない。 | <ul style="list-style-type: none"> 8月 お盆行事(まんどづくり、ふりまん) 7月 はんごうすいさん 12月 クリスマス会? 1月 どんど焼き 昔は収穫祭をしていた 敬老会で出し物をしてくれる | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として 脳イキキ出前講座で草餅会、五平餅会など季節のできると良い |
| 近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 新年会に全戸が集まる ナイターソフトをしている。スポーツを通じての仲間がいる。マレットゴルフなど。 | <ul style="list-style-type: none"> 若い人と高齢者交流が少ない どこの人かわからない 仕事をしており、定時の仕事ではないため、地区で集まるときが難しい。(自営もしながら役員を務めている) | <ul style="list-style-type: none"> 有志で茶話会を企画、年齢を問わず女性が集まる会を行っていた。 詩吟 囲碁をやりたいと来た子がいた。とても強かった。 そば 書道 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として マレットゴルフを月2回、地区クラブとして20人くらい集まって行っている。助成金はないか。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 山つきで静か | <ul style="list-style-type: none"> 災害時に避難場所となっている集会センターが耐震構造となっていない。 山が崩れるといわれた(持ち山) | | |

羽広 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 8月 8日作成)

| 高齢者のこと | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---|--|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・趣味のクラブ活動をやっている(親睦) ・そば会、マレット、バー会など、半分以上の組がやっている。 ・みんな元気な元気で農作業などに取り組んでいる | <ul style="list-style-type: none"> ・どきまで声を掛けたら良いが難しい、羽広全体に声をかけていきたいが…(区報などで) ・気の合った人とだけやりたいという声がある ・高齢者クラブを立ち上げたいが、話し合いも持たれない ・一人住まいの方がいる ・高齢者のみの世帯がある ・住所があっても住んでいない方がいる(逆もある) ・どこにいるのか?よくわからない。施設へ入っているとわからない。 →災害時に困る →新しい人もいて、隣近所がわからない組がある ・男性の一人住まいが心配、民生委員のかかわりも拒否 ・今の時代に合っていない、話ができな人もいる ・免許を返納し、買い物に難しい人がいる →返しても大丈夫なくみづくりを ・雪かき、庭の手入れができていない ・人数が少ない(小学生30数名) ・みんな出ている →なぜなのか?原因は ・結婚していない人が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい人や出てこない高齢者もいて、どこにいるのか住んでいるのかわからない ・組をまたぐと情報が把握できない ・堤、ため池が多い。決壊したら…と思うと怖い↓ ・区内の川の決壊が気がかり→すぐそばに家がある ・まだどこに逃げるのか決まっていない人がいる。羽広公民館が避難場所にならない ・避難指示・避難警報が聞こえない人がいる ・障害がある人の避難(車イスを乗せられる車もない) ・ゆいづぎの情報伝達がなくなってきた | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの獅子舞、振りまんどを伝えていっている | <p>今後必要な事</p> <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区報として趣味の会のPRをする ・危険場所のマップを作る(市の洪水も入れて) ・避難場所の再確認・見直し ・どういう障害がある人が、どこに住んでいるのかマップを見直す →隣近所が知っているが、個人情報なので <p>地域社協として</p> <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣近所で声を掛け合ってお願する →「やってやる」と言ってくれる人とのバ イブ役が必要 ・雪かきしながら隣組で様子を見よう ・隣近所の付き合いを進め、どうい う人が住んでいるのか知ってもらう |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・元気がよい ・挨拶はしっかりしている ・悪い事をする子どももいない ・色々な活動に参加してくれる | | | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許を返納しても足が確保できるような仕組みづくりを →西春近のような輸送のサービスを活性化させる ・堤や区内の川が豪雨で決壊しそうなところがあるので、決壊の心配のない作りしてほしい ・避難場所を工業団地等に確保する |
| 災害・防災のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・組ごとに集まりを持っている →災害・防災に役立っている | | | |

上戸 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 8月8日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|---|---|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 脳イキイキ出前講座の出席者が多い、役員さんが熱心 脳イキイキ出前講座の内容が良い。公民館長さんが一生懸命である。会長さんがみんなをよくまとめている。 次回の予定を回覧で知らせている | <ul style="list-style-type: none"> 男性参加者が少ない 足が痛い等で出席できない方がいる。送迎は役員では無理 | <ul style="list-style-type: none"> 地区の花の道づくり (花壇) ひまわり園 敬老会 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として 区に入ることを勧める |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 子ども全員の家と名前がわかる 毎朝登校時、地域の方が通学路の見守りをしている 子ども神輿をやっているが、盛り上がる 大文字も区民総出で行う 公民館分館のラジオ体操の実施 社協の園児交流 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない 子どもがあまり外にいない(スポーツ少年団に行っている) | <ul style="list-style-type: none"> 花壇づくり ひまわり園 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として それぞれの個人として |
| ご近所のこと | <ul style="list-style-type: none"> 公民館分館のラジオ体操の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 入区しない方がいる。孤立している高齢者が心配 防災登録しない家がある | | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として |

中条 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成 30年 8月 8日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------------|--|--|---|---|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代と同居で暮らしている、独居は少ない(独居は1人と組に入っていない1人だけ) ・寝たきりの人は2人しかいない。動ける人が多く、比較的元気である ・女性が元気 ・ギターを作る音楽の得意なおオヤさんがいる | <ul style="list-style-type: none"> ・脳イキイキ出前講座に男性の参加が少ない(区の総会などには男性も来る) | <ul style="list-style-type: none"> ・脳イキイキ出前講座 ・菊の会 ・つながるう会 ・あみもの ・お元気会 ・天狗の会 ・任意のグループが5つくらいある ・敬老会 ・花祭り ・花づくり | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・役員の任期が次の役員から4月交代になるので、規約を変更する ・災害の時に備えて情報整理 ・連絡網の練習(役員交代時にやってみる) |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> ・よく子どもが集まっている ・バス停の掃除をしている ・子どもが増えてきている | <ul style="list-style-type: none"> ・どこの子ともかわからない | <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の掃除 ・子ども会への助成 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として ・負担が多くなって… |
| ご近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ご近所のつながりが減っているが全くなくなったわけではない ・組によって忘年会などの集まりがある(区の組、祝殿、おこうしん仲間、草刈り、人足の仲間) ・人足の出席率が高い ・比較的となり近所の顔を知っている ・おおむねご近所のことを把握している | <ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べれば希薄になってきている(結がなくなったり隣近所の人に来てお茶を飲むようなことがなくなったり) ・ご近所のお年寄りがどういいう状況か見えにくくなっている ・昔から住んでいる世帯と新しく入った世帯の交流が少ない(何かしらのつながりはある、釣りなど) ・若い人がわからない、会うチャンスがない ・個人情報保護がネックになっている ・組長でも組の人全員はわからない →災害の時に心配 ・アパートとのかかわりがない ・区に入っていない人の情報がつかみにくい ・協力費や衛生自治費払わないがゴミを出す人の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・区の組、祝殿、おこうしん、草刈り、人足 ・区民協で演芸を行う(組単位) →1週間前くらいから何回も練習するので顔を知える ・組によって忘年会、新年会を行っている ・中条区連絡名簿 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として |

与地 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 8月 8日作成)

| 今後必要な事 | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 良いところ (プラスのイメージ) | 全体・ご近所つきあい |
|--|--|---|---|-------------------|
| <p>区・町内会として</p> | <p>1月 獅子舞 3月 お彼岸、区の集い 5月 与地のお祭り 6月 運動会 7月 祇園祭 8月 万灯づくりと振り万灯 9月 敬老会 11月 お祭り(感謝祭) 12月 役員改選 ・雪かき(道路)</p> | <p>・農振除外しないと新しい家が建てられない →若い人が家を建てない→子どもが増えない ・バス 通り町まで40分560円くらい。団地や養護学校で乗るがそれ以外は乗らない</p> | <p>・見晴らしが良い ・人によってはご近所つきあいをしている ・人間関係ができて、野菜を分けたり</p> | <p>全体・ご近所つきあい</p> |
| <p>地域社協として ・脳イキイキ出前講座の参加者を増やすために声掛け(特に男性)</p> | <p>・高齢者クラブで公民館・お宮のお掃除、草刈り、お彼岸、花づくり(子どもの交流)、新年会、日帰り旅行 ・脳イキイキ出前講座 ・福祉入浴 ・生協の健康チェック(3、4人行っている)+体操 →公民館じゃなくて、細かい範囲で回れば…(3、4人の組を作って?)</p> | <p>・出てこれない人は、長い間履いていられない等、理由があるようだ ・おのりななを利用している人は今はいない(昨年まではいた)。今後、通院や買い物に困る人は出てくる</p> | <p>・脳イキイキ出前講座は前に比べて出てきてくれる、男性も参加している ・元気な老人が多い ・高齢者クラブがある(市に加入していないが)</p> | <p>高齢者のこと</p> |
| <p>それぞれの個人として</p> | | <p>・子どもが少ない ・わからない子どもがいる ・子どもが増えてほしい、学年によっては0人の年もある ・1人で歩いている子どもが心配だが、声をかけてはいいないと感じている(不審者だと思われるので)</p> | <p>・小学生13人 ・中学生5人 ・近所の子どもはわかる ・子どもがいれば挨拶をするようにしている</p> | <p>子どものこと</p> |
| <p>行政・市社協として ・農振を外してほしい(空き家が増え、子どもが増えない) ・おのりな号について、西箕輪全体で自車で対応できるようにしてほしい</p> | | | | |

大萱 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成 30年 8月 8日作成)

| | | | | |
|---------|---|---|--|--|
| 高齢者のこと | <p>良いところ (プラスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元氣な高齢者は多い 昔は脳イキイキもたくさんの方が来ていた | <p>気がかりなところ (マイナスのイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元氣だが脳イキイキ出前講座にはなかなか来てくれない人があれば来てくれるのか？ 考えなければ、役員の方が多くなってしまふ。 一人暮らしでこもりがちな高齢者は、なかなか行事にも出てきてくれない <ul style="list-style-type: none"> →誘うことが良いことか？ →民生委員の担当人口も多いので、知らない人も多く声をかけにくい 組の社協役員ともつながりがない 脳イキイキへの足がない人が多い <ul style="list-style-type: none"> →送迎ができればまだ… →バス等で一斉に送迎ができないか →個人で送迎は事故が怖い 高齢者クラブの人数もそれなりにいるが、活動できる人が少ない 脳イキイキに出ない人は何を思っているのか？ 男性や次の世代の出席がない 本当に出てきてほしい人が出てこない 動ける高齢者自体も減った | <p>取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者クラブ 脳イキイキ出前講座 | <p>今後必要な事</p> <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までつなげられる行事をつくり、少しでも人を集める 行事に来た人たちに、地域行事で何をしたいかアンケートを取る <ul style="list-style-type: none"> →サロンや会などで 地域の行事など取り組みについて住民に知らせる <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> サロンの回数を増やす |
| 地区行事のこと | <ul style="list-style-type: none"> 地区の行事に人が出てきてくれることで、それがきっかけで伝統が継承され、ご近所づきあいもできる ふれあい祭りを行った。保育園の子どもが出れば、親や祖父母が必ず見に来る。雨だったのが予定通りの参加者があった。そんな形で巻き込んでやれば、 <ul style="list-style-type: none"> →いくつもある行事のうち、どれかに出てきてくれるれば、トータルとして出てくる人は増える。 毎年8月16日に行う「まんど振り」はすごい。多くの人が楽しみに来てくれる。 脳イキイキ出前講座の発祥の地である 組でのサロンもいくつもある 大萱全体でやる福祉ふれあいの集いは多くの人が出てくれる | <ul style="list-style-type: none"> ソフトボール大会は参加者が少なく、組対抗戦にできない 脳イキイキ出前講座の内容のマンネリ化が感じられる。 <ul style="list-style-type: none"> →同じ内容でやる方が良い場合もある →参加者が何をともめているかだと思う | <ul style="list-style-type: none"> ふれあいまつり まんど振り | <p>それぞれの個人として</p> <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しく市に入る人に対して、区に入ってもらよう指導を進めてほしい 移動のためのバスや送迎のシステムがほしい |

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) |
|-----------|---|---|--|
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちも増えている、増えすぎて困るくらい →子どもたちの行事を行えば、家族が一緒に来る 区に入っていないなくても区の行事に子どもは来てもいい | <ul style="list-style-type: none"> 外で遊んでいる子どもを見かけない 縦のつながりがない、子ども同士もつながりがない 子どもが外で遊ばない →どこに子どもがいるのかわからない | |
| マップについて | <ul style="list-style-type: none"> 作成・更新している →マップを通してつながりができれば | <ul style="list-style-type: none"> 何かあった時に助けてほしいと手をあげる人が多すぎた | |
| 近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> いくつかの趣味のグループはある 毎月くらい常会をすところもある。昔は多かつたし、飲み会も多かった | <ul style="list-style-type: none"> 田舎のようなお付き合いの感じはない 意識してご近所づきあいをしていないと、今後が心配 →時代や状況にあった付き合い方を考えていかなければ、今は色々な付き合い方がある。 自分たちが年を取ったときに、お茶のみの集まりで良いのか？ →趣味の集まりが良い 昔はゲートボール、マレットクラブがあった →また作ってみてはどうか？ 近所での集まりだと逆にいやだと思いう人もいる。よその地区の人と関わりたいと思う人もいるし、昔とは違うよそで参加している趣味のグループに通えなくなったら？地域でつながりを広げていけるか？ 常会の集まりをやっていないところもあり、近所で顔を合わせる機会が減っている。行事は大切 ↓ 機会を増やせたら 隣のこともわからない 組に入っていない人がほとんど →入ると役が回って来るから →役員の手が減る、好んで役をやる人はいらない →組に入ることによるプラスのイメージをつくれ ないか 子ども世代が西美輪の中で別の地域に住んだりと、西美輪の中でも核家族化している ゴミ捨ての協力費すら払わない人もいる | <ul style="list-style-type: none"> 趣味のサークルがいくつがある |

大萱市住・県住 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成 30年 8月 8日作成)

| 地域について | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|---|--|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー、バス停、病院、理容などが近い →立地がとても良い →高齢者が住みやすい場所である ・団地の建て替えが近い | <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が複雑である(〇〇さんがくるなら行かない…) ・色々なところから来ている人たちがいるのでまとまりがつかない(多民族?) ・勝っても行事に出てこない、興味が無い ・一人暮らし高齢者が多い ・子どもがいない(市・県とも数人しかいない) | <ul style="list-style-type: none"> ・「寄り合いにいくだけ」(月に1回集まってお茶を飲む会)を開催。マレット、絵画など。休日に開催をしてみたり工夫をしている ・以前は子どもを対象として、夏祭りやどんど焼きをやっていたが、参加者が少なくなりできなくなかった | <p>区・町内会として</p> |
| | | | | <p>地域社協として</p> |
| | | | | <p>それぞれの個人として</p> |
| | | | | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味のサークル、クラブ活動 ・送迎がネックになるか? |

小出二区 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成30年10月21日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|------|---|---|---|---|
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> 元気な方が多い (農業等の体を動かして元気) 敬老会に多く参加する 社協の入浴会に積極的に参加する 高齢者の方でも働いている方が多い | <p>【現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話をする相手がいらない 雪かきが大変になる 買い物が不便 一人暮らしの高齢者が増加している 高齢者世代の中でも、80代であれば、70代の方というように次世代が減りつつあるため、上の世代を支えることが難しい 昼間は高齢者のみ世帯が多くなり、いざという時に不安 高齢者の出不精をどうしようか <p>【将来】</p> <ul style="list-style-type: none"> いずれ一人暮らしになった時 親が倒れた時 車の免許を返納した時の生活が困る | <ul style="list-style-type: none"> 入浴交流会 (年3回) 敬老会 見守り隊 | <p>区・地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳トレ体操教室の開催 家庭訪問 飲み会 (交流会) を増やす 横のつながりの機会を増やす 全世代が参加できる機会を増やす 避難所を明確にし、住民に周知 マップ作成を行う 防災講座、福祉懇談会の開催 災害時マップ支援者の更新 |
| 子ども | <ul style="list-style-type: none"> 太鼓の活動が盛んである 挨拶がある | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの人数が少なくなってきた 若い世代が少ないため、帰ってきてくれないと将来が不安 H31年から小学生の人数が減る | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの見守り | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪かきの応援 買い物ボランティア 子どもの見守り 独身者の結婚応援 子育て世代の応援 防災マップづくりの協力 人とのつながりを作る 防災の組織づくりの協力 避難所の確保についての協力を 交流行事に積極的に参加する |
| 地区全体 | <ul style="list-style-type: none"> 地区内で情報共有が盛んである 景色が良い (花火が良く見える) 空気が良い ご近所同士の少人数はまとまりがある 災害が少なく、大きな災害はなかった 常会によっては、全世帯で農業を 行っているので、いざという時に食 べ物は確保できそう 高齢者についての情報がある程度 わかっている | <ul style="list-style-type: none"> 犬の放し飼いがあり、怖い 地区人口の減少 一人暮らしが増えてきている 役員のなり手が少ない 代わりをどうしよう 行事をしても参加率が低い 確実に安全な避難場所の確保が難しい 小出二区の公民館に来れる人が限られてきている (使用会場として2階が多いため階段が多く、特に高齢者は上がれない) 楽しいと思える地域行事が少なくなってきた <p>【災害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 断層が走っていて災害時、不安 土砂崩れが心配 どこに避難すれば良いかわからない | <ul style="list-style-type: none"> H18年の災害時は自分達で重機 を用意し対応できていたため、また 災害が起きれば必要に応じて行いた いが、10年後は対応できるかわから ない 環境整備の作業 (年3回) 防災講座、福祉懇談会 (年1回) | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災情報の提供、災害マップ作り のサポート 地域活動、福祉情報の提供 研修会、学習会開催時の協力 |

赤木区 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年11月25日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------------------|--|---|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 各世代を超えた交流が行われている | <ul style="list-style-type: none"> 交流(行事)に参加する顔ぶれが固定気味である | <ul style="list-style-type: none"> ふれあい農園 お楽しみ会 | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> 社協協力が活動をしやすい環境を整える。 |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者対象の各行事が行われている | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協の協力員への負担が年々多くなりつつある | <ul style="list-style-type: none"> 温泉お楽しみ交流会 七夕まつり交流会 | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 市社協と連携をとりながらまず「社協」とは何かを確認する |
| 近所付き合いのこと(地区全体のこと) | <ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる行事が行われている | <ul style="list-style-type: none"> 段取りや講師をしてくださっている方々が高齢者になり、行事の存続が危ぶまれている | <ul style="list-style-type: none"> 七夕まつりの交流会 しめ飾り作り講習会 | <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の各行事に参加することで、福祉の情報を分かち合う |

諸町地域社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート (平成30年6月17日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-------|--|---|---|--|
| 住民のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりが良く、話し合いが自由に行われている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いため、将来が心配である。 ・小学生以下がいないため、活気が無くなっている。 ・高齢化により、体が不自由の人が多くなっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内全員に呼びかけ、日帰り旅行、マレットゴルフ、新年会が行われている。 ・婦人部による、いきいきサロンが実施されている。 ・六日会（男性有志）による、いきいきサロンが実施されている。 ・各組による、いきいきサロンが実施されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として ・他地区との連携を考えていく。 |
| 地域のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの行事が計画的に実施されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内に商店がなく、買い物弱者が多くなっている。 ・高齢化などによって、自主防災組織が機能しにくくなっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・購売車が週1回来てくれるようになった。 ・他地区との協議を始めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として ・様々な有志による、いきいきサロンで懇親を深める。 |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として ・お互いに声を掛け合う。 |
| | | | | 行政・市社協として |

新町地域社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年 10月 13日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|---|---|---|---|
| 地域の事 | <ul style="list-style-type: none"> 総合支所が近くにあり、かかりつけ医とし緊急時でも安心していられる。 銀行や公共交通機関が近くにあり、便利である。 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化や後継者が無く、商店が無くなっている。 高齢者が多く、近い将来は子供と同居などで空き家が多くなる可能性がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 様々なことに関心を持ち、お互いに意識を高めていく活動。 常日頃から情報交換をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会として いろいろな会や行事に参加して、状況を把握する。 |
| 町内・近所 | <ul style="list-style-type: none"> 町内としてまとまりがある。 雪かき、冠婚葬祭などでの協力体制ができている | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の協力体制がどうできるか不安である。 町内みんなが集まる機会が減ってきている。 高遠離子、子供みこしの存続。 | <ul style="list-style-type: none"> 井戸端会議を積極的にする。 近所同士で声を掛け合う。 健康の維持や災害時の備えに取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社協として 弱者への援助。 |
| 各種グループ | <ul style="list-style-type: none"> 女性・男性のグループや会があり、定期的に集まっている。 他の趣味の会などに参加している。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動に人が集まらなくなっている。 高齢化で将来的に会の存続が難しくなる。 | <ul style="list-style-type: none"> 一人でも多く会に参加してもらおうようにする。 集まり易い活動にする。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として お互いに気づきあいや助け合いをする。 |

旭町地域福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年10月14日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|--|---|---|---|
| 環境 | 環境が良い 町内が美しい 温泉が近くにある 商店が近い 役場、郵便局、図書館、集会場が近い 日当たりがいい 災害が少ない、災害を受けにくい土地 風雪雨が少ない | 空き家、廃屋が多い 道が狭い 救急車、消防車が通りづらい 坂道がつらい 交通の便が良くない 近くに食品の店がない | 区・町内会として 空き家の管理を子供にもしてもらいたい 親世代から子世代へのつながりを ・お祭り | 地域社協として おしやべりや運動の場を継続する 親世代から子世代へのつながり ・にじいろサロン |
| 人・人とのつながり | あいさつを皆する 近所を気遣う 思いやり 助け合い 一人一人が親切 人柄が良い 皆優しい 明るい まとまりがある 仲が良い 足並みがそろっている 話しやすい 気軽に話ができる 話を聞いられる ほとんどの家庭の事情が分かる 皆が顔見知り | 子どもが少なく、転入者も来ない 人口が減っていく 若い人が少ない。 | 地域社協主催の行事 月1回 にじいろサロン 天神様 声を掛け合っている | それぞれの個人として いまいきサポーターなど地域の人が元気で いられるように地域に覚えたことを広げる |
| | | | | 行政・市協として 空き地や空き家の石垣が崩れてきている それぞれの地区での対応であるが、なかなか 地域でも難しい 道が狭い…どうにかしてほしい |

御堂垣外 社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 9 月 28 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|--|--|---|--|
| おつきあいの事 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区外から若い人が移住してくれる。 ・隣近所の付き合いが良好である。 ・移住してきた人と、上手に付き合い合っていて他地区からも羨められる。 ・いざという時の助け合いができています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家にどんな人が来るか不安の面がある。 ・独居等で近所の人とあまり接触がない人など、地域に溶け込んでほしいと思う。 ・挨拶程度の付き合いで過ぎている。 ・屋間仕事に出てしまうと、地区内で何が起きてもわからない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近所の方と良いおつきあいをし、お互いに手伝いができている関係でいたい。 | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民で河川清掃の他にも住環境整備をやったかどうかと思う。 ・戸数減のため、色々な面で経費削減や役員の見直しが必要。 ・男女一緒に活動をする。 ・隣近所の助け合いの強化を図る。 |
| 住環境の事 | <ul style="list-style-type: none"> ・景色が良く、気持ちが悪く着く所である。 ・生協の個別配達があり便利である。 ・車を使えば、首都圏に出るのに便利である。 ・住みやすいところだと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・商店が無く、買い物に不便がある。 ・猿・鹿等野生動物の被害が多く、作物が作れない ・荒れ地が多くなっている。 ・太陽光パネルの設置計画があり、自然破壊や山村風景がなくなる不安がある。 ・車の運転ができなくなると、買い物、通院に困り、住みづらい地域になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地事業で田んぼ・水路・農道の維持をしている。 ・害獣防護柵を当番制で点検・見回りをし、維持管理を行っている。 ・当番制で管理している水路でも、トラブルがあれば気が付いた人が改善を図っている。 | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買い物サロン」等、ふれあいの場づくりの継続。 <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできることを探して、地域に貢献したい。 ・一人暮らし高齢者の手助けをする。 |
| 住民の事 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事を若い人が先に立ってやってくれる。 ・フラメンコのグループがあり、評判が良い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区外から若い人が来てくれうれしいけど、仕事が無くて大変だと思う。 ・子供たちが野山を駆け回っているとは言えない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かし、日常生活が楽しくできるようにしている。 ・町内親睦旅行は高齢者に配慮して計画している。 | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所など具体的周知が必要 ・災害対策に取り組んでほしい。 ・空き家対策に取り組んでほしい。 |

上山田地域社協 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成30年 9月 6日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|--|---|---|---|
| おつきあいの事 | <ul style="list-style-type: none"> ・常会の戸数が少ないので、支えあいができている。 ・野菜やくだものを融通し合い、隣近所の付き合いが良い。 ・マレット・ソフトボール大会があり、親睦を深め参加率も高い。 ・独り暮らしの高齢者に声掛けをし、助け合いの精神が見られる。 ・組の結束が強く、仲が良い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お茶会などの交流の場が少なくなかった。 ・戸数が減っており、おみこしの担ぎ手がいなくなるのではないかと。 ・地区単位の旅行があったが、時代に合わない中止になった。 ・仕事と役員の両立が難しい。 ・ボランティア、若い人との交流などの関わり方が難しい。 ・今後、継続が難しくなる行事や活動が出てくる。 ・集まりに参加しない人、できない人がいる。 ・戸締りがしっかりしていて、声を掛けづらい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新年会・数珠回し・収穫祭・祇園祭がある。 ・代参は地域内交流に大きな役割を果たしている。 ・草刈り・雪かき・行事等常会長の取りまとめで動いている。 ・買い物ボランティアをしている人がいる。 ・Iターン世帯も役員をし、行事にも参加している。 ・毎月の常会と集金日に話し合いができる。 ・いざという時の連絡先を交換している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・区・町内会として ・気楽に集える場を作る。(集荷場の屋根下かどうか) ・助け合いの心を前面に出せるような関係作りの推進。 ・高齢者世帯の雪かき。 ・要支援者への安否確認(支え合いマップ作り) ・代参を無理のない形で続けたい。 ・送迎サービスをしてほしい。 ・非常時の通報体制の確立。 ・役を減らし、手当てを増やす。 |
| 子どもの事 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供の声や遊ぶ姿に活気を感じる。 ・登下校時に地域の方が声掛けをしてくれる。 ・小中学生のあいさつができる。 ・地域の方が自分の子供や孫のように接してくれる。 ・子供を屋号で呼び、どこかの家の子かわかる。 ・行事(数珠回し)に参加している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供が少ない。(若い人が実家に帰って来ない) ・子供が集まるときは、車で送迎しなければならぬ。 ・行事の負担が増えている。 ・通学路が遠距離で、人家のないところがある。 ・遊び場が少ない。 ・子供から大人に声を掛けるきっかけがない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「お日待ち」の行事に子育て世代も見学に来る。 ・子供を地域のみんなで見守っている。 ・花火大会をやっている。 ・獅子舞・天神様の行事がある。 ・子供の遊び場の草刈りをしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域社協として ・車での送迎、お助け隊を組織する。 ・H28のアンケートを基に区民の要望を知る。 ・支え合いマップ作り。 ・子供たちが大人になった時、思い出として残る行事作り。 ・そば打ち、将棋、囲碁の会を開催。 ・それぞれの個人として ・行事、集いに参加する。 ・Uターンの勧め。 ・体力作りに心がける。 |
| 高齢者の事 | <ul style="list-style-type: none"> ・「金井長生会」「衆々会」などで、親睦、安否確認を行っている。 ・農作業で自分の健康維持に努めている。 ・周囲の人とつながりがあり、助け合いが見られる。 ・頼れる人が多い。 ・行事への参加者が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・農作業の事故が心配。 ・ゴミの分別、ゴミ出しが不自由である。 ・庭木の手入れ、雪かきがままならぬ。 ・独居世帯など緊急時の対応が心配。 ・農業の後継者がいないので、年を取っても無理をして働いている。 ・免許証返納後の足の確保が不安。(買い物・通院) ・公民館への避難は足の悪い人は難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パター・講演会・親睦会を行っている。 ・伝統行事を次世代に伝えていく。 ・おたつしや・脳いき教室を行っている。 ・体の不自由な方への雪かきボラをしている。 ・買い物などの送迎ボラをしている人がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行政・市協として ・求めに応じた交通手段の確保。 ・企業の焼却炉使用規制の指導。 ・防犯カメラの設置。 ・若者の定住施策。 ・「住みよい地域作り」に上げた項目の予算化。 |

| | | | |
|-------|---|--|--|
| 住環境の事 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が豊かで、人情が厚く、助け合いの精神が働いている。 ・災害が少ない。 ・空き家が少なくない。 ・草刈りが良くできている。 ・転入者も仲間として、見守っていく姿勢がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に公共交通機関が無く、免許証返納後の足が無い。 ・山の管理ができていない。 ・近くに商店が無い。 ・休耕作地に除草剤が多く使われている。 ・道路に草や枝が伸び、通行の妨げになっている。 ・野焼きをすすめる人がいる。 ・企業で古い焼却炉を使用しており、においがある ・ゴミの不法投棄がある。 ・新しい焼却炉の稼働により、問題が出るのではな いかと心配。 ・今までに起こらなかった災害があつたら心配。 | <ul style="list-style-type: none"> ・車を出し合って、助け合うことがある。 ・定期的に環境整備（ゴミ拾い・井ざらい・草刈り）をしている。 ・集会所の花壇整備をしている。 ・常会役員で除雪をしている。 |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・農機具の盗難。 ・地域、学校の役が多い地域である。 ・避難場所（公民館）の備品の整備（エアコン・発電機・非常食・燃料など）の必要がある。3 ・市の広報を見てもわからない。 | |

長谷暮らし座談会パート5 話し合いまとめ



| 長谷で暮らしていて良いところ | 気がかりなこと | できていること・やっていること |
|---|--|--|
| <p>1 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 近所づきあいが良い 婦人の集まりがある あいさつを良くする 近所の人声が声をかけてくれる 自然が豊か 犯罪が無い 街灯が多い 医療機関が近くにある</p> | <p>1 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 店が無い、買物不便 職場が遠い 空家が多い 役が多い 老人が一人になる 若者がいない 人口減 少子高齢化 区の作業の担い手が高齢者 雪かき 草刈り 農作業 猿や猪が多い</p> | <p>1 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 溝口で買い物支援をしている 溝口南郷は市から委託を受けて除雪 溝口では空家で使える家を貸すようにしている とくし丸が来てくれる</p> |
| <p>2 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 近所の付き合いが良い 助け合える人がいる 人柄がやさしい、良い 小さな会がたくさんある 自然が豊か 観光面で良いところがある 野菜が新鮮 ゴミなどが整理できている</p> | <p>2 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 子ども、若い人が少ない 人口減 一人暮らしのお年寄りが多い 車が無ければ買い物に行けない 空家が増えてきて不安 手近な娯楽が無い</p> | <p>2 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 買い物ボランティア 移動販売車 空家が大きすぎ、家の周りが草だらけと いった問題も溝口では未来プロジェクトで 解消できている</p> |
| <p>3 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 知ってくれている人が多い 人情深い 近所の人助けしてくれる おすそ分けの気持ちは豊か 自然が身近で気持ち良い 老人が元気</p> | <p>3 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 若者が少ない 子供が少ない 仕事が無い 空家が多い 農業の跡取りが少ない 自身の老後 家族の健康 年金が少ない 野生動物が増えすぎ 災害が心配 バスの本数</p> | <p>3 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> けもの対策で電棚をしている 若者が農業をやりに来て地域に住む活動がある</p> |
| <p>4 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 多くの人と顔見知り 和気あいあいで良い 人と人がつながっている 自然が豊か 静かで良い のんびり1日かすざる 公共施設が近くにある</p> | <p>4 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u> 老人が多い 子供が少ない 区の役が多い 動物の農被書が多発 車が無いと生活できない お店が遠い 空家が多い 夜暗い</p> | <p>4 <u>ぐる</u>-<u>ぶ</u></p> |



平成30年9月18日

2ぐるーい

移動販売車が来た時のおしゃべりを楽しみにしている人が多いので、おしゃべり、お茶会が他にもできるといい

若い県外者の定住促進、働く場所、住宅確保

家の前まで来てくれる小回りの良い送迎

公共交通機関の利用者を増やして、便を増やしたい

狩猟免許を取る

送迎ボランティアであしをかバー

戸草ダムを造る

自分たちも今後が心配なのに若者が来てくれるか？
まずは自分たちが住みやすい地域になればよい

来た人たちも地区に馴染んでくれると嬉しい（作業に出たり、区費を払ったり）

地区での受け入れ状況も大切
中尾は良いけど他に居にくい

3ぐるーい

保育料、医療費軽減策を取る

伊住（伊那の中での移住）をすすめる

Iターン・Uターン

子ども達を守る仕組み

動物の被害に対して補助を出してほしい

空き家が多いので全面的なバックアップ

4ぐるーい

1ぐるーい

見て買う楽しみ

買い物ツアー

市の補助で除雪機を買う
ただ、10年後使える人がいるか心配

市外へ抜ける道

高齢者消防団とか、女性

長谷に住むと市税免税

長谷の観光資源をうまくPRする

あったらいいな

非持山地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 29 年 3 月 9 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|---|--|--------------------------------|--|
| 生活環境のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒廃農地が少なくない ・ 田んぼが作れないところは、近所で助けあっている ・ 玄立寺の桜は地域の「宝」になっている ・ サル対策のための樹木伐採など協力できないかと、女性から意見がでる | <ul style="list-style-type: none"> ・ サルが作物を荒らして困る | | <p>区・町内会・地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の良いところを、もっと具体的に出してPRしていきたい ・ 女性の力も借りていきたい ・ 家にいる女性や高齢者が消火栓を使えるような体制づくり ・ 初期避難の仕方などを共有する必要がある ・ 防災マップと支援マップを組み合わせて作りたい ・ 除雪の助け合いについて考えていきたい |
| 防災のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく消防団に入団してくれようとする人がいる ・ 防災マップができていない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者が少なく、昼間の防災に不安がある ・ 災害時の係分担名簿が配布されているが、災害時に何をすればいいのかわからない ・ 災害時に要援護者を誰が助けるのかが決まっていない | | <p>それぞれの個人として</p> |
| 助け合いのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の役が長くよりそうな世代の方に負担がかかからないように考えている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が多いのは変わらない ・ 「〇〇さんが入院した」「施設入所した」などの話ばかり聞き、地域内が寂しくなった ・ 坂道が多く、除雪ができていないと上ってこられない ・ 雪かきができない高齢者が増えている。5 年先、どうなっているのか心配 ・ 除雪機を購入しても使える人がいるのか心配 | | <p>行政・市社協として</p> |

非持地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 11 月 日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|---------|--|---|--|--|
| 生活環境のこと | <ul style="list-style-type: none"> サンハート美和、美和診療所、気の里ヘルスセンター「橋の木」など福祉施設がある 美和ダム、ダム湖の観光施設がある 新盆、葬儀など生活改善が定着してきている 道の駅が整備されて、駐車場が広くなった（観光バスの利用） | <ul style="list-style-type: none"> 南アルプス村が整備されたが、県外者やレジャー客が増えて交通事故等が心配になる マナー違反や交通量の増大 自宅を持っている世代が高齢化し、若い世代は外に家を建て、空き家状態の家が増えていく | <ul style="list-style-type: none"> ヨモギ採り、敬老会、サンハート祭などで世代間の交流を大事にしている 盆行事（社協と公民館共催）で地域の住民が楽しみにしている。また、夏休み帰省した子どもたちも交流の場となっている | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> お互い様の精神で一人暮らしの高齢者への支援を行う（草刈り、雪かき、買い物支援、病院等への送迎） 警察館を気軽に集まれる場として活用できるようにしたい |
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者（一人暮らし）の買い物に「とくし丸」銭屋さんが対応してくれてありがたい 南非特（サロン事業）が定着してきている（まちな縁側になっている） 自主的な体操グループが発足し、他地区からも入会者がいて健康増進に役立っている 道の駅前の食事処（すずな）で交流する機会が増えている | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が多くなり、車の運転やゴミだし（一人暮らし）が心配である 特に中非持の高齢者の交流が少なく心配である 日中高齢者のみの家が多いので緊急時の対応が不安である | <ul style="list-style-type: none"> 「まちな縁側」として「笑楽会」を立ち上げて高齢者の交流の場として活動している（月 1 回） | <p>地域社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> サロン事業や住民の交流の場、会話のできる場を設ける 福祉入浴、交流会を計画する 地域を見直す機会を取り、地域の良さを再認識できるようにする 世代を越えて交流ができるような機会をつくる <p>それぞれの個人として</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康体操や歩け歩け運動を積極的にすすめる |
| | | | | <p>行政・市社協として</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが地元で活躍できる企業誘致をお願いする 地域の良さを再認識できる学習会や講座を積極的にすすめる 福祉活動への支援を厚くし、安心して仕事に携われるようにお願いする |

溝口地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 11月 20日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|---|---|--|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者でも屋外で働ける田畑がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 今までゴミだしができていた人が、うまく出せなくなるケースがある。分別して、出しに行く道が遠い。車がないと持っていけない。 雪かきができない人がはじめた。庭は後でもよいことがあるが、一人暮らしの方の玄関前などはデイサービスの送迎に支障がでている。 | <ul style="list-style-type: none"> 買い物弱者の支援 溝口区社協が月2回隔週木曜日に食彩館まで運行している。 お助け券事業 溝口区社協が「伊那市軽作業援助サービス費用助成券交付事業」の事業者から指定され事業を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会・地域社協として わざわざ手伝いに行くのではなく、自分のゴミの集積所に向かう経路で寄っている人が見回るようなゴミの出し方を決める。無料ではなく、お助け券の運用で行う。 ゴミ出しに困る対象者の把握を行い対象者がでたら溝口社協で対応をしていく。 除雪の緊急性は個々に実態を調べていく これからニーズが増えることを考えると、溝口全体で考えていく必要がある。 困りごとの相談窓口⇒総代⇒区長 民生委員 |
| コミュニティのこと | <ul style="list-style-type: none"> 湖も史跡もあり、自然環境に恵まれた美しい地域である 犯罪が少なく、安心して暮らせる 保育園、小学校、中学校、総合支所など公共施設が歩いて行ける範囲にある。 | <ul style="list-style-type: none"> 若い人には地域コミュニティの生活習慣が負担に感じられるものもある。 | <ul style="list-style-type: none"> 生活改善について、29年から溝口区で取り組み始めた。 溝口区は役職の負担を軽減するため平成30年から土木委員を廃止して総代がその仕事をすること、に改めた。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として |
| 子どものこと | <ul style="list-style-type: none"> くじら農園ができ、保育園を地域で支援しようとする運動が始まっている。 小学校にもPTA以外の「長谷っこ応援隊」「未来プロジェクト」など地域の人が支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> 参観日などで小さい子（保育園児、歩き始めるくらいの子）を預けるところがない。 溝女館の開放はできるが、預かる時には事故への責任がある。 女性の力を借りないと難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> 園児、小学生、中学生と親、祖母世代が夏の河原でマストつかみやスイカ割ゲームをして顔の分かる関係を作る「川遊び」事業を溝口社協で100人規模で実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として 公共交通の改善 自動運転の実証実験に取り組んでいるが、自動乗合タクシーの導入を推進する。 ゴミ集積所の増設（バス停ごとの収集）の検討 |

溝口地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 計画シート

(平成 30年 11月 20日改定)

| | |
|----------------------------------|--|
| 私たちの住む地域の 目指す姿 (こんな地域にしたい) | ① 要介護状態になっても地域のサポートで暮らし続けられる地域にしたい ② ③ |
|----------------------------------|--|

| 良い地域にするために 行いたいこと | 具体的な取り組み | |
|--|---|--|
| | 内容・ねらい | 誰が いつ、頻度 |
| ① ゴミを集積所まで地域の人 が持って行ってくれる仕組 みをつくる | 身内、親戚、近所が面倒を見 きれなくなった時でも、地 域社会の仕組みとしてゴミ 出しを手伝える制度をつ くっておく | 溝口地域社会福祉協議会が 調整役となって、距離、 運搬方法など負担が少なく できる人に依頼する。 費用負担はお助け券を利用 する 溝口社協はお助け券の作業 実施事業者なので、会 員の誰にでも作業を依頼 することができる お助け券が無い場合は、 作業単価相対額 (300 円) を利用者本人に負担して もらう |
| ② 溝口区お助け隊 (仮称) を編 成して雪かき、草刈り、除 草作業などの作業要請に応 える仕組みをつくる | 自力で除雪できず、デイベ ービスの送迎に支障がある 場合や、草刈り作業、除 草剤散布作業などの場合、 電話で作業を頼めるよう にする | 溝口社協が受付窓口にな り、お助け隊員に依頼す る 費用負担は市のお助け券 を利用する 溝口社協はお助け券の作 業実施事業者なので、会 員の誰にでも作業を依頼 することができる お助け券が無い場合は、 作業単価相対額 (750 円 /時) を利用者本人に負担 してもらう |
| ③ | | (1) 必要な事案の発生 の都度溝口区社協が実施 する。 |

黒河内地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30 年 12 月 日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|---|--|--|---------------|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> • 地域のみんなが顔見知りなので、少し見えないと安否確認ができる • 困ったことがあると声をかけあい、できることはお手伝いできている | <ul style="list-style-type: none"> • 地区内の空き家まわりの草刈りなど、今、協力してくれている人たち (70 代) ができなくなかった時、どうなるのか | <ul style="list-style-type: none"> • 黒川では、月 1 回、男性の方の集まりをしているが、女性もできるようにしたい | 区・町内会・地域社協として |
| 防災のこと | <ul style="list-style-type: none"> • 災害時支え合いマップが完成した | | <ul style="list-style-type: none"> • 地区全体で昔の災害のこと (S57 年・S58 年) などの話をする機会をつくりたい | それぞれの個人として |
| | | | | 行政・市社協として |

中尾地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域

情報収集シート

(平成 30年 3月 7日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|--------|--|--|--|---|
| 伝統文化 | <ul style="list-style-type: none"> 中尾歌舞伎が続いていること | <ul style="list-style-type: none"> 現在休止中→継続できなくなること 維持していくことへの不安(ソフト面、ハード面、入場料、維持管理を含め) 中尾の住民でも観に行かない→通し稽古の際に、地元の人を呼んできたら良い | <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化を継承し、続けていく活動 中尾地区以外からも参加者が多くなり、年2回の定期公演会を行っている 歌舞伎を中心に、歴史文化自然をアピールすることを皆で交流し実行する | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会・地域社協として 中尾歌舞伎の継続について、住民に投げかけても良いのでは(住民が協力できることがあったのではないかと)。続けていきたい。安定した資金確保。環境を整えてあげたい) 空き家対策は区にて検討中 中尾区内の冬期道路対策(雪かき)は区を中心に検討中(中区区ふさと創生委員会) 中尾座を会場に読書会、交流会を開催してはどうか 中尾で暮らしていく将来像を協力してつくる。地域おこし協力隊に入ってもらいたい 学習検討してはどうか 若い人が区政へ積極的に参加できたらいい 中尾ソバを中心に、近所の人たちの栽培した野菜やコミュニケーションなどを提供する |
| 近所つきあい | <ul style="list-style-type: none"> 穏やかな人間関係 人の心は穏やかで優しいので住みやすい 隣近所過度な干渉がない 昔ほど近所づきあいが、気が知れていて話しやすい 人と人とのつながりがあり、人情が豊か お互いに助け合う、信頼を持ち合っている 「かわみち」という場所ができて、花を植えた後、茶話会ができる | <ul style="list-style-type: none"> 他人のことに干渉しすぎる | <ul style="list-style-type: none"> 近所の年寄りに声をかけている 第3常会は「かわみち」でサロンのようなものを開催している いきいきサロン(補助金の振込手数料がとられる) | <ul style="list-style-type: none"> 通院に困る方に対して、中尾地域社協で送迎ボランティアに取組んでいる 福祉バスを利用している 草取りボランティア 集会所の花ボランティア 中尾ソバを広げたい |
| 生活環境 | <ul style="list-style-type: none"> 自然が豊か 幹線道路から離れていて静か 静かで夜ゆっくりと過ごせる 冬の寒さは堪えるが、自然に恵まれ住みやすい 自然豊かで四季が感じられる 春夏秋冬静かで、ずくを出せば山菜など楽しめる 第3常会の田中ハウスの場所、縄文時代から人が住んでいた 3年くらい前から鷺や鷹が増えた 渋柿が沢山ある。渋柿ツアーをしたい サワガニ | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少くない。35歳以下の人がいない 一人暮らし高齢者が多い 空き家が多くなりさみしい 車を運転できる間がいいが、できなくなったとき困る 災害のことが心配 畑の畔は草ぼうぼうでサルが出て野菜を食べ放題 耕作をしない田畑が多い 鹿やサルによる被害 雪かきが大変 元気づく出し会は花桃を植えていたが、育たないため止めた | <ul style="list-style-type: none"> それぞれ個人として まず、家庭から真剣に考える 区民が真剣に考えるとき 脳いきで地域の皆さんとお話しする | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として 中尾歌舞伎の継続について市にも考えてほしい サルの問題 |

市野瀬地域社会福祉協議会 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 30年 10月 30日作成)

| 分野 | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|--|--|---|--|
| 高齢者のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・自立した高齢者が多い ・自家用菜園等、小規模農業に携わる高齢者が多い ・高齢者クラブの活動が活発である ・「はなそう会」が月1回始まった | <ul style="list-style-type: none"> ・人口構成比が圧倒的に高齢化が進み子どもの存在がない ・上記から将来の地区運営・存続に危機感がある ・ひとり住まいの高齢者宅の増加 ・除雪対策が困難である (除雪人足で対応不可→若い人がいない。老人がやるのが大変) ・買い物など、地域外での用足しが困難になりつつある。80歳以上の方で免許返納あり | <ul style="list-style-type: none"> ・1,000円(1,500円?)以上で配達してくれる店がある ・気軽におしゃべりを楽しむ場所「はなそう会」がある | <ul style="list-style-type: none"> 区・町内会・地域社協として ・平成30年9月26日から「はなそう会」が始まった。継続できる集まりになるように、皆で協力していく |
| 近所づきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の付き合ひ度が深く、近所間の支え合いができていく | <ul style="list-style-type: none"> ・除雪などやがってあげても感謝の言葉がないこともある。やってもらって当たり前の気持ちもあるのでは。でも、感謝している人も大勢いる | | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの個人として |
| 生活環境のこと | <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで平穏無事な生活が送れる | <ul style="list-style-type: none"> ・各種役員の選出にあたり、ここ数年のうちに対応不可能の可能性があり。一人で複数の担当をもたざるを得ない ・地域の公助・共助・自助の住み分け感に乏しく、公・共に依存しがちである ・除雪は区としては難しく、重機を持っている人に委託している ・空き家が増加している ・将来の福祉バスなど公共交通機関の存続は？ ・耕作地(特に畑地)の維持管理が獣害などでできなくなっている ・上村地区で買い物に困っているという言葉がでた | | <ul style="list-style-type: none"> 行政・市社協として ・地域福祉の在り方のアドバイザーとしての後方支援 ・福祉バス運行など、課題に対して、財政支援が必要とするもの |

杉島区 ご近所福祉計画

私たちが住む地域 情報収集シート

(平成 31年 1月 20日作成)

| | 良いところ (プラスのイメージ) | 気がかりなところ (マイナスのイメージ) | 取り組んでいること (行事、集まり、支え合っている事) | 今後必要な事 |
|-----------|---|--|--|--|
| 近所つきあいのこと | <ul style="list-style-type: none"> 近所同士丘街に声をかけあっている 各自の様子をおたがいに認識している | <ul style="list-style-type: none"> 5年後を予測した場合、現在のような状態を維持できるかが心配である | <ul style="list-style-type: none"> 新たに区にはいった人たちや最近加入した人たちのためにも「支え合いマップ」の更新を毎年行い、お互いの認識を深めていきたい 具体的な災害時の避難方法について、更新したマップを基に検討する | <p>区・町内会として</p> <ul style="list-style-type: none"> 区の総会で災害発生時の取組みのうち、特に食料の備蓄について早急に区としての対応を検討することになった |
| 高齢者のこと | | | <ul style="list-style-type: none"> 今まで「脳いきいき教室」は冬期間休止としていたが、通年の開催を希望する者が多く休止しないことになった 区としても参加希望者の移送の確保、参加費の負担などに取組んでいる | <p>地域社協として</p> <p>それぞれの個人として</p> |
| | | | | <p>行政・市社協として</p> |

6 資料

(1) 伊那市地域福祉活動計画策定過程

- ①「住民福祉ニーズ研究プロジェクトチーム」による意見集約と原案策定
(平成30年7月30日～平成30年12月10日まで計5回開催)
- ②理事会による検討
1回目(平成31年1月24日)、2回目(平成31年3月20日)

(2) 各地域社協による「ご近所福祉計画」策定過程

- ①各地域社協への作成依頼通知(平成30年5月)
- ②各地域社協単位での地域福祉懇談会開催と支援のための職員派遣

(3) 伊那市地域福祉計画への協力

- ①伊那市地域福祉推進協議会への参加 3回
- ②伊那市地域福祉計画策定ワーキングチームへの参加 6回



第3次伊那市地域福祉活動計画

平成31年3月 発行

編集・発行 伊那市社会福祉協議会

〒396-0023 長野県伊那市山寺 298-1

電話 0265-73-2541 FAX 0265-76-7036

Website <https://ina-shakyo.jp/>

E-mail info@ishakyo.jp